



平成 25 年度港南区区民意識調査 結果報告書

平成26年 1 月

横浜市港南区役所



まえがき

港南区役所では、区民の皆様のご意見を活かした区政運営をすすめるため、区民意識調査を隔年で実施しています。今回は、生活環境や地域活動のほか、防災や健康づくりに対する意識や行動、さらに区政へのニーズ等をお尋ねしました。

区民意識調査の結果は、区政運営にあたっての基礎的データとして活用していきます。調査にご協力をいただきました区民の皆様に、心よりお礼申し上げます。

平成26年 1月 横浜市港南区役所

目 次

I 調査の概要	1
調査の概要及び回答者属性	1
II 区民意識調査結果	5
1. 生活環境全般	5
2. お住まいの地域でのつきあい	7
3. 地域活動	9
4. 大地震などの災害に備えた対策	20
5. 地域での子育て支援	27
6. 健康づくり	29
7. ごみの減量化・温暖化対策	32
8. その他、区政運営	34
9. 自由記述	41
10. 資料編（地域別集計）	43
III 調査票様式	63

I 調査の概要

調査の概要及び回答者属性

【調査目的】

区民の皆さまの生活環境に対する意識や日常の行動、区政へのニーズ等を把握し、今後の区政運営に役立てることを目的としています。

【調査概要】

- ・調査対象：港南区民2,000人
(満20歳以上の区内在住者、外国籍区民20人を含む)
- ・抽出方法：住民基本台帳等から無作為抽出
- ・回収数・回収率：1,085票（回収率54.3%）
- ・調査期間：平成25年6月21日～7月12日
- ・調査方法：郵送による配布・回収

【集計結果の見方】

- ・図（グラフ）の中で使用されているアルファベットnは、その設問に対する回答者数をあらわします。
- ・回答の比率（すべて百分率（%）で表示）は、その設問の回答者数を基数（件数）として算出しています。したがって、複数回答の設問の場合、すべての比率を合計すると100%を超える場合があります。また、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合があります。

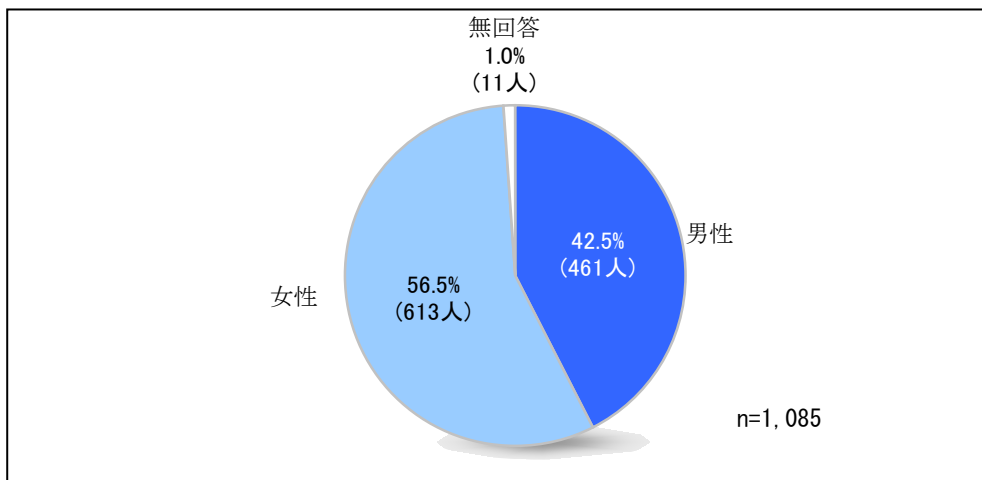
【回答者属性】

回答していただいた方々の男女比、年代別回答者数、職業構成、港南区での居住年数をグラフ化しています。

◆回答者の男女比

男性：42.5% 女性：56.5% 無回答：1.0%

5割半ばの回答を「女性」の方からいただいています。

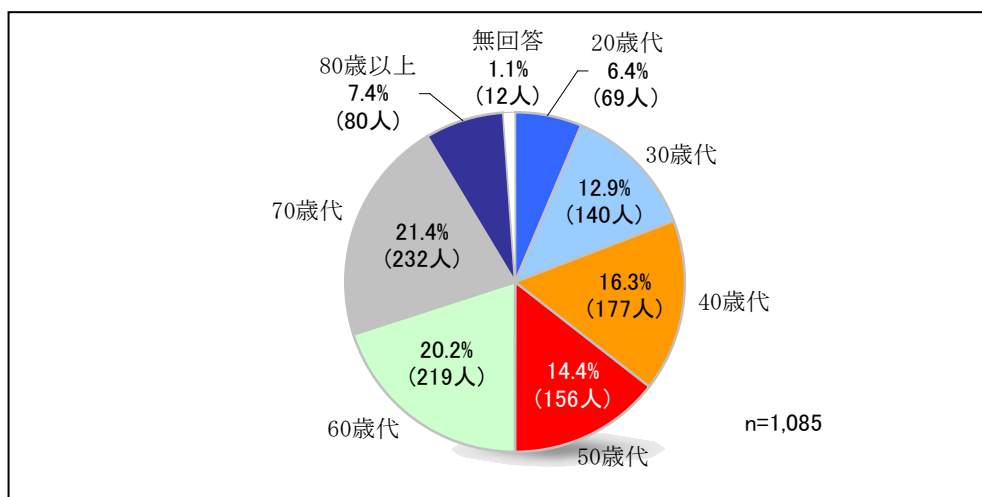


◆年代別回答者数

70歳代：21.4% 60歳代：20.2% 40歳代：16.3% 50歳代：14.4%

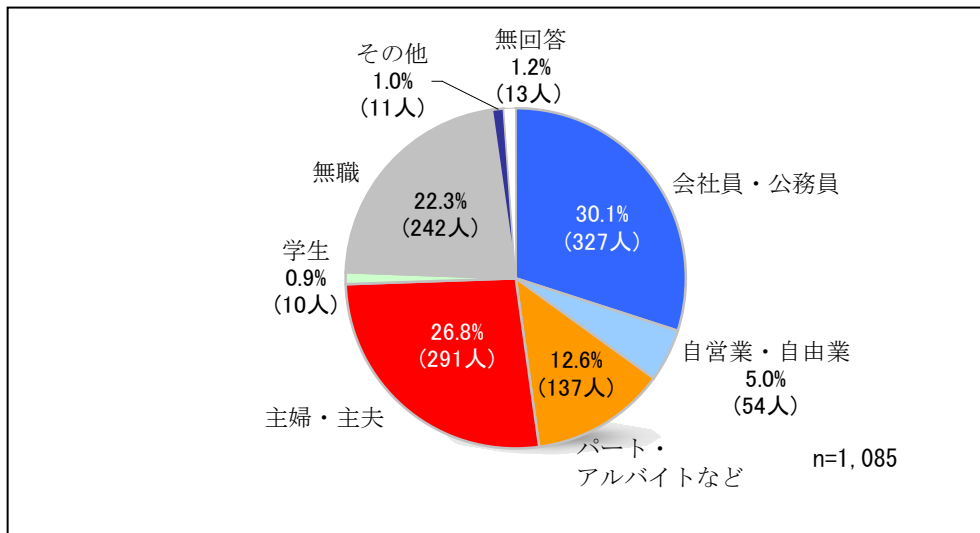
30歳代：12.9% 80歳以上：7.4% 20歳代：6.4%

「60歳代」から「70歳代」の方の回答が多くなっています。



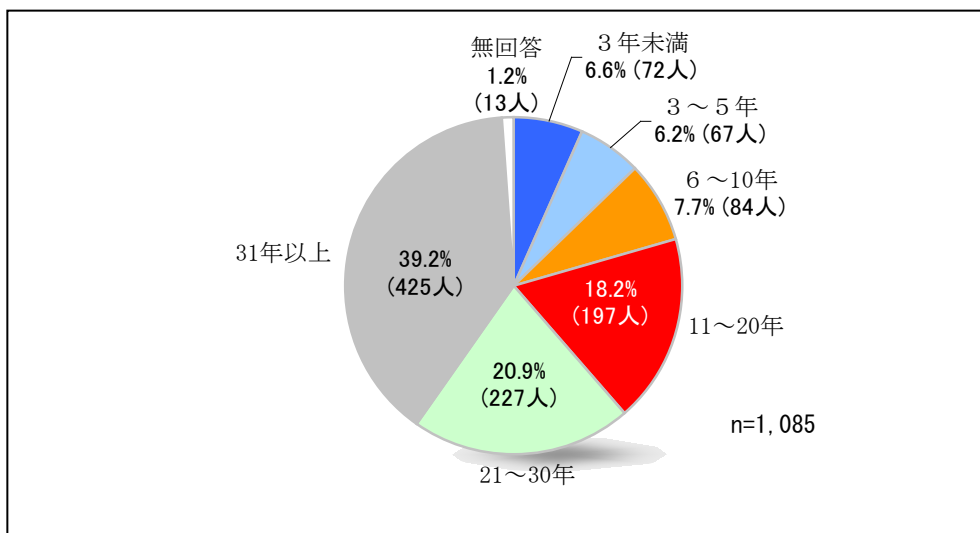
◆回答者の職業構成

会社員・公務員：30.1% 主婦・主夫：26.8%
 パート・アルバイトなど：12.6% 自営業・自由業：5.0% 学生：0.9%
 無職：22.3% その他：1.0%
 職業は「会社員・公務員」が約3割で最も多くなっています。



◆回答者の居住年数

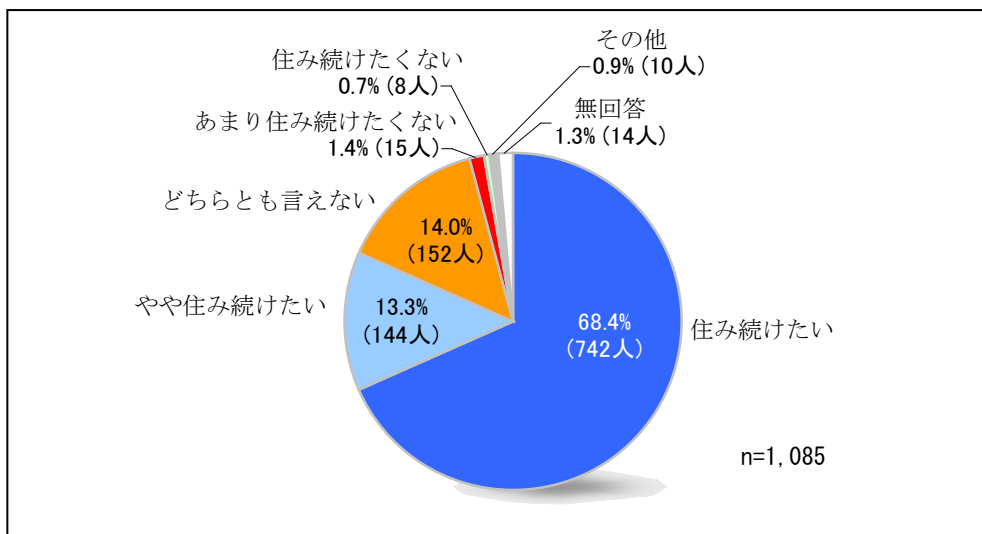
31年以上：39.2% 21～30年：20.9% 11～20年：18.2%
 6～10年：7.7% 3年未満：6.6% 3～5年：6.2%
 回答者のうち、港南区内に21年以上お住まいの方（60.1%）は約6割となっています。



◆定住意向

ア 定住意向（全体）

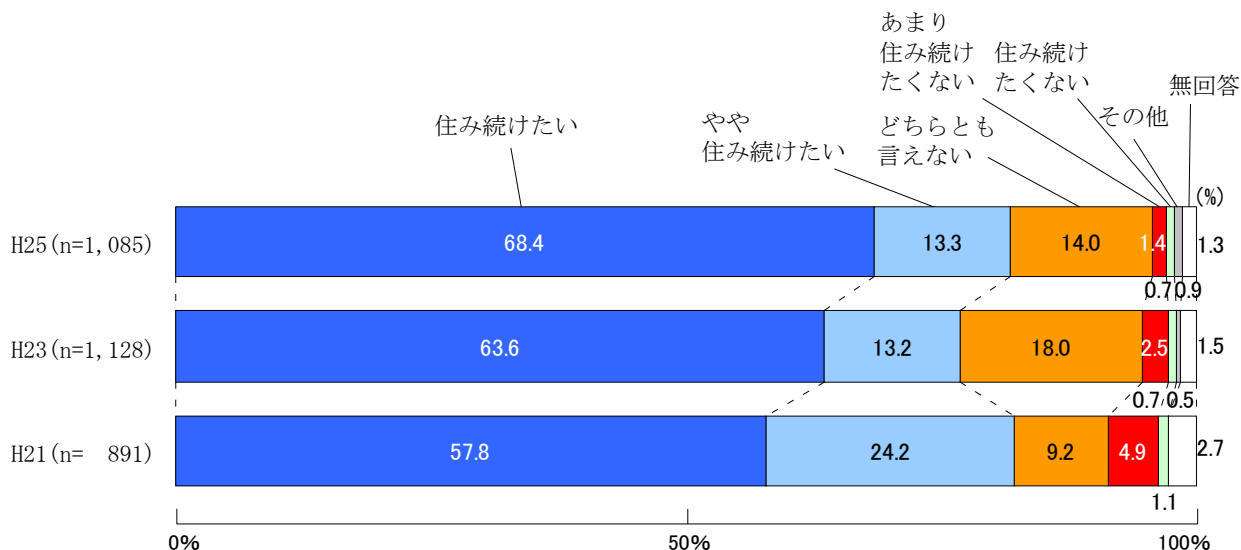
「住み続けたい」と「やや住み続けたい」を合わせた定住意向のある方は81.7%となっています。



イ 定住意向（経年比較）

定住意向について過去の調査結果と比較すると、「住み続けたい」と思う方は増加傾向にあり、今回の調査では7割近くとなっています。定住意向（「住み続けたい」＋「やや住み続けたい」）でみると、前回調査の平成23年度（76.8%）より4.9ポイントの増加となっています。

【経年比較 定住意向】



※平成21年度調査では、選択肢の表現や数が一部異なります。各調査の選択肢は次のとおりです。

平成21年度調査	平成23年度調査	今回調査
「このまま住み続けたい」	「住み続けたい」	「住み続けたい」
「当分は住み続けたい」	「やや住み続けたい」	「やや住み続けたい」
「どちらとも言えない」	「どちらとも言えない」	「どちらとも言えない」
「将来的には移転したい」	「あまり住み続けたくない」	「あまり住み続けたくない」
「移転したい」	「住み続けたくない」	「住み続けたくない」
選択肢としてなし	「その他」	「その他」

Ⅱ 区民意識調査結果

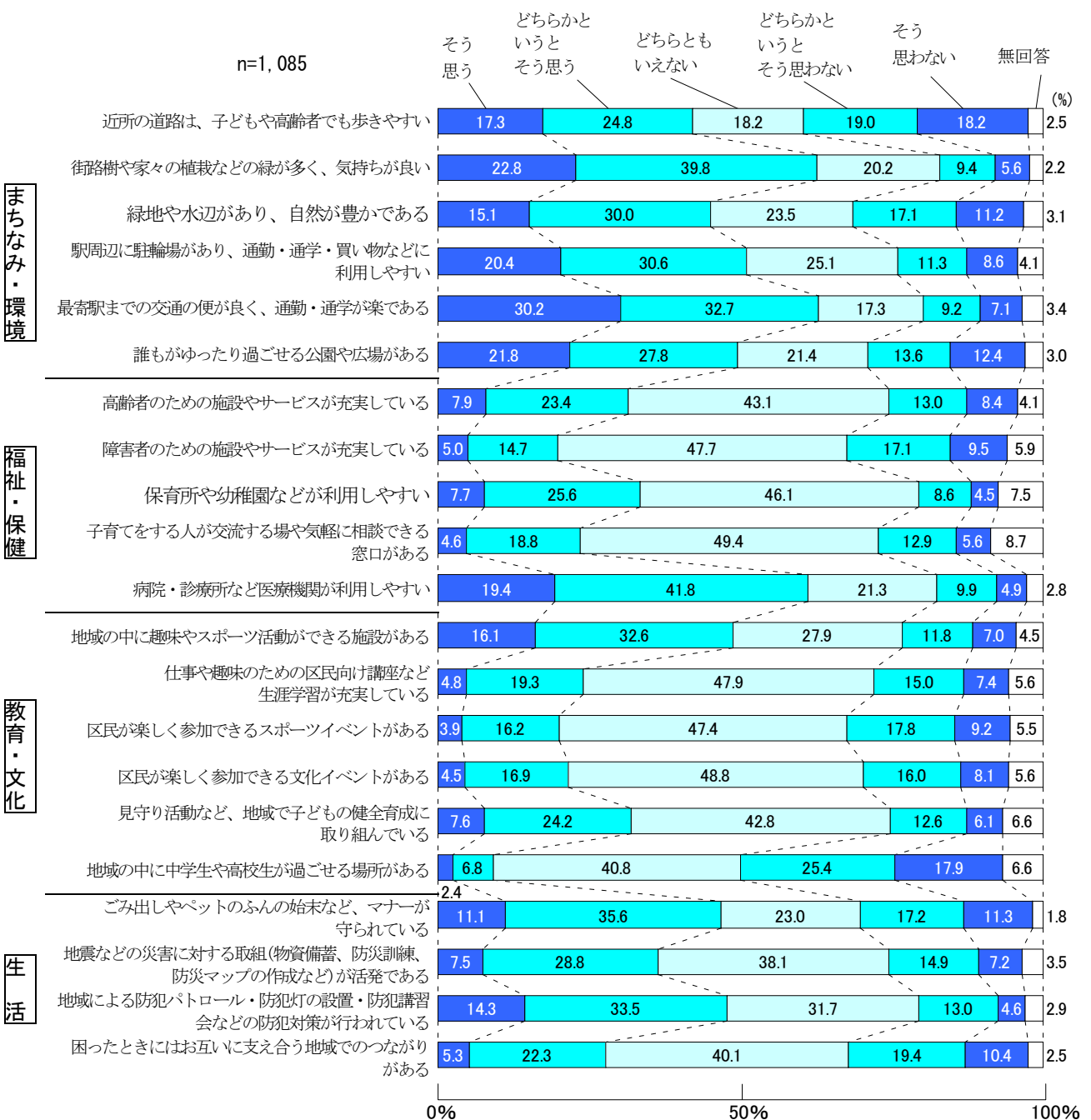
1. 生活環境全般

(1) 問1 生活環境全般に対して感じていること

ア 生活環境全般（全体）

暮らしやすさにつながる生活環境全般について、「そう思う」+「どちらかというと思う」が占める割合を分野別にみると、まちなみ・環境では、「最寄駅までの交通の便」(62.9%)、「街路樹や家々の植栽など」(62.6%)が6割を超えて多くなっています。福祉・保健では、「病院・診療所」(61.2%)が、教育・文化では、「趣味やスポーツ活動ができる施設」(48.7%)、生活では、「防犯対策」(47.8%)、「マナーが守られている」(46.7%)が多くあげられています。 ※選択肢は都合上、省略して表記しています。

問1 あなたは、お住まいの地域についてどのように感じていますか？ 次の項目それぞれについて、「そう思う」から「そう思わない」の中から一つを選び、○をつけてください。（それぞれ○は1つ）



イ 暮らしやすさにつながる生活環境全般について、「そう思う」+「どちらかというと思う」、「そう思わない」+「どちらかというと思わない」の各上位の項目

「そう思う」+「どちらかというと思う」が占める割合の上位3項目をみると、多い順に「最寄駅までの交通の便が良く、通勤・通学が楽である」(62.9%)、「街路樹や家々の植栽などの緑が多く、気持ちが良い」(62.6%)、「病院・診療所など医療機関が利用しやすい」(61.2%)となっています。

「そう思わない」+「どちらかというと思わない」が占める割合の上位3項目をみると、同じく「地域の中に中学生や高校生が過ごせる場所がある」(43.3%)、「近所の道路は、子どもや高齢者でも歩きやすい」(37.2%)、「困ったときにはお互いに支え合う地域でのつながりがある」(29.8%)となっています。

【上位3項目】※数値合計の多い順

(%)

「そう思う」+「どちらかというと思う」	
最寄駅までの交通の便が良く、通勤・通学が楽である	62.9
街路樹や家々の植栽などの緑が多く、気持ちが良い	62.6
病院・診療所など医療機関が利用しやすい	61.2

(%)

「そう思わない」+「どちらかというと思わない」	
地域の中に中学生や高校生が過ごせる場所がある	43.3
近所の道路は、子どもや高齢者でも歩きやすい	37.2
困ったときにはお互いに支え合う地域でのつながりがある	29.8

ウ 前回調査からの変化

「そう思う」+「どちらかというと思う」が占める割合について前回実施した平成23年度の調査と比較すると、生活分野の「地震などの災害に対する取組（物資備蓄、防災訓練、防災マップの作成など）が活発」が36.3%で、前回（22.2%）から14.1ポイントと大きく増加しています。

また、福祉・保健分野の「保育所や幼稚園などが利用しやすい」が33.3%で、前回（26.5%）から6.8ポイント増加しています。

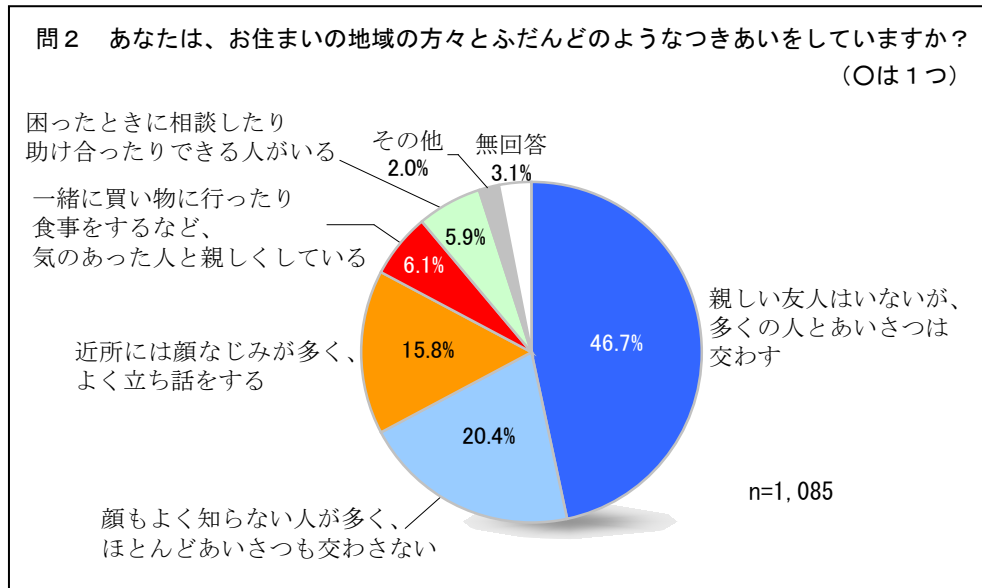
その他の項目は、大きな変化は見られません。

2. お住まいの地域でのつきあい

(1) 問2 地域でのつきあい

ア 地域でのつきあい（全体）

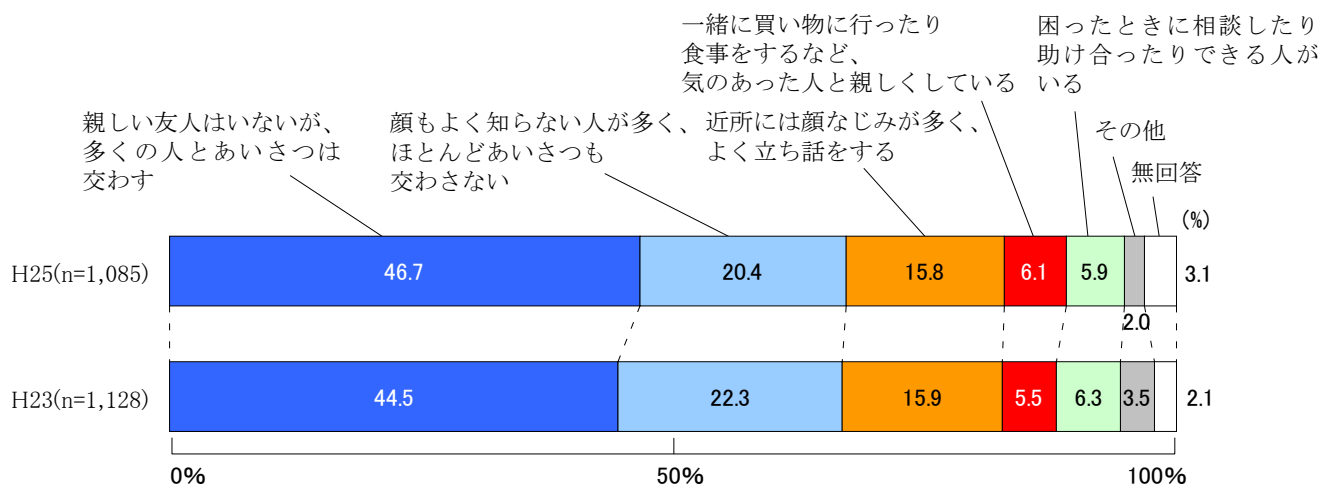
お住まいの地域の方々とのおふだんのつきあいは、「親しい友人はいないが、多くの人とあいさつは交わす」が46.7%で最も多く、以下、「顔もよく知らない人が多く、ほとんどあいさつも交わさない」(20.4%)、「近所には顔なじみが多く、よく立ち話をする」(15.8%)と続いています。



イ 地域でのつきあい（経年比較）

お住まいの地域の方々とのおふだんのつきあいについて平成23年度の調査と比較すると、大きな変化はみられません。

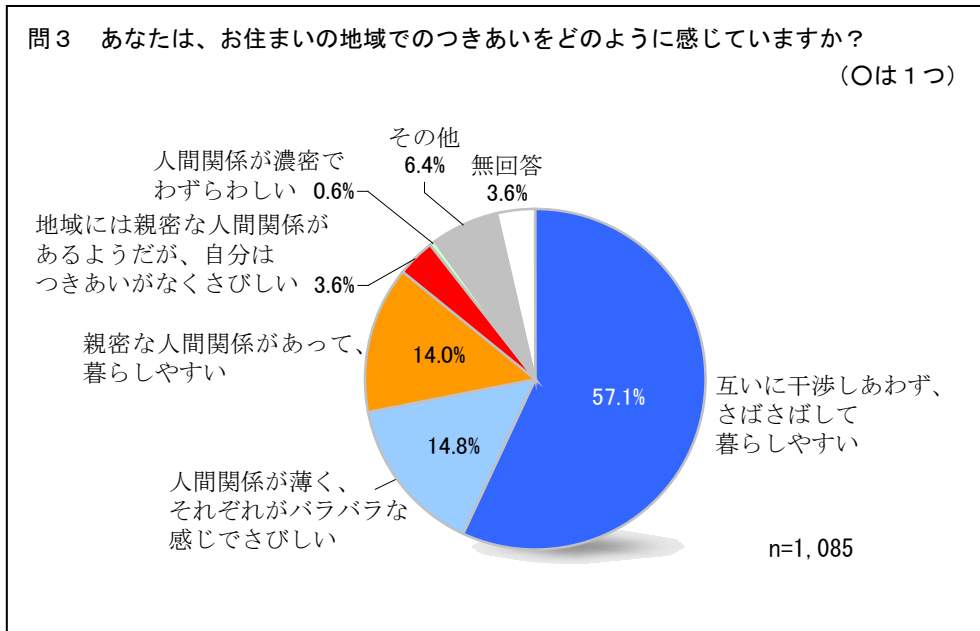
【経年比較 地域でのつきあい】



(2) 問3 地域でのつきあいの感じ方

ア 地域でのつきあいの感じ方（全体）

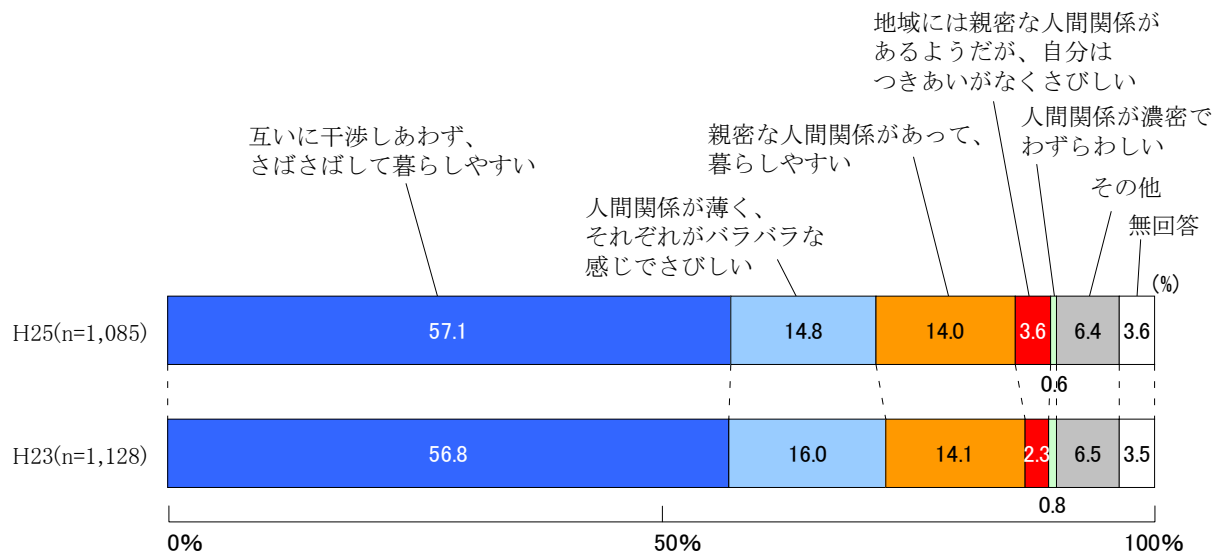
お住まいの地域でのつきあいの感じ方は「互いに干渉しあわず、さばさばして暮らしやすい」が57.1%で最も多く、以下、「人間関係が薄く、それぞれがバラバラな感じでさびしい」（14.8%）、「親密な人間関係があって、暮らしやすい」（14.0%）と続いています。



イ 地域でのつきあいの感じ方（経年比較）

お住まいの地域でのつきあいの感じ方について平成23年度の調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【経年比較 地域でのつきあいの感じ方】



3. 地域活動

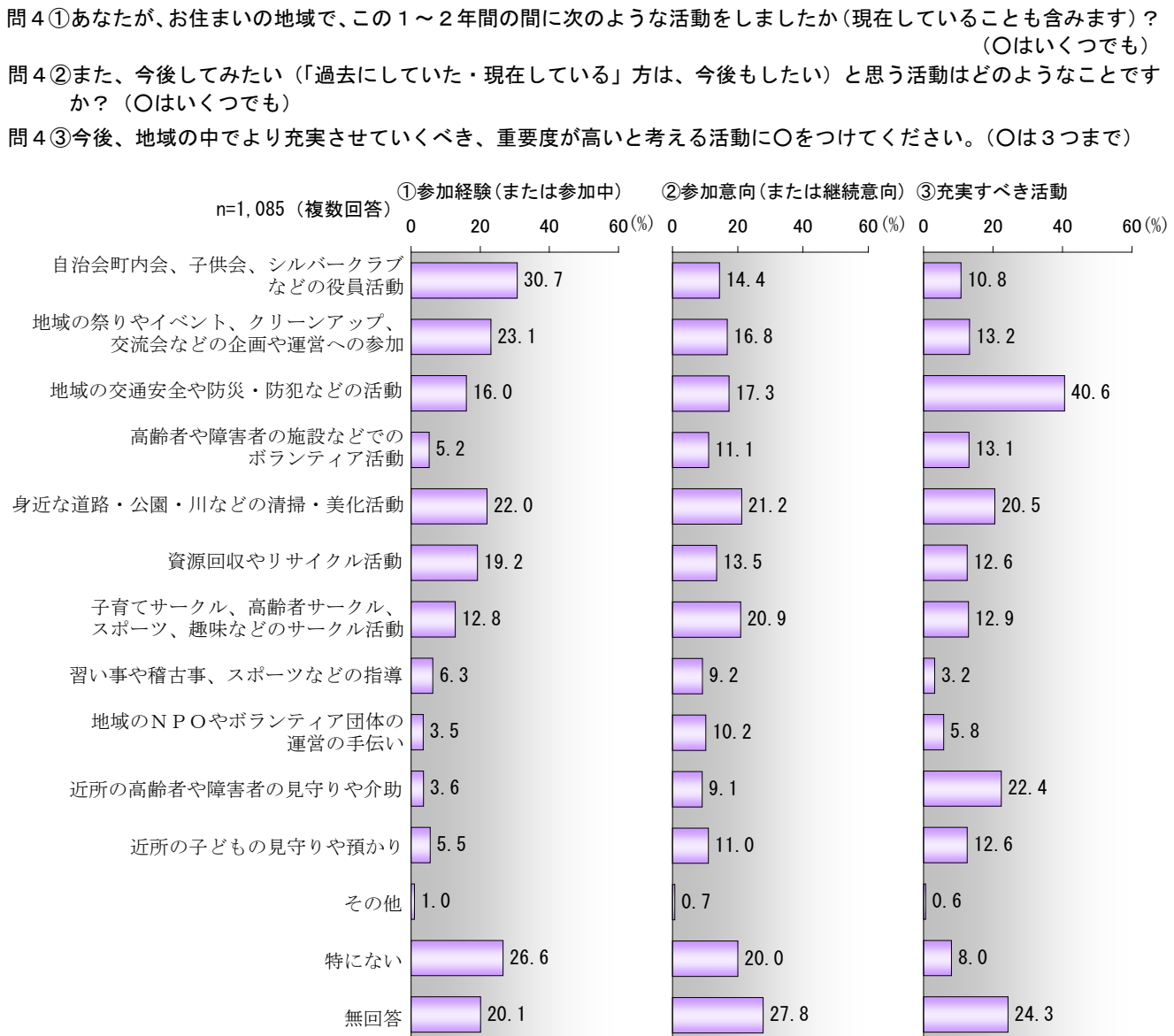
(1) 問4 地域活動の参加経験・参加意向・充実すべき活動

ア 地域活動（全体）

①参加経験（または参加中）は、「自治会町内会、子供会、シルバークラブなどの役員活動」が30.7%で最も多く、②参加意向（または継続意向）は、「身近な道路・公園・川などの清掃・美化活動」（21.2%）、「子育てサークル、高齢者サークル、スポーツ、趣味などのサークル活動」（20.9%）が多くなっています。③充実すべき活動は、「地域の交通安全や防災・防犯などの活動」が40.6%で最も多くなっています。

また、充実すべき活動と参加意向を比較すると、「地域の交通安全や防災・防犯などの活動」は、40.6%の方が充実すべきと考えているのに対して、参加意向は17.3%となっており、23.3ポイントの差があります。「近所の高齢者や障害者の見守りや介助」についても同様に、22.4%の方が充実すべきとしながらも参加意向は9.1%と、13.3ポイントの差があります。

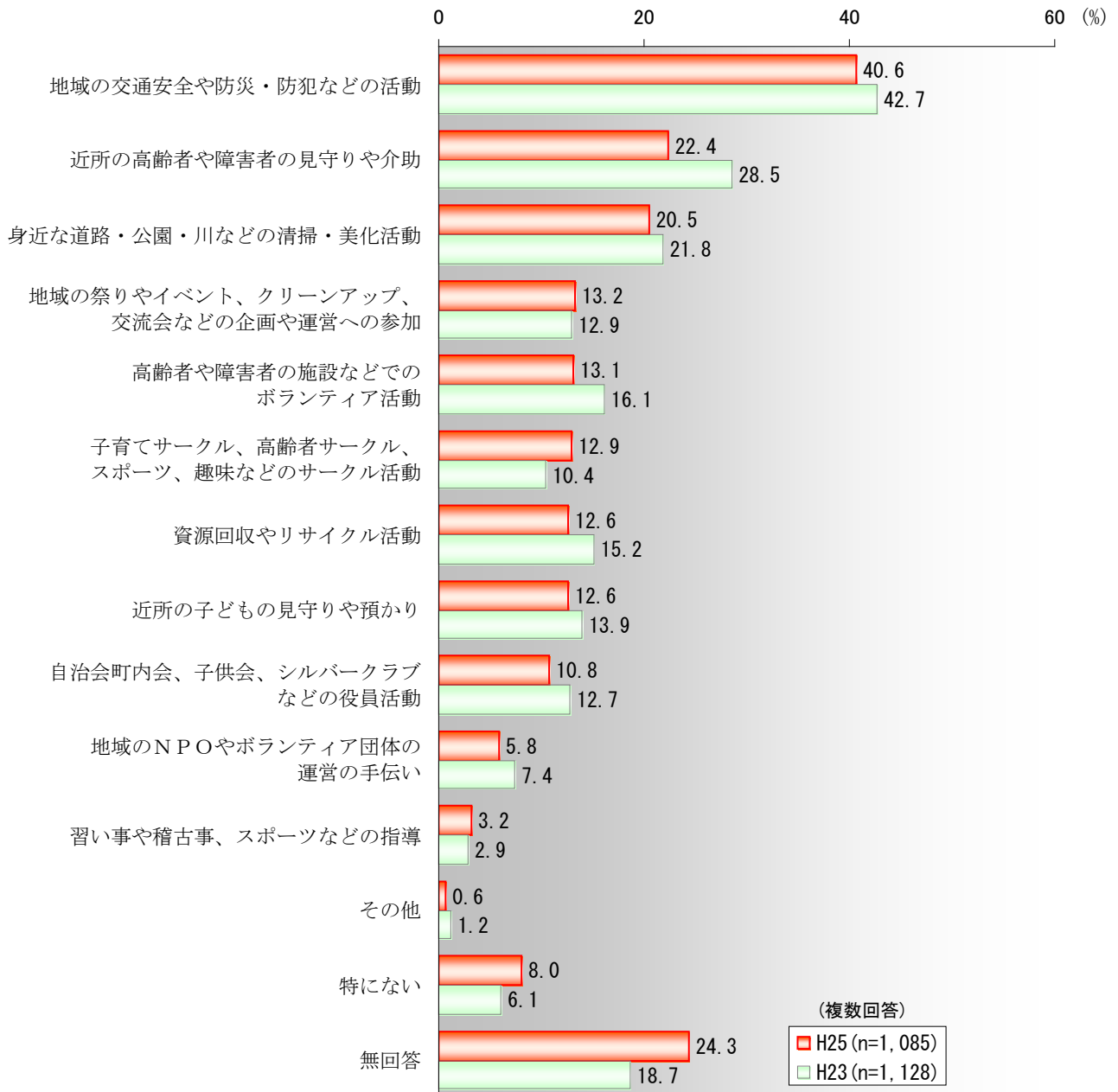
なお、「身近な道路・公園・川などの清掃・美化活動」については、参加経験、参加意向、充実すべき活動ともに20%台となっています。



イ ③充実すべき活動（経年比較）

平成23年度の調査と比較すると、無回答が5.6ポイント増加しており、その他の項目では2位の「近所の高齢者や障害者の見守りや介助」において6.1ポイント減少するなど、上位項目を中心に減少している項目が多くなっています。

【経年比較 ③充実すべき活動】



ウ ③充実すべき活動（性別・年代別）

より充実させていくべき活動について性別でみると、男女とも上位3位には同じ項目があげられています。

年代別では、いずれの年代でも「交通安全や防災・防犯などの活動」が第1位にあげられており、年代に関わらず重要視されていることがわかります。20歳代から40歳代では「資源回収やリサイクル活動」、50歳代から70歳代では「施設などでのボランティア活動」、70歳以上では「自治会町内会などの役員活動」が上位にあげられており、年代による違いもみられます。

※選択肢は都合上、省略して表記しています。

【属性別 充実すべき活動 上位5項目】

(%)

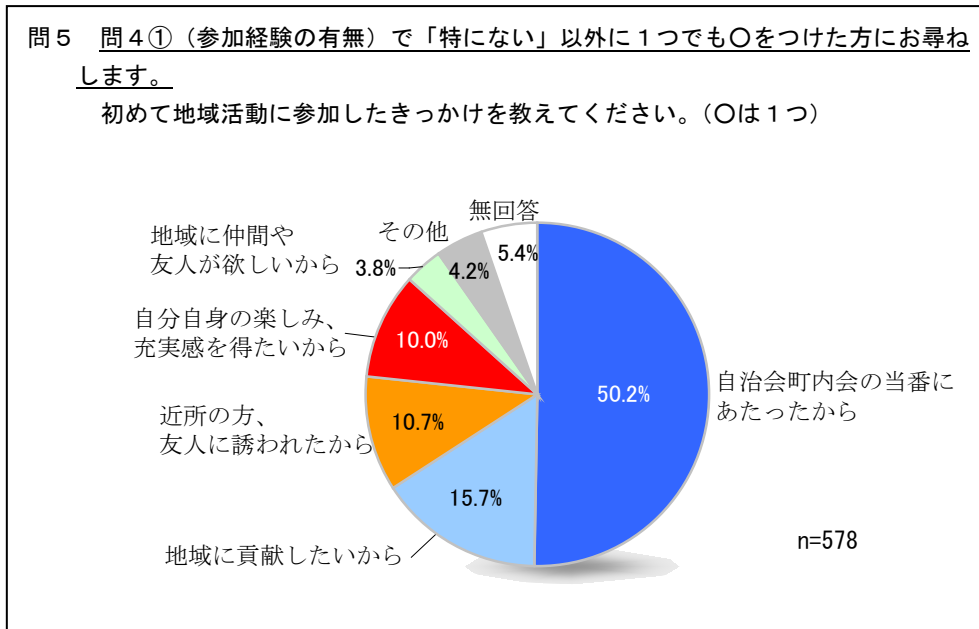
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性 n=461	交通安全や防災・防犯などの活動 40.6	清掃・美化活動 22.1	高齢者や障害者の見守りや介助 19.5	地域の祭りなどの企画や運営への参加 16.5	子育て、趣味などのサークル活動 13.4
女性 n=613	交通安全や防災・防犯などの活動 40.6	高齢者や障害者の見守りや介助 24.8	清掃・美化活動 19.2	施設などでのボランティア活動 14.5	子どもの見守りや預かり 14.2
20歳代 n=69	交通安全や防災・防犯などの活動 44.9	地域の祭りなどの企画や運営への参加 20.3	*清掃・美化活動 *子育て、趣味などのサークル活動	17.4	*資源回収やリサイクル活動 *高齢者や障害者の見守りや介助 *子どもの見守りや預かり 15.9
30歳代 n=140	交通安全や防災・防犯などの活動 50.0	子どもの見守りや預かり 30.7	清掃・美化活動 28.6	高齢者や障害者の見守りや介助 22.1	資源回収やリサイクル活動 15.7
40歳代 n=177	交通安全や防災・防犯などの活動 58.8	高齢者や障害者の見守りや介助 31.1	清掃・美化活動 27.7	子どもの見守りや預かり 18.1	資源回収やリサイクル活動 14.7
50歳代 n=156	交通安全や防災・防犯などの活動 49.4	高齢者や障害者の見守りや介助 37.2	清掃・美化活動 26.3	施設などでのボランティア活動 18.6	子育て、趣味などのサークル活動 17.9
60歳代 n=219	交通安全や防災・防犯などの活動 36.1	高齢者や障害者の見守りや介助 22.8	清掃・美化活動 19.6	施設などでのボランティア活動 18.7	子育て、趣味などのサークル活動 16.0
70歳代 n=232	交通安全や防災・防犯などの活動 25.0	高齢者や障害者の見守りや介助 12.9	自治会町内会などの役員活動 12.5	*地域の祭りなどの企画や運営への参加 *施設などでのボランティア活動	11.6
80歳以上 n=80	交通安全や防災・防犯などの活動 20.0	清掃・美化活動 10.0	*地域の祭りなどの企画や運営への参加 *高齢者や障害者の見守りや介助	8.8	自治会町内会などの役員活動 6.3

※同率の項目には「*」印をつけています。

(2) 問5 地域活動参加のきっかけ

ア 地域活動参加のきっかけ (全体)

初めて地域活動に参加したきっかけは「自治会町内会の当番にあたったから」が50.2%で最も多く、以下、「地域に貢献したいから」(15.7%)、「近所の方、友人に誘われたから」(10.7%)、「自分自身の楽しみ、充実感を得たいから」(10.0%)と続いています。



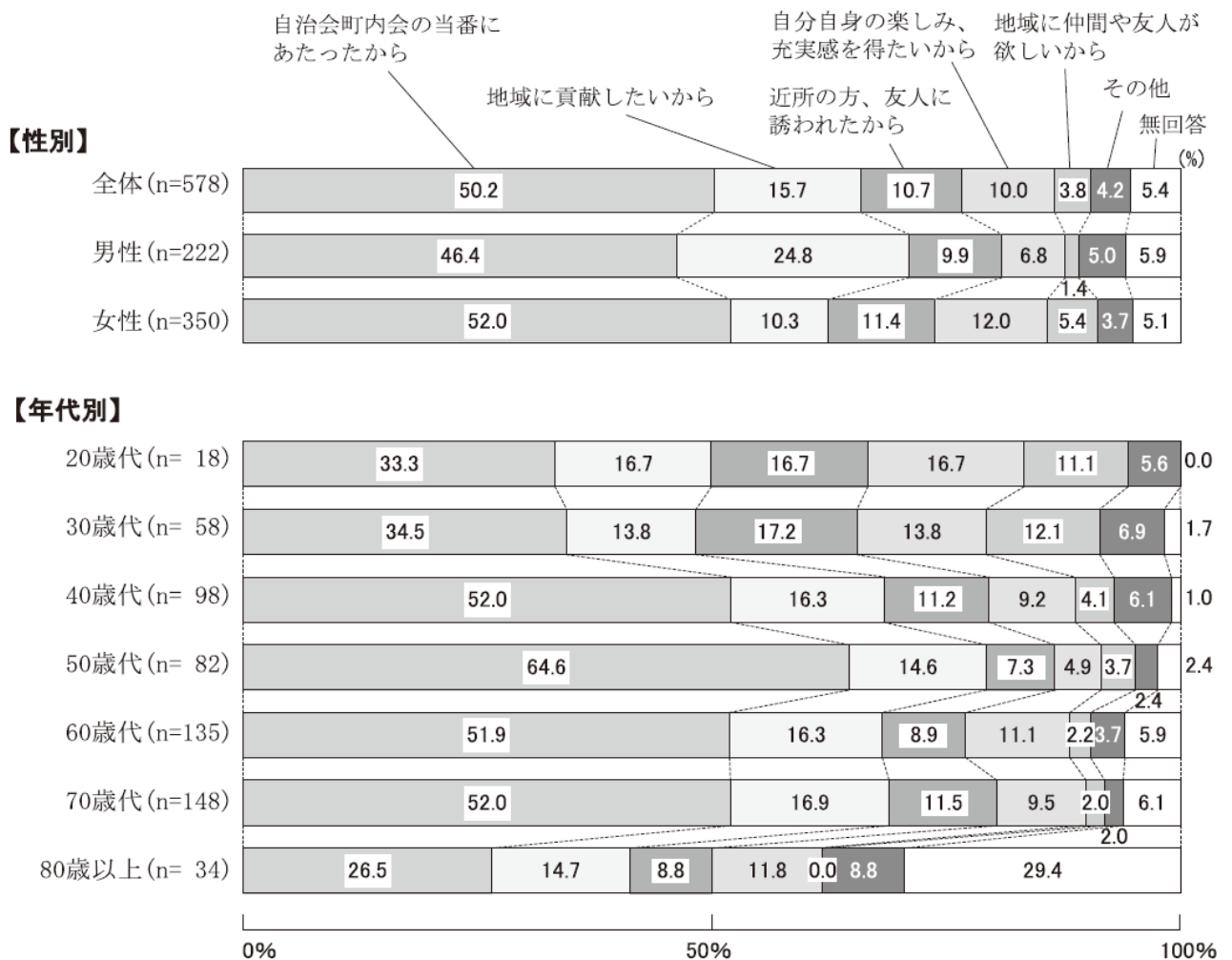
イ 地域活動参加のきっかけ（性別・年代別）

初めて地域活動に参加したきっかけについて性別で見ると、「自治会町内会の当番にあたったから」は女性（52.0%）が男性（46.4%）より5.6ポイント多くなっています。また、男性では「地域に貢献したいから」（24.8%）が女性（10.3%）を大きく上回っています。

年代別にみると、いずれも「自治会町内会の当番にあたったから」が最も多く、特に50歳代で64.6%と多くなっており、40歳代から70歳代でも半数を超えています。

また、20歳代から30歳代では「地域に貢献したいから」「近所の方、友人の方に誘われたから」「自分自身の楽しみ、充実感を得たいから」が15%前後ではほぼ同じ割合となっています。

【属性別 地域活動参加のきっかけ】



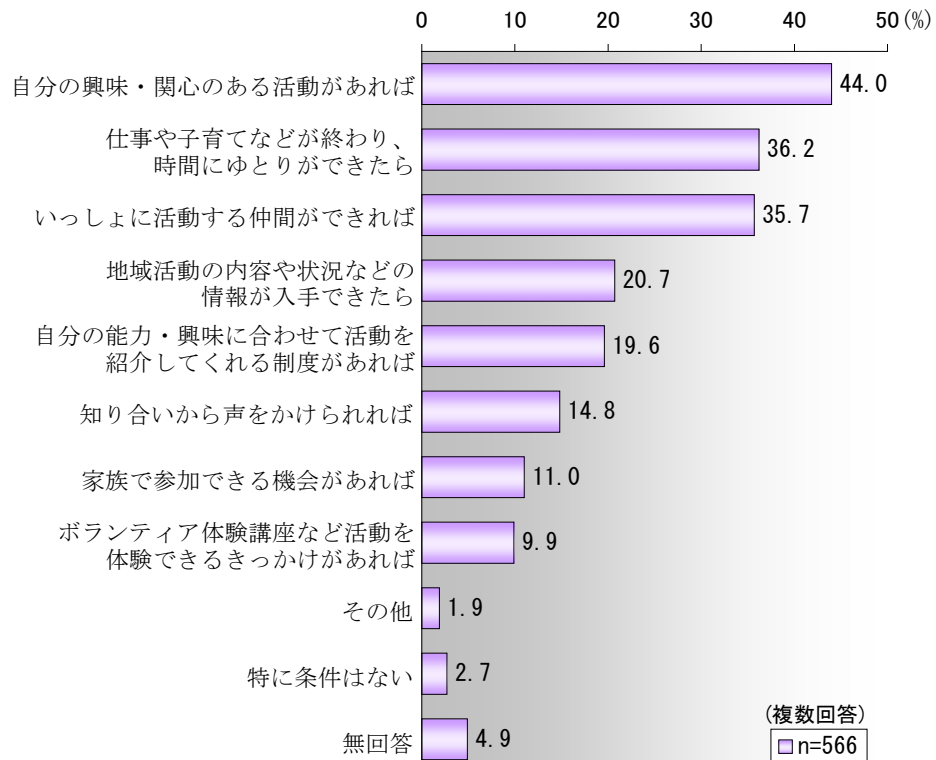
(3) 問6 地域活動へ参加する条件

ア 地域活動へ参加する条件（全体）

地域活動への参加条件は、「自分の興味・関心のある活動があれば」（44.0%）が4割半ばで最も多く、次いで、「仕事や子育てなどが終わり、時間にゆとりができたなら」（36.2%）、「いっしょに活動する仲間ができれば」（35.7%）の2項目が3割半ばとなっています。

問6 問4②（参加意向について）で「特にない」以外に1つでも○をつけた方にお尋ねします。

どのような条件があれば、地域活動に参加できそうですか？（「現在参加している」方は、どのような条件があれば、地域活動を続けられそうですか？）（○は3つまで）



イ 地域活動へ参加する条件（性別・年代別）

地域活動へ参加する条件について性別でみると、男女とも「自分の興味・関心のある活動があれば」が1位となっています。

年代別では、20歳代・80歳以上では「いっしょに活動する仲間ができれば」、30歳代・50歳代から70歳代では「自分の興味・関心のある活動があれば」、40歳代では「時間にゆとりができたなら」が1位にあげられています。また、30歳代・80歳以上では「家族で参加できる機会があれば」が上位にあげられています。

※選択肢は都合上、省略して表記しています。

【属性別 地域活動へ参加する条件 上位5項目】

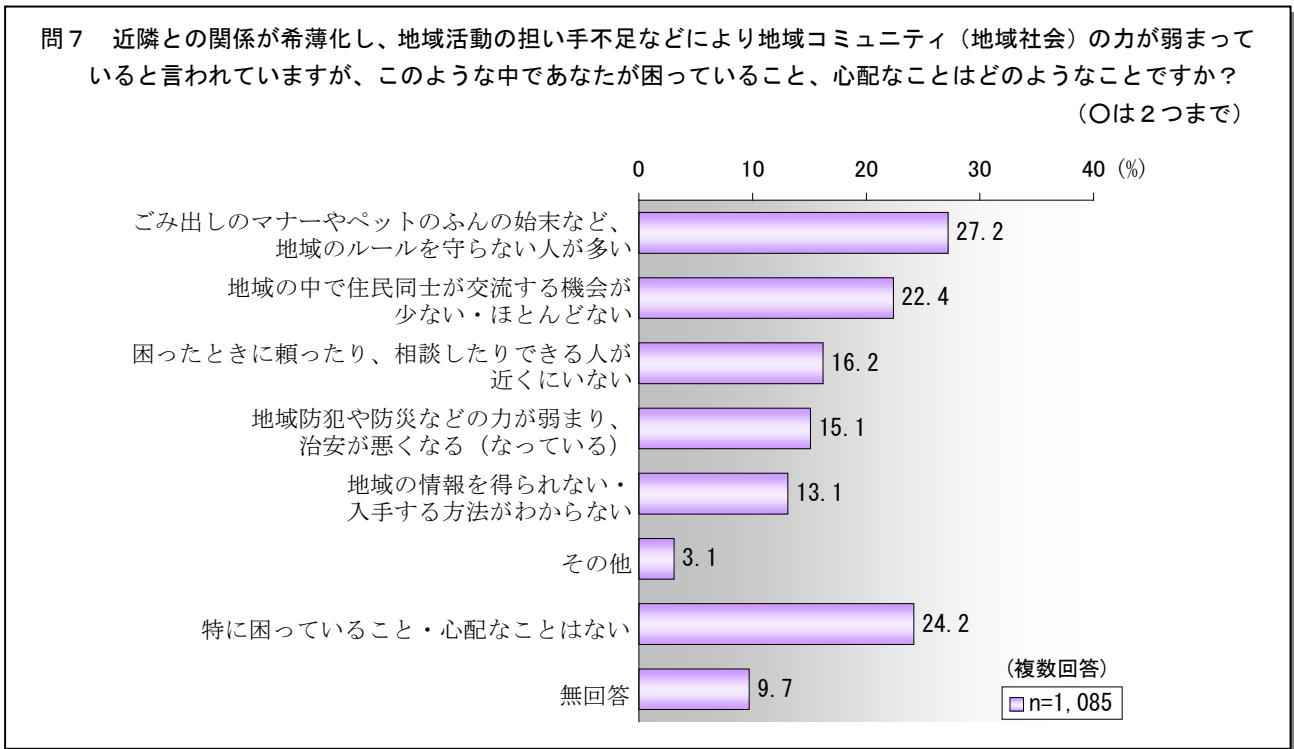
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性 n=236	自分の興味・関心のある活動があれば 43.2	いっしょに活動する仲間ができれば 39.8	時間にゆとりができたなら 31.8	活動内容などの情報が入手できたら 23.7	能力・興味に合わせて活動を紹介してくれる制度があれば 19.5
女性 n=322	自分の興味・関心のある活動があれば 43.5	時間にゆとりができたなら 39.4	いっしょに活動する仲間ができれば 32.6	能力・興味に合わせて活動を紹介してくれる制度があれば 19.9	活動内容などの情報が入手できたら 18.9
20歳代 n=30	いっしょに活動する仲間ができれば 46.7	自分の興味・関心のある活動があれば 36.7	知り合いから声をかけられれば 26.7	*時間にゆとりができたなら *活動内容などの情報が入手できたら 23.3	
30歳代 n=83	自分の興味・関心のある活動があれば 39.8	時間にゆとりができたなら 36.1	いっしょに活動する仲間ができれば 33.7	家族で参加できる機会があれば 31.3	知り合いから声をかけられれば 16.9
40歳代 n=106	時間にゆとりができたなら 55.7	いっしょに活動する仲間ができれば 39.6	自分の興味・関心のある活動があれば 34.0	能力・興味に合わせて活動を紹介してくれる制度があれば 20.8	活動内容などの情報が入手できたら 18.9
50歳代 n=96	自分の興味・関心のある活動があれば 46.9	時間にゆとりができたなら 42.7	いっしょに活動する仲間ができれば 34.4	能力・興味に合わせて活動を紹介してくれる制度があれば 24.0	活動内容などの情報が入手できたら 17.7
60歳代 n=132	自分の興味・関心のある活動があれば 45.5	時間にゆとりができたなら 34.1	いっしょに活動する仲間ができれば 28.0	活動内容などの情報が入手できたら 25.8	能力・興味に合わせて活動を紹介してくれる制度があれば 20.5
70歳代 n=98	自分の興味・関心のある活動があれば 54.1	いっしょに活動する仲間ができれば 40.8	活動内容などの情報が入手できたら 25.5	能力・興味に合わせて活動を紹介してくれる制度があれば 21.4	*時間にゆとりができたなら *知り合いから声をかけられれば 18.4
80歳以上 n=12	いっしょに活動する仲間ができれば 41.7	自分の興味・関心のある活動があれば 33.3	*時間にゆとりができたなら *能力・興味に合わせて活動を紹介してくれる制度があれば 16.7		*知り合いから声をかけられれば *家族で参加できる機会があれば *活動内容などの情報が入手できたら 8.3

※同率の項目には「*」印をつけています。

(4) 問7 地域コミュニティ（地域社会）での困り事や心配事

ア 地域コミュニティでの困り事や心配事（全体）

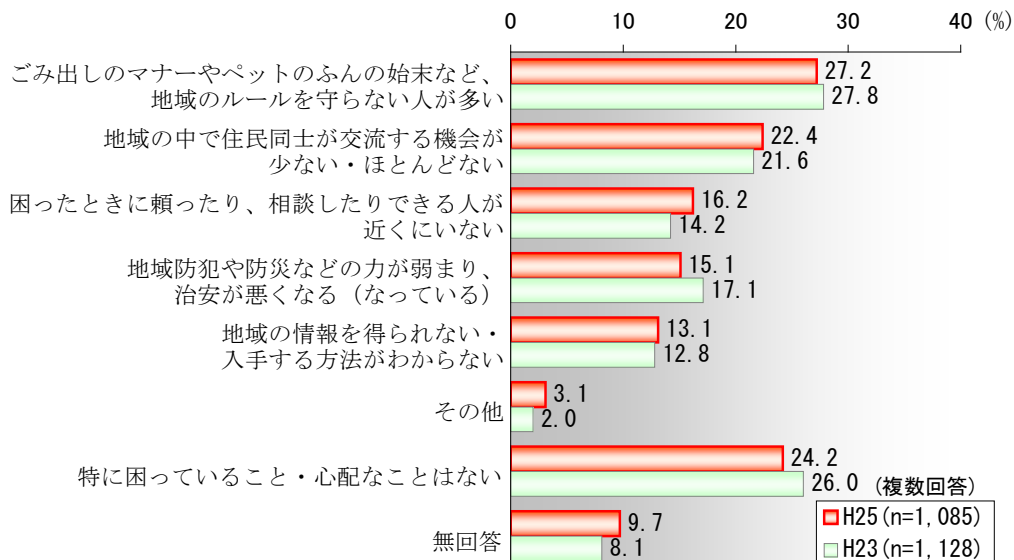
地域コミュニティでの困り事や心配事は「ごみ出しのマナーやペットのふんの始末など、地域のルールを守らない人が多い」が27.2%で最も多く、以下、「地域の中で住民同士が交流する機会が少ない・ほとんどない」（22.4%）、「困ったときに頼ったり、相談したりできる人が近くにいない」（16.2%）などが続いています。一方、「特に困っていること・心配なことはない」は24.2%となっています。



イ 地域コミュニティでの困り事や心配事（経年比較）

地域コミュニティでの困り事や心配事について平成23年度の調査と比較すると、前回4位であった「困ったときに頼ったり、相談したりできる人が近くにいない」は2.0ポイント増加し、今回は3位となっています。

【経年比較 地域コミュニティでの困り事や心配事】

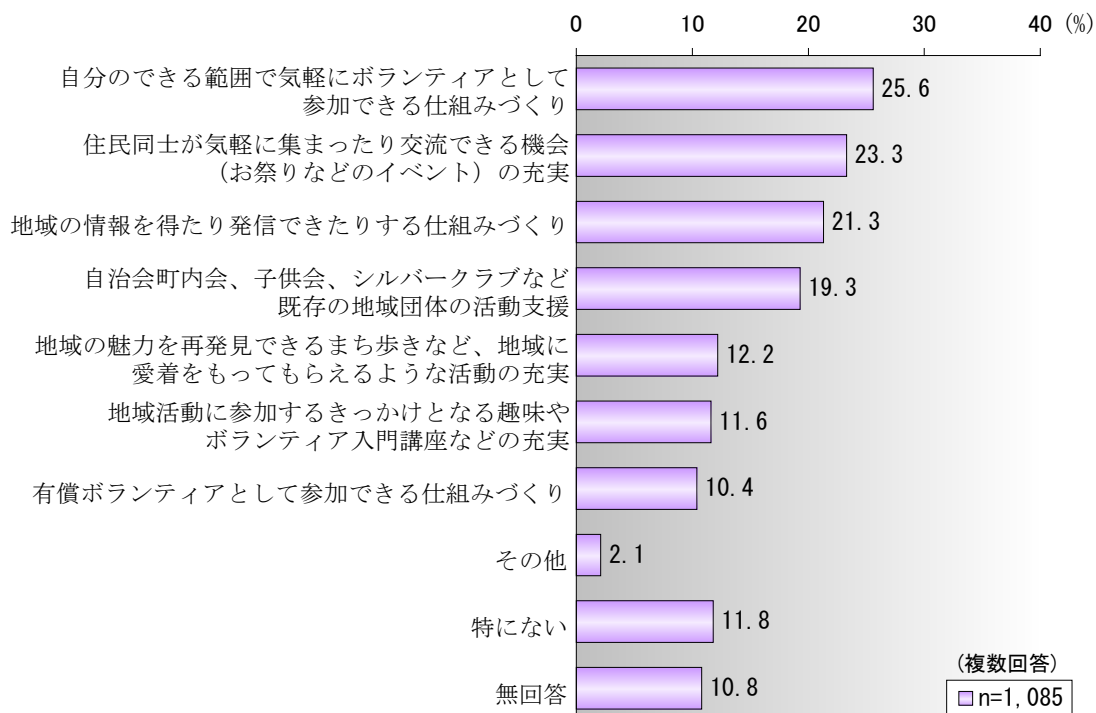


(5) 問8 地域コミュニティ（地域社会）に必要なこと

ア 地域コミュニティに必要なこと（全体）

地域コミュニティに必要なことは「自分のできる範囲で気軽にボランティアとして参加できる仕組みづくり」が25.6%で最も多く、以下、「住民同士が気軽に集まったり交流できる機会（お祭りなどのイベント）の充実」（23.3%）、「地域の情報を得たり発信できたりする仕組みづくり」（21.3%）と続いています。

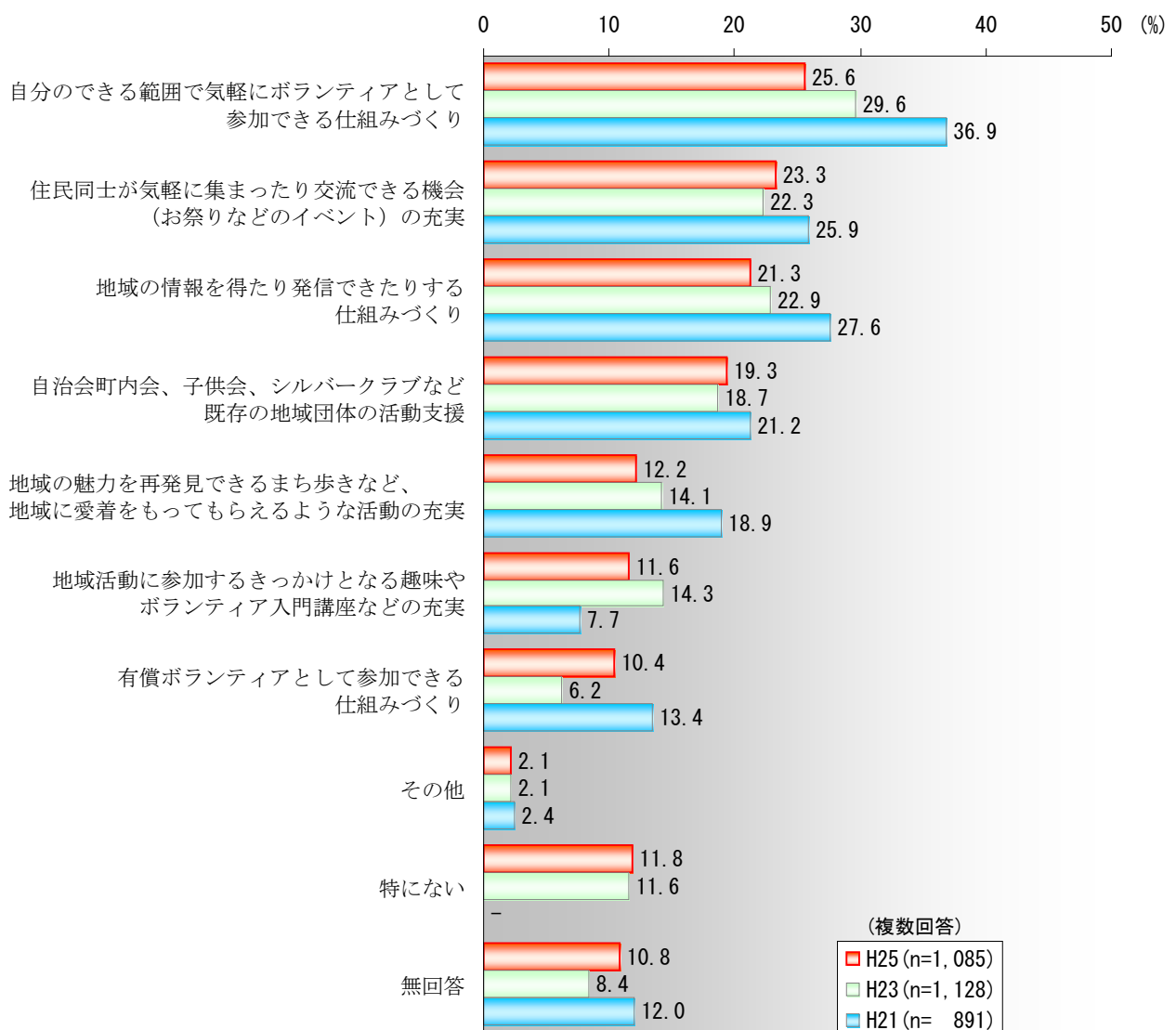
問8 地域コミュニティ（地域社会）を強化し、地域での活動を充実させていくために、あなたはどのようなことが必要だと思いますか？（〇は2つまで）



イ 地域コミュニティに必要なこと（経年比較）

地域コミュニティに必要なことについて、平成23年度の調査と比較すると、順位に大きな変化はみられませんが、数値上、増減が比較的大きな項目は、「有償ボランティアとして参加できる仕組みづくり」の4.2ポイントの増加及び「自分のできる範囲で気軽にボランティアとして参加できる仕組みづくり」の4.0ポイントの減少となっています。

【経年比較 地域コミュニティに必要なこと】



ウ 地域コミュニティに必要なこと（性別・年代別）

地域コミュニティに必要なことについて性別でみると、男性では「住民同士が気軽に集まったり交流できる機会（お祭りなどのイベント）の充実」（26.5%）、女性では「地域活動に参加するきっかけとなる趣味やボランティア入門講座などの充実」（27.4%）が最も多くなっています。

年代別では、「住民同士が気軽に集まったり交流できる機会（お祭りなどのイベント）の充実」は20歳代（30.4%）から30歳代（37.9%）で多く3割を超えています。「地域活動に参加するきっかけとなる趣味やボランティア入門講座などの充実」は50歳代（34.0%）で多く、3割半ばとなっています。

【属性別 地域コミュニティに必要なこと】

（上段：回答数、下段：構成比%）

※表中の□は各属性で最も回答割合が高い選択肢。

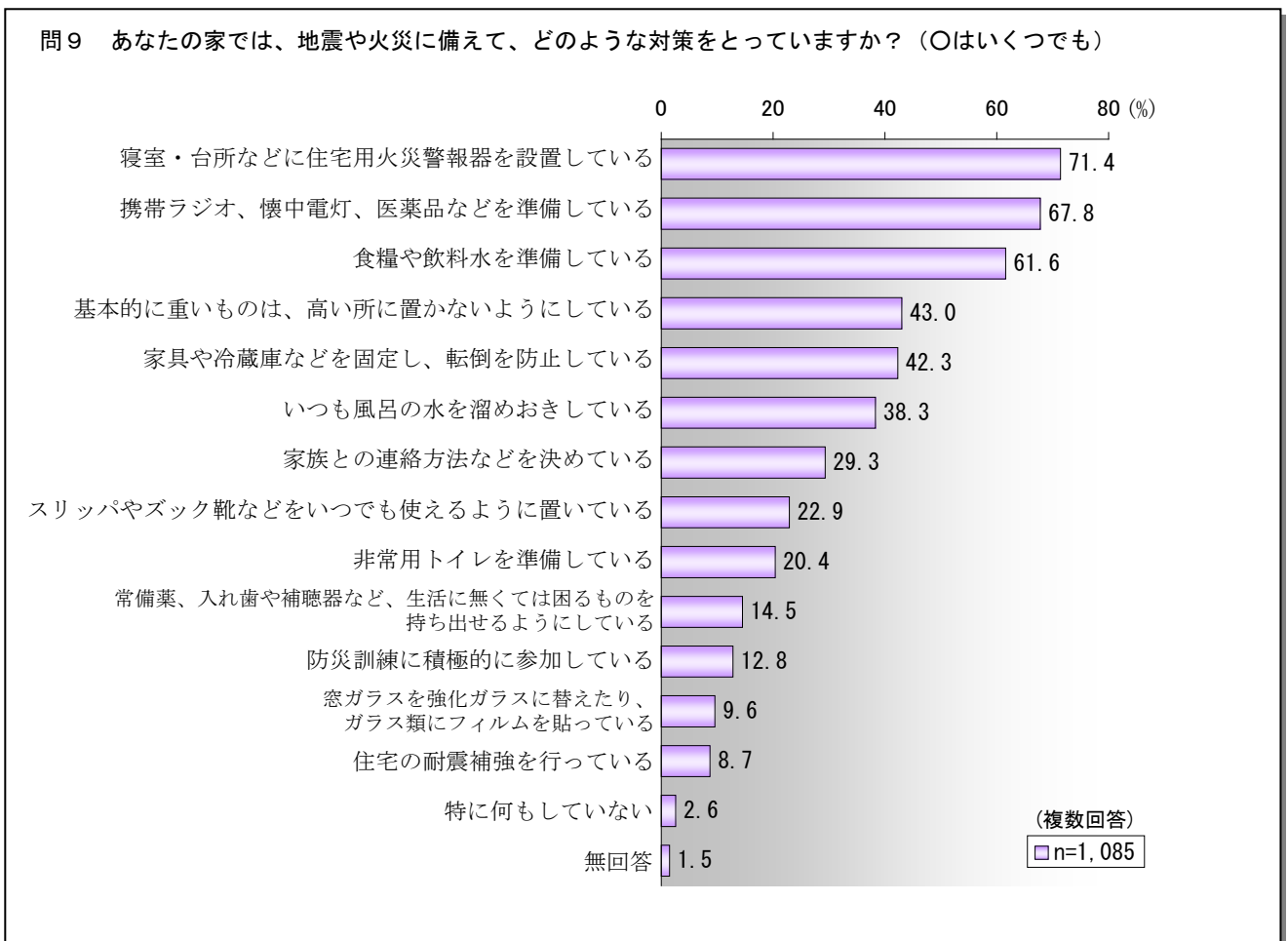
	全体	みづくり のつくり アとして 参加でき る仕組 ラ	自分の できる 範囲で 気軽 にボラ ンティア 活動 （お祭 りなど のイ ンベ ント） の充 実	住民 同士 が気 軽に 集ま たり 交 流 で き る 機 会 の 充 実	地 域 の 情 報 を 得 たり 発 信 で き た り	地 域 の 情 報 を 得 たり 発 信 で き た り	自 治 会 や 町 内 会 、 子 供 会 、 地 域 シ ル ビ ラ な ど の 活 動 支 援	歩 行 や 車 で の 活 動 支 援 な ど の 充 実	地 域 の 魅 力 を 再 発 見 で き る ま ち の 充 実	座 な り の 活 動 支 援 な ど の 充 実	地 域 の 活 動 に 参 加 す る き っ か け と な る 趣 味 や ボ ラ ン テ ィ ア 入 門 講 座 な ど の 充 実	有 償 ボ ラ ン テ ィ ア と し て 参 加 す る 機 会 の 充 実	そ の 他	特 に な い	無 回 答	
調査数	1085 100.0	209 19.3	253 23.3	231 21.3	132 12.2	126 11.6	278 25.6	113 10.4	23 2.1	128 11.8	117 10.8					
性別																
男性	461 100.0	93 20.2	122 26.5	96 20.8	58 12.6	50 10.8	105 22.8	43 9.3	11 2.4	61 13.2	44 9.5					
女性	613 100.0	115 18.8	128 20.9	134 21.9	71 11.6	75 12.2	168 27.4	70 11.4	12 2.0	66 10.8	71 11.6					
年代別																
20歳代	69 100.0	7 10.1	21 30.4	17 24.6	9 13.0	8 11.6	11 15.9	11 15.9	2 2.9	13 18.8	4 5.8					
30歳代	140 100.0	27 19.3	53 37.9	43 30.7	15 10.7	8 5.7	30 21.4	20 14.3	2 1.4	14 10.0	2 1.4					
40歳代	177 100.0	32 18.1	42 23.7	45 25.4	20 11.3	23 13.0	45 25.4	29 16.4	7 4.0	19 10.7	7 4.0					
50歳代	156 100.0	27 17.3	29 18.6	46 29.5	23 14.7	18 11.5	53 34.0	25 16.0	5 3.2	14 9.0	8 5.1					
60歳代	219 100.0	44 20.1	48 21.9	41 18.7	30 13.7	39 17.8	64 29.2	16 7.3	1 0.5	27 12.3	20 9.1					
70歳代	232 100.0	57 24.6	49 21.1	25 10.8	29 12.5	22 9.5	59 25.4	11 4.7	6 2.6	25 10.8	46 19.8					
80歳以上	80 100.0	14 17.5	8 10.0	12 15.0	3 3.8	6 7.5	11 13.8	1 1.3	0 0.0	15 18.8	28 35.0					

4. 大地震などの災害に備えた対策

(1) 問9 地震や火災に備えて行っている対策

ア 地震や火災に備えて行っている対策（全体）

地震や火災に備えて行っている対策は、「寝室・台所などに住宅用火災警報器を設置している」(71.4%)が最も多く、以下、「携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品などを準備している」(67.8%)、「食糧や飲料水を準備している」(61.6%)が6割台で続いています。

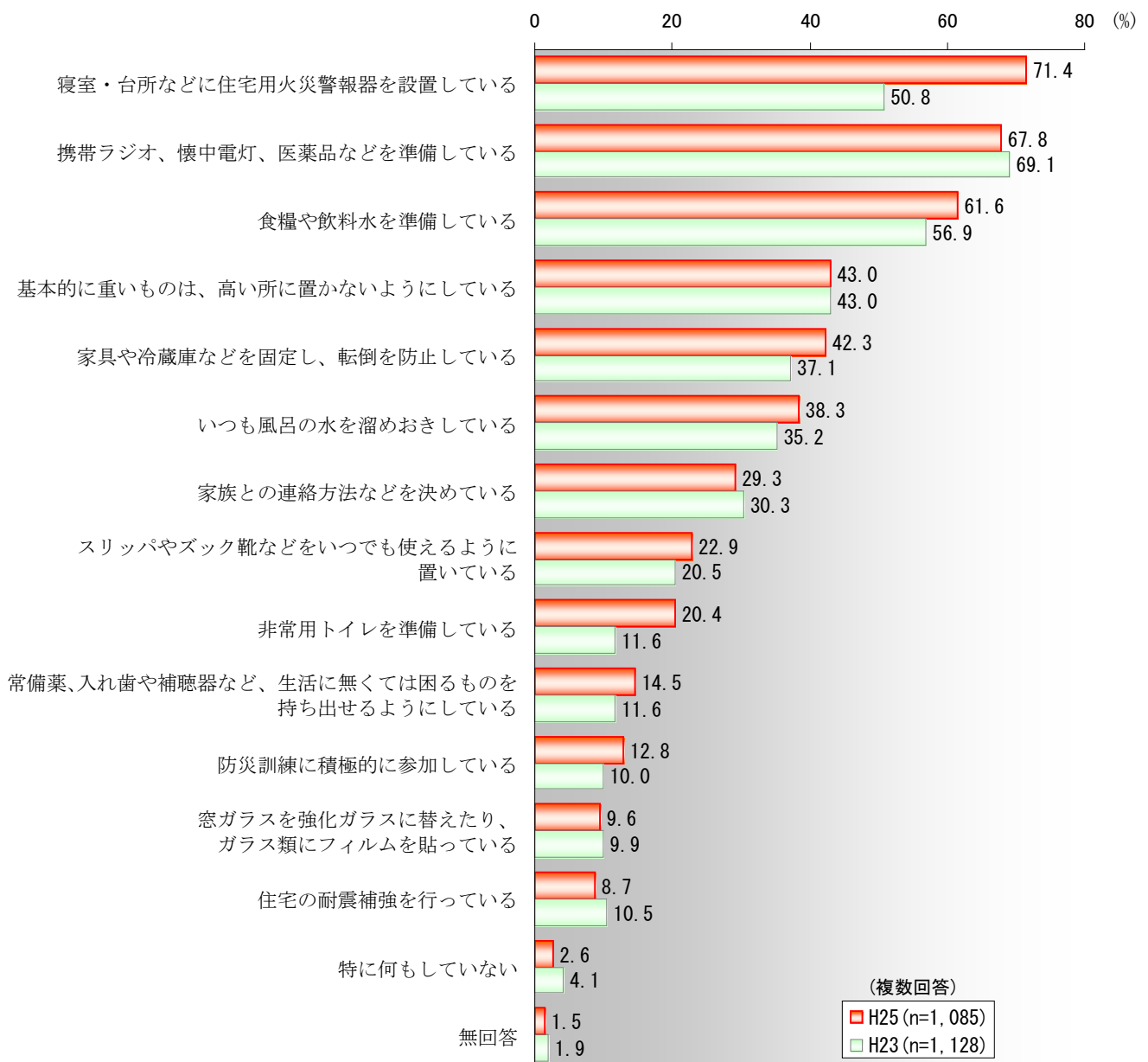


イ 地震や火災に備えて行っている対策（経年比較）

地震や火災に備えて行っている対策について、平成23年度の調査と比較すると、特に、「寝室・台所などに住宅用火災警報器を設置している」は50.8%から71.4%と20.6ポイント増加しており、次いで、「非常用トイレを準備している」は8.8ポイント、「家具や冷蔵庫などを固定し、転倒を防止している」は5.2ポイント、それぞれ増加しています。

また、この他にもほとんどの項目が前回より増加しており、災害への備えが進んでいることがうかがえます。

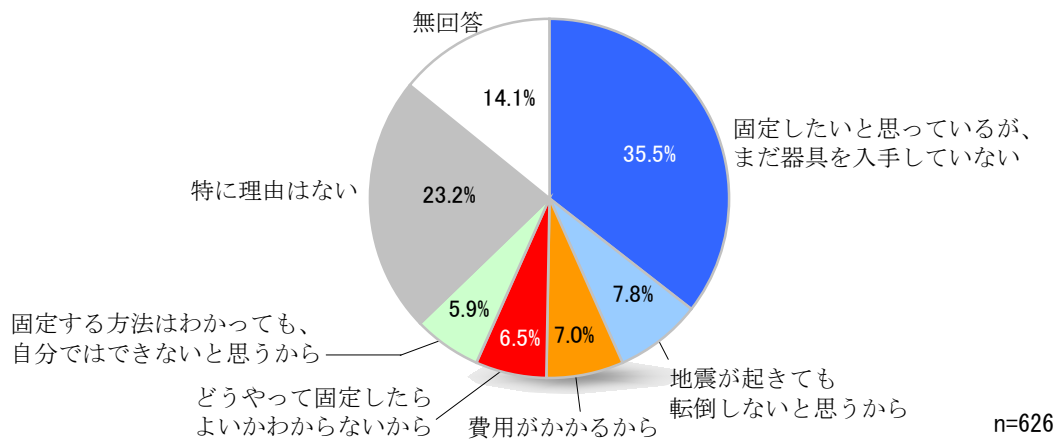
【経年比較 地震や火災に備えて行っている対策】



(1) 問9-1 家具や冷蔵庫などの固定をしていない理由

家具や冷蔵庫などの固定をしていない理由として最も多いのは、「固定したいと思っているが、まだ器具を入手していない」(35.5%)で3割半ばとなっています。一方、「特に理由はない」も23.2%と多くなっています。

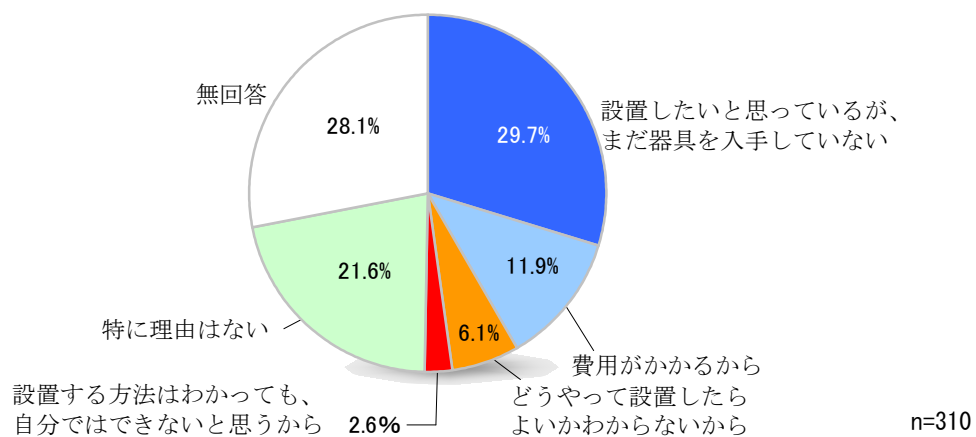
問9-1 問9で「家具や冷蔵庫などを固定し、転倒を防止している」に○をつけなかった方にお尋ねします。
あなたが、家具や冷蔵庫などの固定をしていない理由は何ですか？(○は1つ)



(1) 問9-2 住宅用火災警報器を設置していない理由

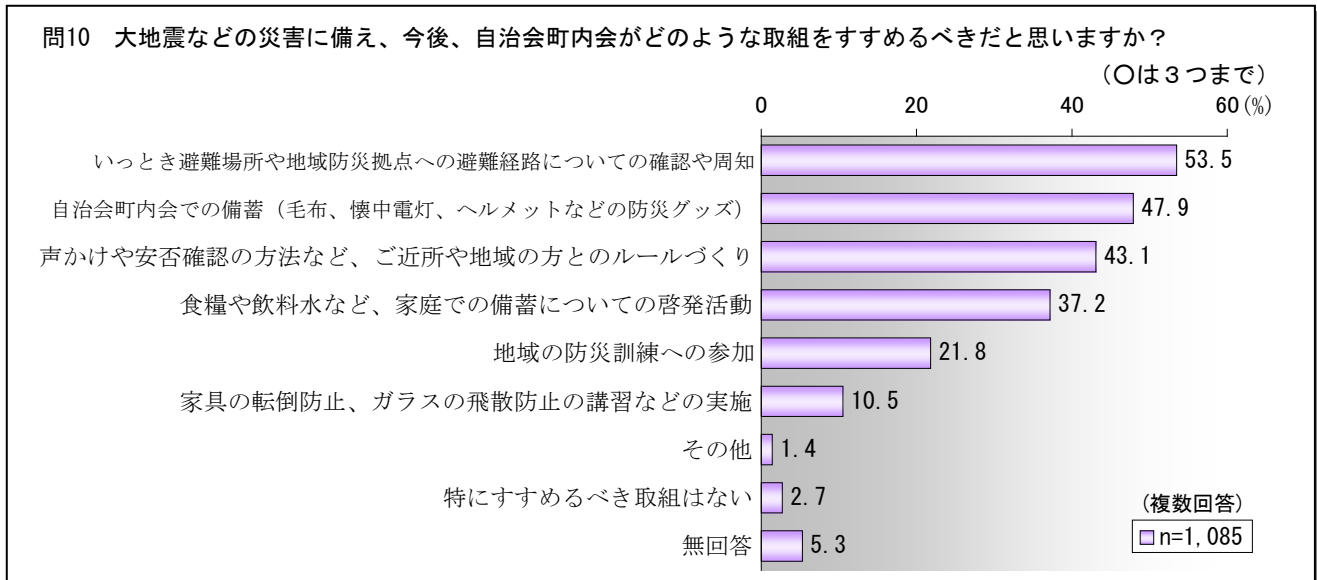
住宅用火災警報器を設置していない理由として最も多いのは、「設置したいと思っているが、まだ器具を入手していない」(29.7%)で約3割となっています。

問9-2 問9で「寝室・台所などに住宅用火災警報器を設置している」に○をつけなかった方にお尋ねします。
あなたが、住宅用火災警報器を設置していない理由は何ですか？(○は1つ)



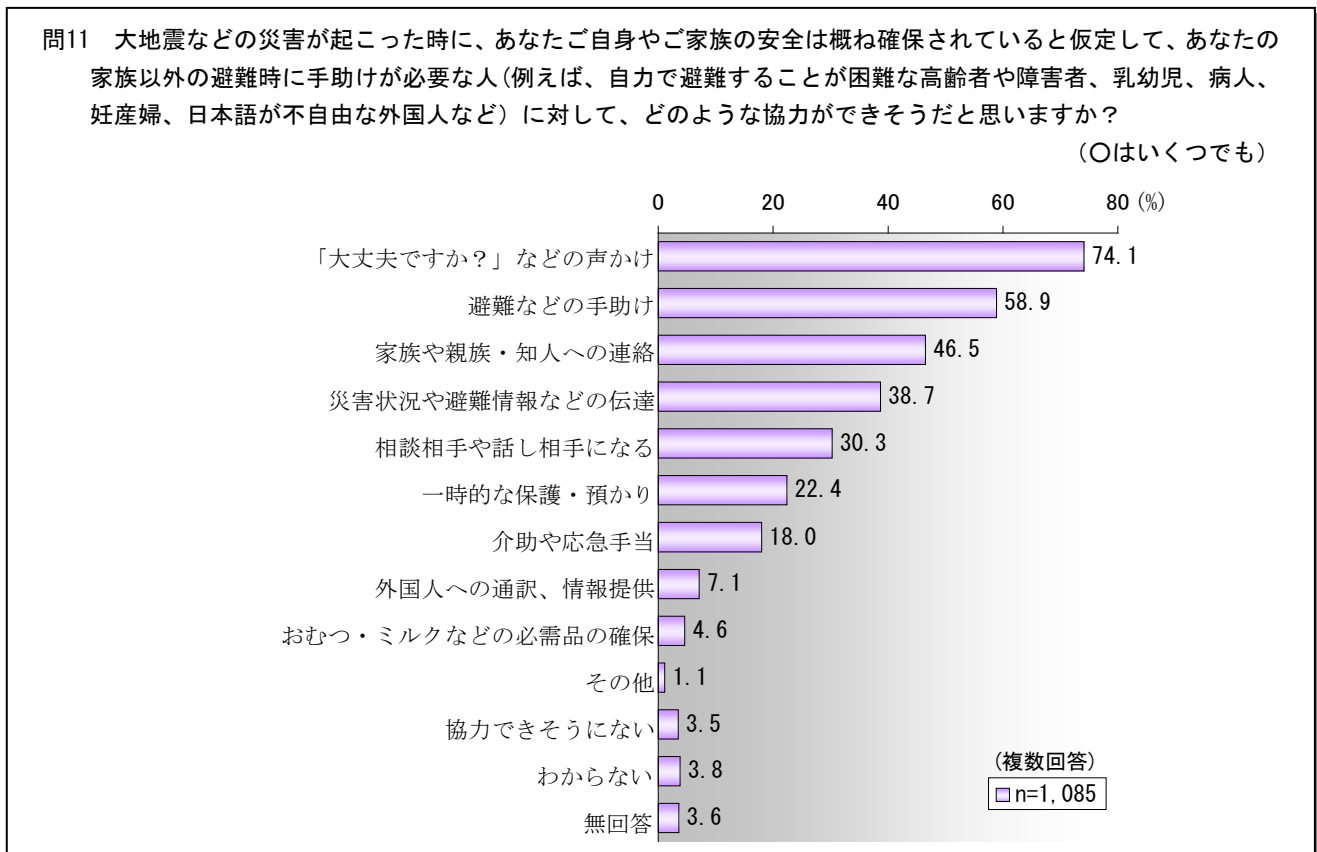
(2) 問10 自治会町内会がすすめるべき取組

自治会町内会がすすめるべき取組は、「いっとき避難場所や地域防災拠点への避難経路についての確認や周知」が53.5%で最も多く、以下、「自治会町内会での備蓄（毛布、懐中電灯、ヘルメットなどの防災グッズ）」（47.9%）、「声かけや安否確認の方法など、ご近所や地域の方とのルールづくり」（43.1%）が4割台で続いています。



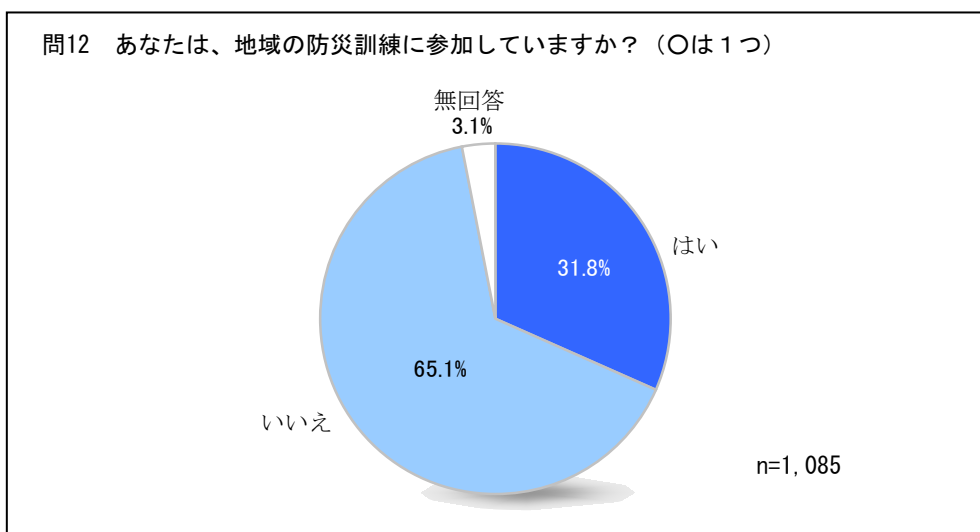
(3) 問11 避難時に手助けが必要な人への協力

避難時に手助けが必要な人への協力では『「大丈夫ですか？」などの声かけ』が74.1%で最も多く、以下、「避難などの手助け」（58.9%）、「家族や親族・知人への連絡」（46.5%）と続いています。



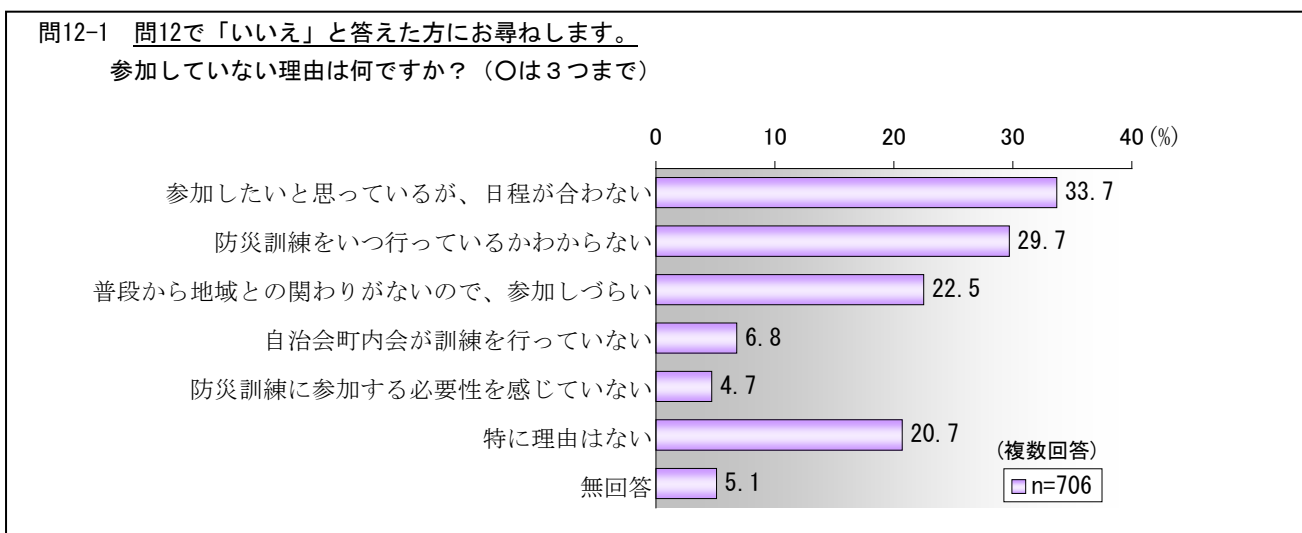
(4) 問12 地域の防災訓練への参加

地域の防災訓練への参加は、「はい」が31.8%、「いいえ」が65.1%と、参加していない人が6割半ばとなっています。



問12-1 防災訓練へ参加していない理由

防災訓練へ参加していない理由は、「参加したいと思っているが、日程が合わない」(33.7%)が3割半ばで最も多く、以下、「防災訓練をいつ行っているかわからない」(29.7%)、「普段から地域との関わりがないので、参加しづらい」(22.5%)が2割台で続いています。一方、「特に理由はない」(20.7%)も約2割と多くなっています。



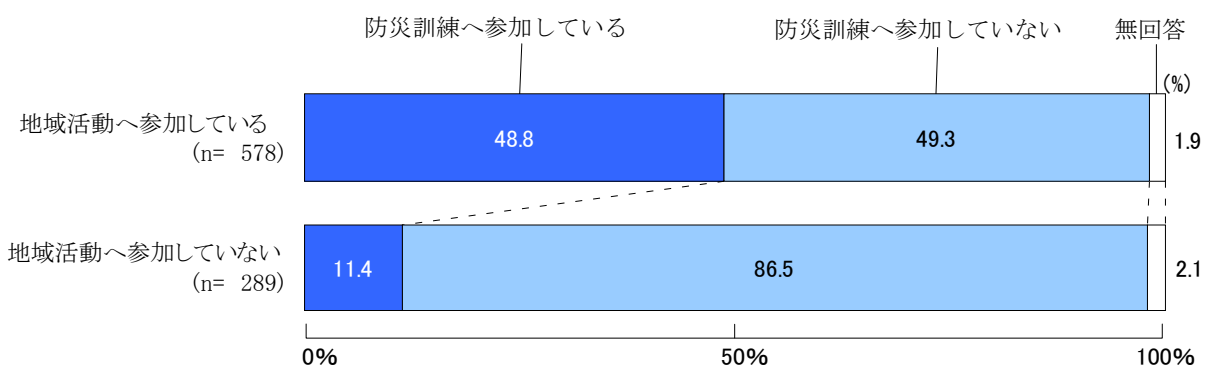
◆地域活動への参加状況別 地域の防災訓練への参加状況

問4①地域活動の参加経験の有無で(1)～(12)のいずれか1つでも選択した方を『地域活動へ参加している』、(13)を選択した方を『地域活動へ参加していない』に区分すると、全体1,085人のうち、『地域活動へ参加している』は578人、『地域活動へ参加していない』は289人、無回答は218人となっています。

上記の地域活動への参加状況別に地域の防災訓練への参加状況をみると、地域活動へ参加している人は「防災訓練へ参加している」割合が48.8%と、地域活動へ参加していない人が「防災訓練へ参加している」割合（11.4%）を大きく上回っています。

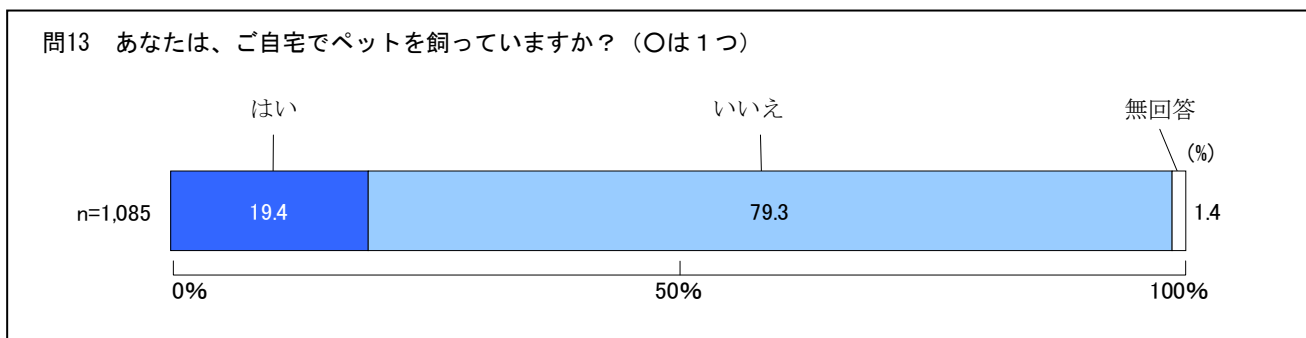
問4①地域活動の参加経験の有無（複数回答）		(n=1,085)
(1) 自治会町内会、子供会、シルバークラブなどの役員活動	地域活動へ参加している (578人)	
(2) 地域の祭りやイベント、クリーンアップ、交流会などの企画や運営への参加		
(3) 地域の交通安全や防災・防犯などの活動		
(4) 高齢者や障害者の施設などでのボランティア活動		
(5) 身近な道路・公園・川などの清掃・美化活動		
(6) 資源回収やリサイクル活動		
(7) 子育てサークル、高齢者サークル、スポーツ、趣味などのサークル活動		
(8) 習い事や稽古事、スポーツなどの指導		
(9) 地域のNPOやボランティア団体の運営の手伝い		
(10) 近所の高齢者や障害者の見守りや介助		
(11) 近所の子どもの見守りや預かり		
(12) その他		
(13) 特になし	地域活動へ参加していない (289人)	
※選択なし	無回答 (218人)	

【地域活動への参加状況別 地域の防災訓練への参加状況】



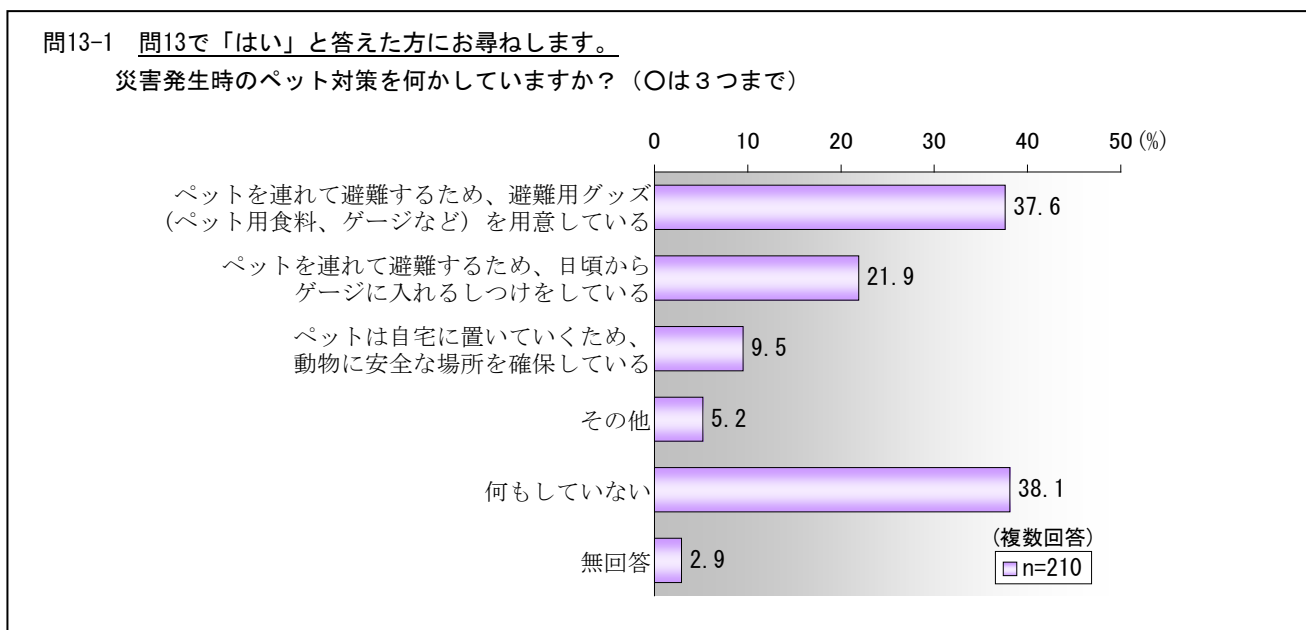
(5) 問13 ペット飼育の有無

ペットを飼っているかについては、「はい」が19.4%、「いいえ」が79.3%と、飼っている人は約2割となっています。



問13-1 災害発生時のペット対策

災害発生時のペット対策については、「何もしていない」が38.1%と最も多くなっています。対策を行っている中では、「ペットを連れて避難するため、避難用グッズ(ペット用食料、ゲージなど)を用意している」が37.6%と最も多く、次いで、「ペットを連れて避難するため、日頃からゲージに入れるしつけをしている」が21.9%となっています。



「いっとき避難場所」の活用方法は決まっていますか？

大地震が発生したら、まずは「いっとき避難場所」に集まり、隣近所の安否や被害を確認します。そして、はさまれていたり閉じ込められている方がいたら、危険のない範囲で救助に向かいましょう。また、消火器や水バケツで消せる程度の小さな火災の消火を行いましょう。

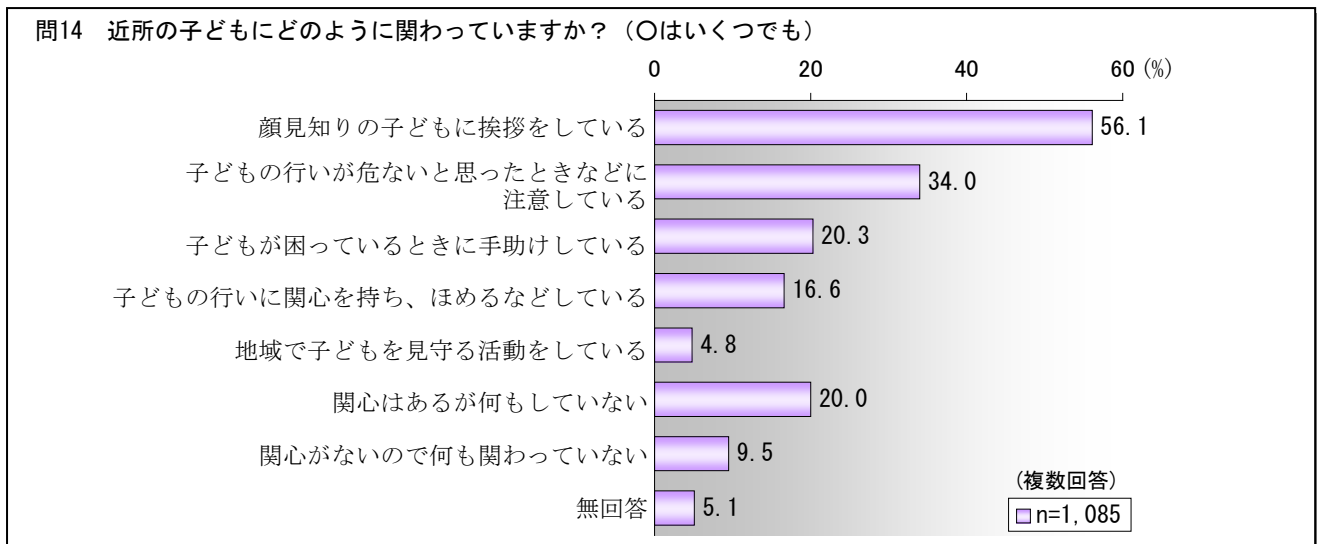
24年度のアンケート調査では、174自治会町内会のうち、設定しているところが159(91%)で、内訳は、複数箇所設定が58(33%)、1箇所設定が101(58%)となっています。

「いっとき避難場所」を活用した訓練を実施し、いざというときに備えましょう。

5. 地域での子育て支援

(1) 問14 近所の子どもへの関わり

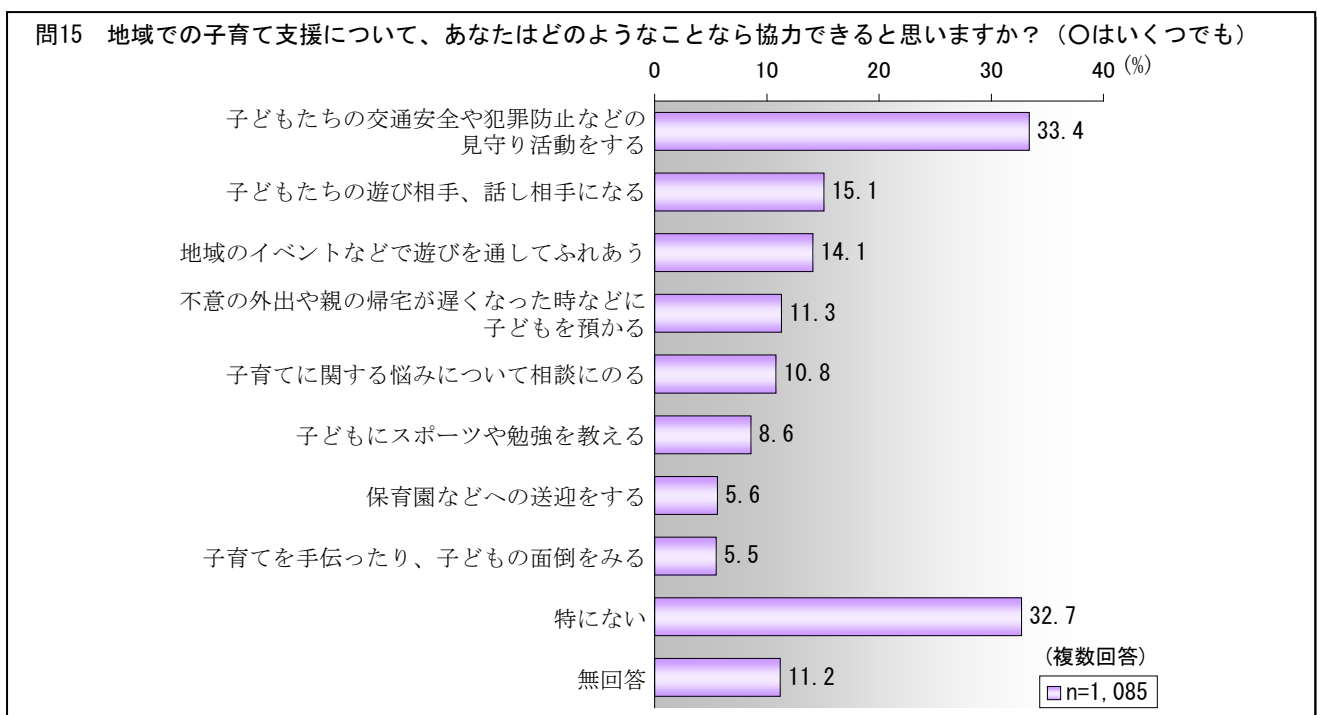
近所の子どもへの関わりについては、「顔見知りの子どもに挨拶をしている」が56.1%で最も多くなっています。以下、「子どもの行いが危ないと思ったときなどに注意している」が34.0%、「子どもが困っているときに手助けしている」が20.3%となっています。一方、「関心はあるが何もしていない」も20.0%となっています。



(2) 問15 子育て支援について協力できると思うこと

ア 子育て支援について協力できると思うこと（全体）

子育て支援について協力できると思うことについては、「子どもたちの交通安全や犯罪防止などの見守り活動をする」が33.4%で最も多く、以下、「子どもたちの遊び相手、話し相手になる」(15.1%)、「地域のイベントなどで遊びを通してふれあう」(14.1%)が1割半ばで続いています。一方、「特にない」も32.7%と多くなっています。



イ 子育て支援について協力できると思うこと（性別・年代別）

子育て支援について協力できると思うことを性別で見ると、男女ともに「子どもたちの交通安全や犯罪防止などの見守り活動をする」が3割台で多くなっています。また、男性では「子どもにスポーツや勉強を教える」（14.1%）が女性に比べて9.7ポイント高く、女性では「不意の外出や親の帰宅が遅くなった時などに子どもを預かる」（15.0%）、「子育てに関する悩みについて相談にのる」（14.2%）が男性に比べて比較的多くなっています。

年代別にみると、「子どもたちの交通安全や犯罪防止などの見守り活動をする」は30歳代から40歳代で4割を超えて多くなっています。「子どもたちの遊び相手、話し相手になる」、「地域のイベントなどで遊びを通してふれあう」は20歳代から30歳代で2割台となっていますが、年代が上がるにつれて割合が減少しています。また、20歳代では「特にない」が約4割となっています。

【属性別 子育て支援について協力できると思うこと】

（上段：回答数、下段：構成比%）

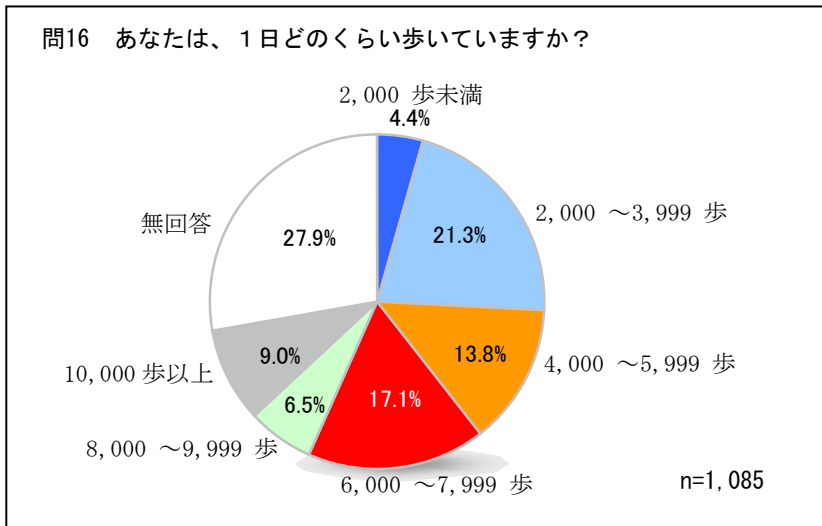
※表中の□は各属性で最も回答割合が高い選択肢。

	全 体	す る 防 止 な ど の 見 守 り 活 動 を 犯	子 ど も た ち の 交 通 安 全 や 犯 罪 防 止	し こ も た ち の 遊 び 相 手 、 話	を 地 域 の イ ベ ン ト な ど で 遊 び	預 か る た り 親 の 帰 宅 が 遅 い	不 意 の 外 出 や 親 の 帰 宅 が 遅 い	子 ど も に ス ポ ー ツ や 勉 強 を 教 え る	子 ど も に ス ポ ー ツ や 勉 強 を 教 え る	保 育 園 な ど へ の 送 迎 を す る	も の 面 倒 を 手 伝 う た り 、 子 ど	特 に な い	無 回 答
調査数	1085 100.0	362 33.4	164 15.1	153 14.1	123 11.3	117 10.8	93 8.6	61 5.6	60 5.5	355 32.7	122 11.2		
性別													
男性	461 100.0	158 34.3	67 14.5	70 15.2	30 6.5	29 6.3	65 14.1	25 5.4	20 4.3	167 36.2	43 9.3		
女性	613 100.0	202 33.0	94 15.3	81 13.2	92 15.0	87 14.2	27 4.4	36 5.9	40 6.5	183 29.9	77 12.6		
年代別													
20歳代	69 100.0	12 17.4	18 26.1	17 24.6	6 8.7	3 4.3	17 24.6	5 7.2	5 7.2	28 40.6	1 1.4		
30歳代	140 100.0	56 40.0	31 22.1	28 20.0	19 13.6	10 7.1	14 10.0	4 2.9	13 9.3	42 30.0	3 2.1		
40歳代	177 100.0	77 43.5	27 15.3	28 15.8	23 13.0	21 11.9	22 12.4	15 8.5	12 6.8	57 32.2	5 2.8		
50歳代	156 100.0	52 33.3	21 13.5	23 14.7	13 8.3	27 17.3	17 10.9	5 3.2	8 5.1	58 37.2	6 3.8		
60歳代	219 100.0	85 38.8	30 13.7	27 12.3	28 12.8	26 11.9	13 5.9	20 9.1	12 5.5	69 31.5	25 11.4		
70歳代	232 100.0	63 27.2	28 12.1	23 9.9	26 11.2	22 9.5	7 3.0	12 5.2	8 3.4	72 31.0	48 20.7		
80歳以上	80 100.0	15 18.8	6 7.5	5 6.3	7 8.8	7 8.8	2 2.5	0 0	2 2.5	22 27.5	33 41.3		

6. 健康づくり

(1) 問16 1日の平均歩数

1日の平均歩数は、「2,000～3,999歩」が21.3%と最も多く、以下、「6,000～7,999歩」(17.1%)、「4,000～5,999歩」(13.8%)、「10,000歩以上」(9.0%)、「8,000～9,999歩」(6.5%)、「2,000歩未満」(4.4%)となっています。



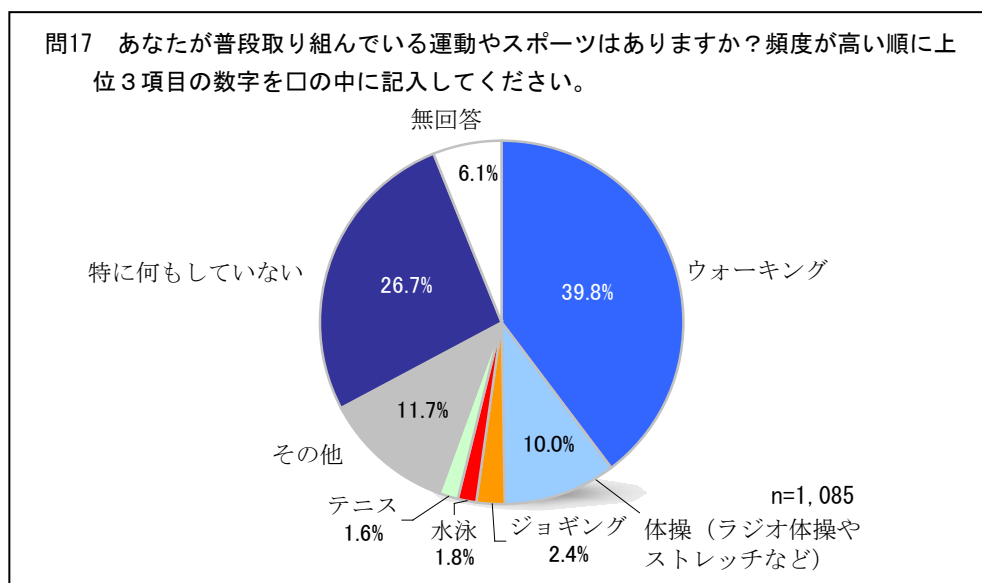
		n=777	1日の平均歩数
男性	人数	359 人	5703.16歩
	割合	45.9 %	
女性	人数	418 人	5381.52歩
	割合	53.5 %	

※回答いただいた内容を歩数時間10分＝歩数距離600m＝歩数1,000歩に換算し、平均歩数を算出しています(厚生労働省『健康日本21』と同じ方法で算出)。

平成23年度の国民栄養調査の結果によると20歳以上の歩数の平均値は、**男性7,233歩、女性6,437歩**となっています。これに比べると、港南区民の1日の平均歩数は少なめとなっています。**あと1000歩、多く歩きましょう。**

(2) 問17 普段取り組んでいる運動やスポーツ(1位)

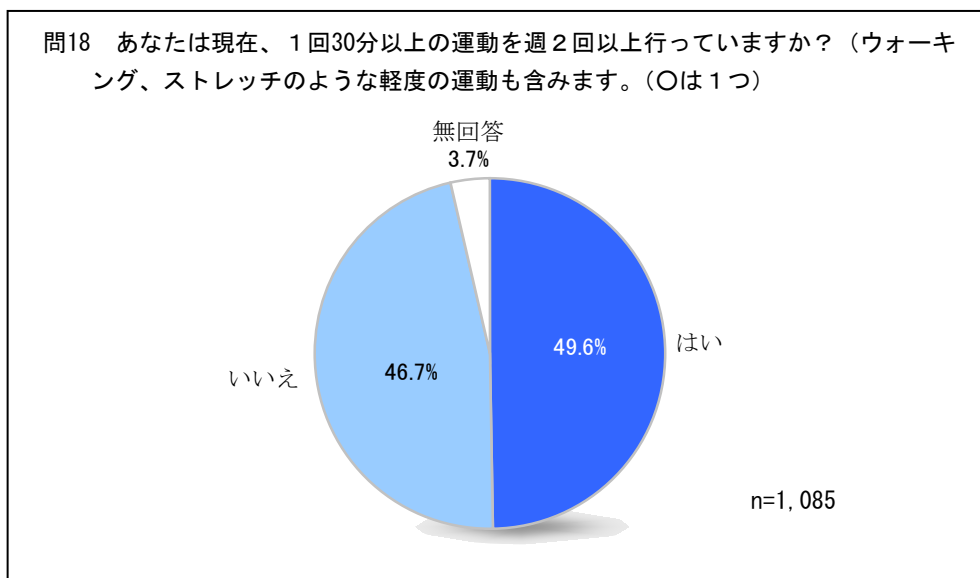
普段取り組んでいる運動やスポーツについては、「ウォーキング」(39.8%)が約4割で最も多くなっています。次いで、「体操(ラジオ体操やストレッチなど)」(10.0%)が1割となっています。



※上位3項目をうかがう設問ですが、2位・3位と項目順位に大きな変化が見られないため、1位のみの掲載としています。

(3) 問18 運動習慣の有無

1回30分以上の運動を週2回行っているかについては、「はい」が49.6%、「いいえ」が46.7%となっています。



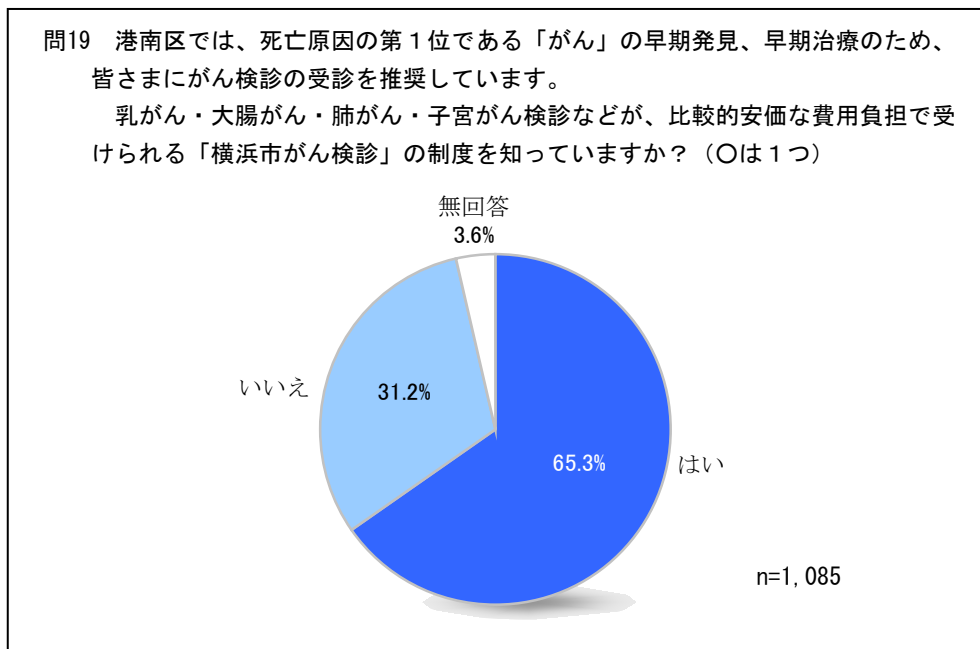
健康づくりの処方箋 ～定期的に運動しよう～

身体をよく動かす人は、こころの健康や生活習慣病の予防、改善に効果があることが認められています。10分程度の歩行を1日に数回行う程度でも健康上の効果が期待できます。

(4) 問19 「横浜市がん検診」制度の認知状況

ア 「横浜市がん検診」制度の認知状況（全体）

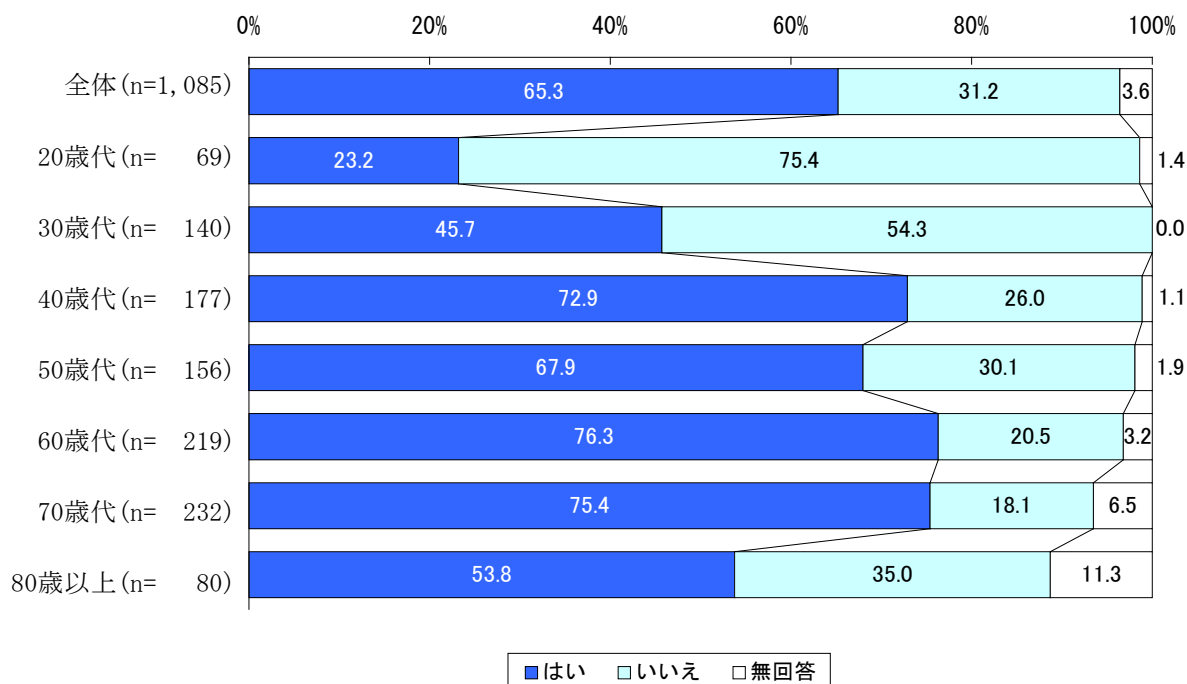
「横浜市がん検診」制度の認知状況については、「はい」が65.3%、「いいえ」が31.2%と、約3人に2人の人が知っていると回答しています。



イ 「横浜市がん検診」制度の認知状況（年代別）

「横浜市がん検診」制度の認知状況について年代別でみると、40歳代（72.9%）、60歳代（76.3%）、70歳代（75.4%）では知っている人が7割を超えて多くなっています。一方、20歳代から30歳代では知らない人が半数を超えており、特に20歳代では75.4%と高い割合になっています。

【年代別 「横浜市がん検診」制度の認知状況】

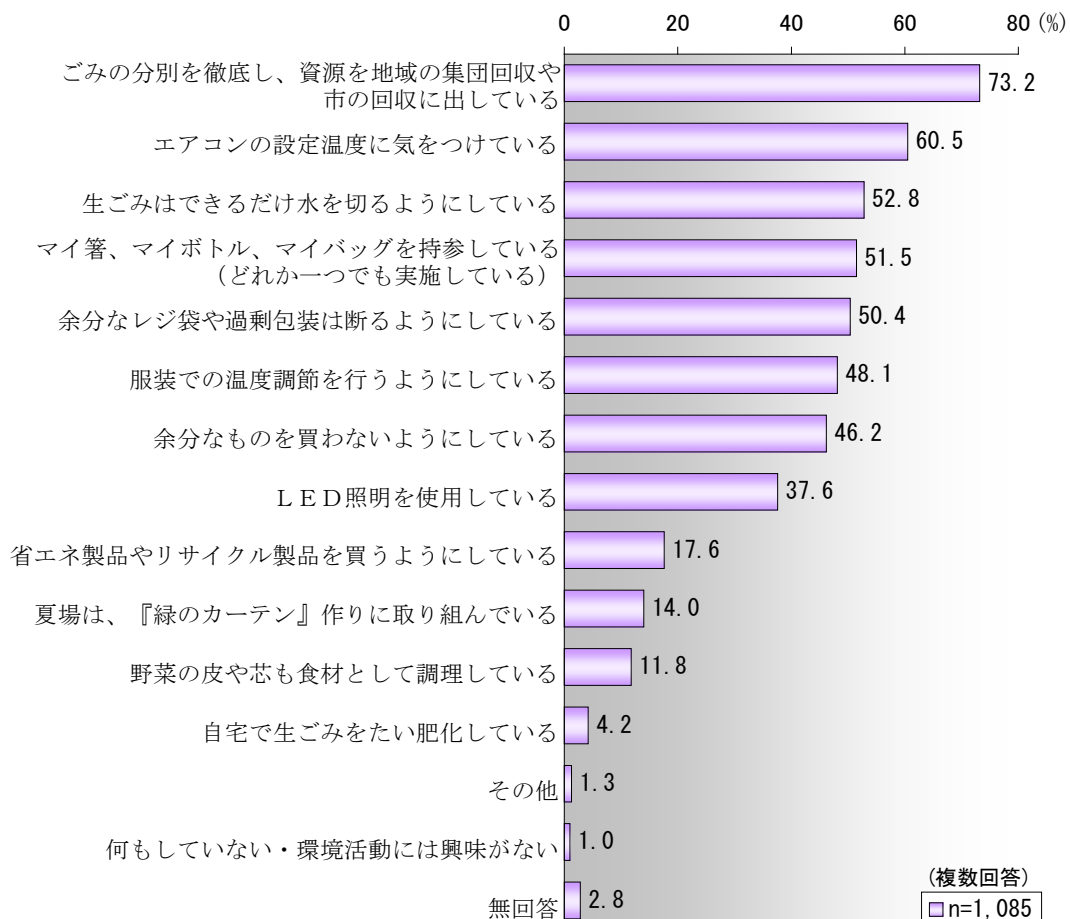


7. ごみの減量化・温暖化対策

(1) 問20 ごみの減量と温暖化対策のために普段家庭で取り組んでいること

ごみの減量と温暖化対策のために普段家庭で取り組んでいることは、「ごみの分別を徹底し、資源を地域の集団回収や市の回収に出している」が73.2%、「エアコンの設定温度に気をつけている」が60.5%と多く、次いで、「生ごみはできるだけ水を切るようにしている」(52.8%)、「マイ箸、マイボトル、マイバッグを持参している（どれか一つでも実施している）」(51.5%)、「余分なレジ袋や過剰包装は断るようになっている」(50.4%)が5割台で続いています。

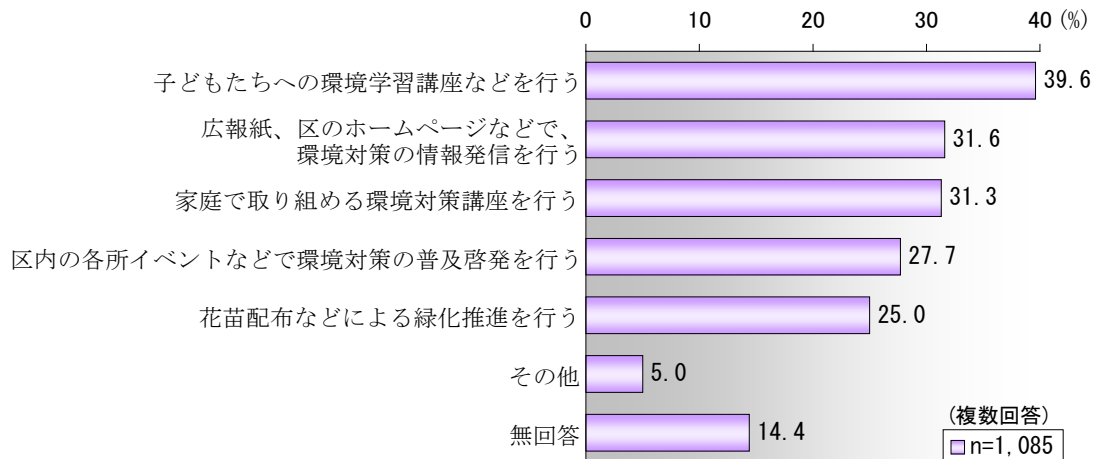
問20 横浜市では、「ヨコハマ3R夢(スリム)プラン」を策定し、リサイクルの推進やごみと資源の総排出量削減などに取り組んでいます。また、家庭で取り組める身近な温暖化対策を推進しています。あなたが普段家庭で取り組んでいることはありますか？(〇はいくつでも)



(2) 問21 区役所が取り組むべき環境対策

区役所が取り組むべき環境対策については、「子どもたちへの環境学習講座などを行う」39.6%が最も多く、以下、「広報紙、区のホームページなどで、環境対策の情報発信を行う」(31.6%)、「家庭で取り組める環境対策講座を行う」(31.3%)が3割台で続いています。

問21 区役所が取り組むべき環境対策は何だと思えますか？（〇は3つまで）



お知らせ

小型家電の回収・リサイクルをはじめました！

横浜市は平成25年10月から、資源の有効活用を目的とした携帯電話・デジタルカメラなどの小型家電の回収・リサイクルを始めています。

回収場所 各区役所及び各区資源循環局事務所に設置の回収ボックス。
※地域のイベントでも回収します。詳細は資源循環局ホームページをご覧ください。

対象品目 30cm×15cmの投入口に入る、長さ30センチメートル未満の電気・電池で動作する製品。

例：携帯電話、デジタルカメラ、ゲーム機、携帯音楽プレーヤーなどの製品
※蛍光灯、電球、パソコンは対象外です。

注意事項

- ・個人情報が含まれる製品は、個人情報を消去してください。
- ・電池類は取り外して出してください。
- ・上記の対象製品を地域の集積場所に出すときには、製品ごとに「燃やすごみ」や「小さな金属類」などに分別してください。「小型家電」としての収集はしていません。



回収ボックス
(イメージ)



横浜 小型家電 検索

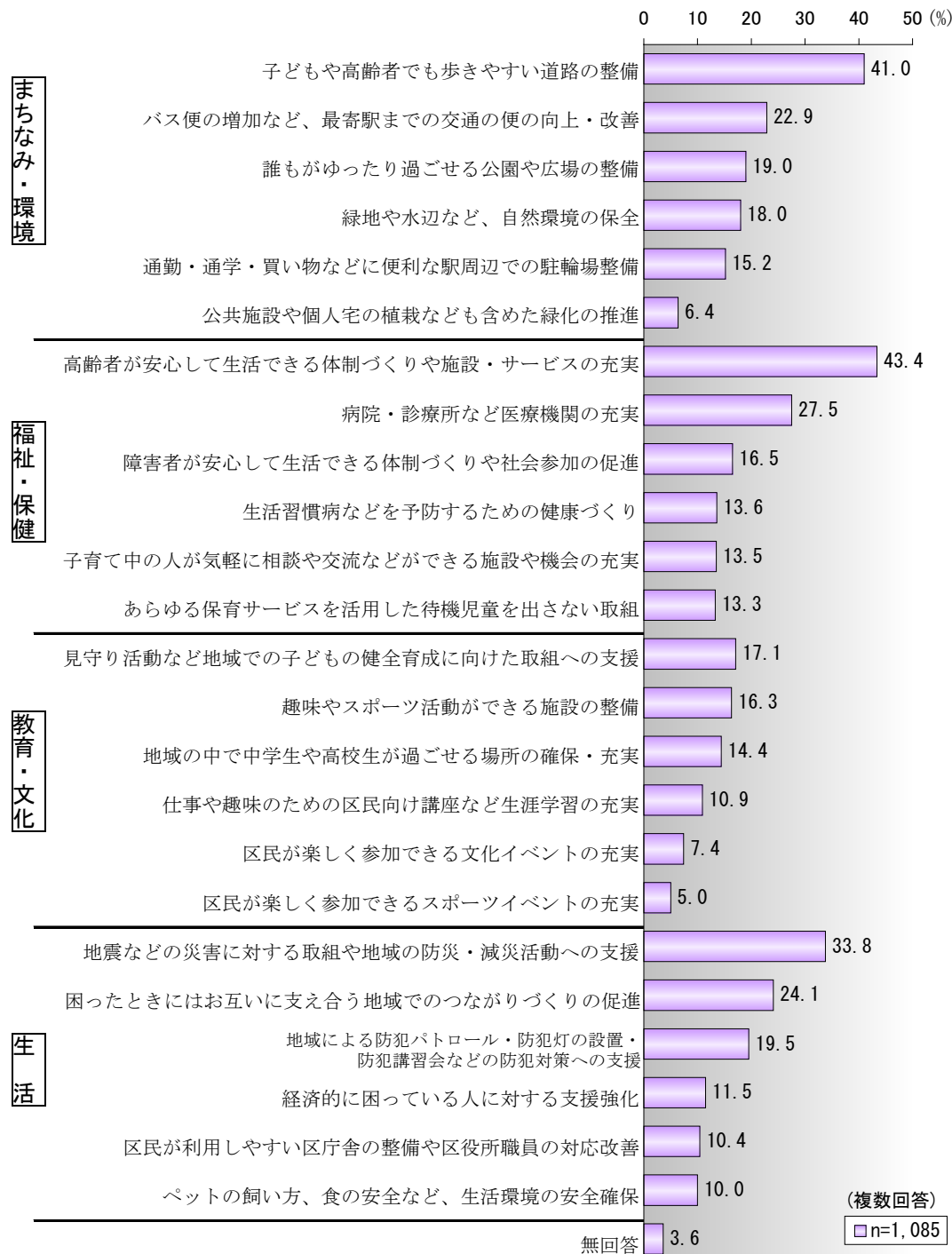
8. その他、区政運営

(1) 問22 短期的に区が取り組むべきこと

ア 短期的に区が取り組むべきこと（全体）

短期的に区が取り組むべきこととしては、「高齢者が安心して生活できる体制づくりや施設・サービスの充実」(43.4%)や「子どもや高齢者でも歩きやすい道路の整備」(41.0%)が4割台で多く、次いで、「地震などの災害に対する取組や地域の防災・減災活動への支援」(33.8%)、「病院・診療所など医療機関の充実」(27.5%)と続いています。

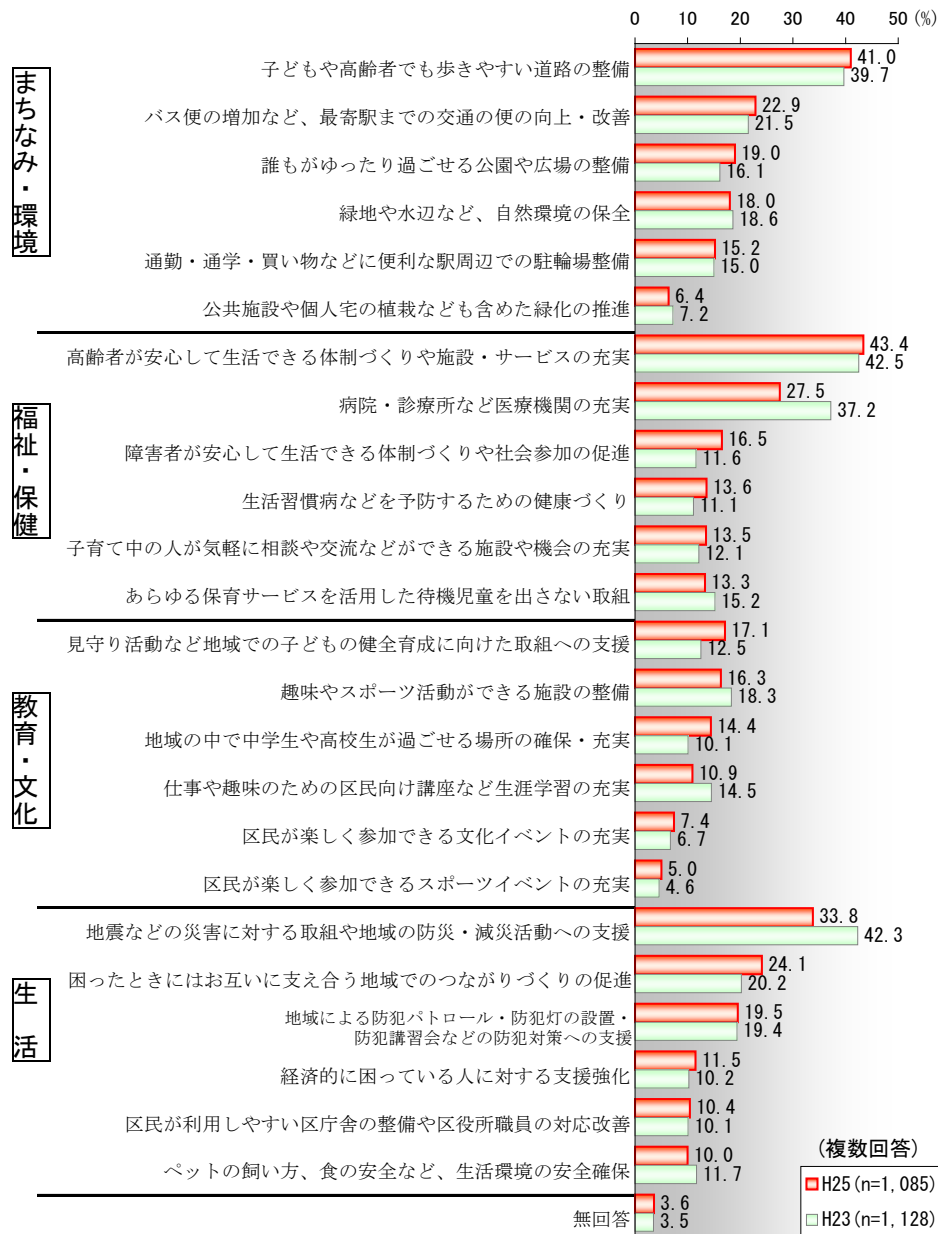
問22 今後、短期的（概ね2～3年）に港南区が取り組むべきものとして重要だと思う項目を5つまで選び、あてはまる数字に○をつけてください。



イ 短期的に区が取り組むべきこと（経年比較）

短期的に区が取り組むべきことについて、平成23年度の調査と比較すると、4位までにあげられている項目に変化はないものの前回2位の「地震などの災害に対する取組や地域の防災・減災活動への支援」が8.5ポイント減少し、順位が3位となり、順位は変わらないものの、「病院・診療所など医療機関の充実」(9.7ポイント減)は割合が大きく減少しています。前回上位5項目に入っていなかった「困ったときにはお互いに支え合う地域でのつながりづくりの促進」は今回5位となっています。

【経年比較 短期的に区が取り組むべきこと】



【経年比較 短期的に区が取り組むべきこと 上位5項目】

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
H25年調査 n=1,085	高齢者が安心して生活できる体制づくりや施設・サービスの充実 43.4	子どもや高齢者でも歩きやすい道路の整備 41.0	地震などの災害に対する取組や地域の防災・減災活動への支援 33.8	病院・診療所など医療機関の充実 27.5	困ったときにはお互いに支え合う地域でのつながりづくりの促進 24.1
H23年調査 n=1,128	高齢者が安心して生活できる体制づくりや施設・サービスの充実 42.5	地震などの災害に対する取組（物資備蓄、防災訓練、防災マップなど）への支援 42.3	子どもや高齢者でも歩きやすい道路の整備 39.7	病院・診療所など医療機関の充実 37.2	バス便の増加など、最寄駅までの交通の便の向上・改善 21.5

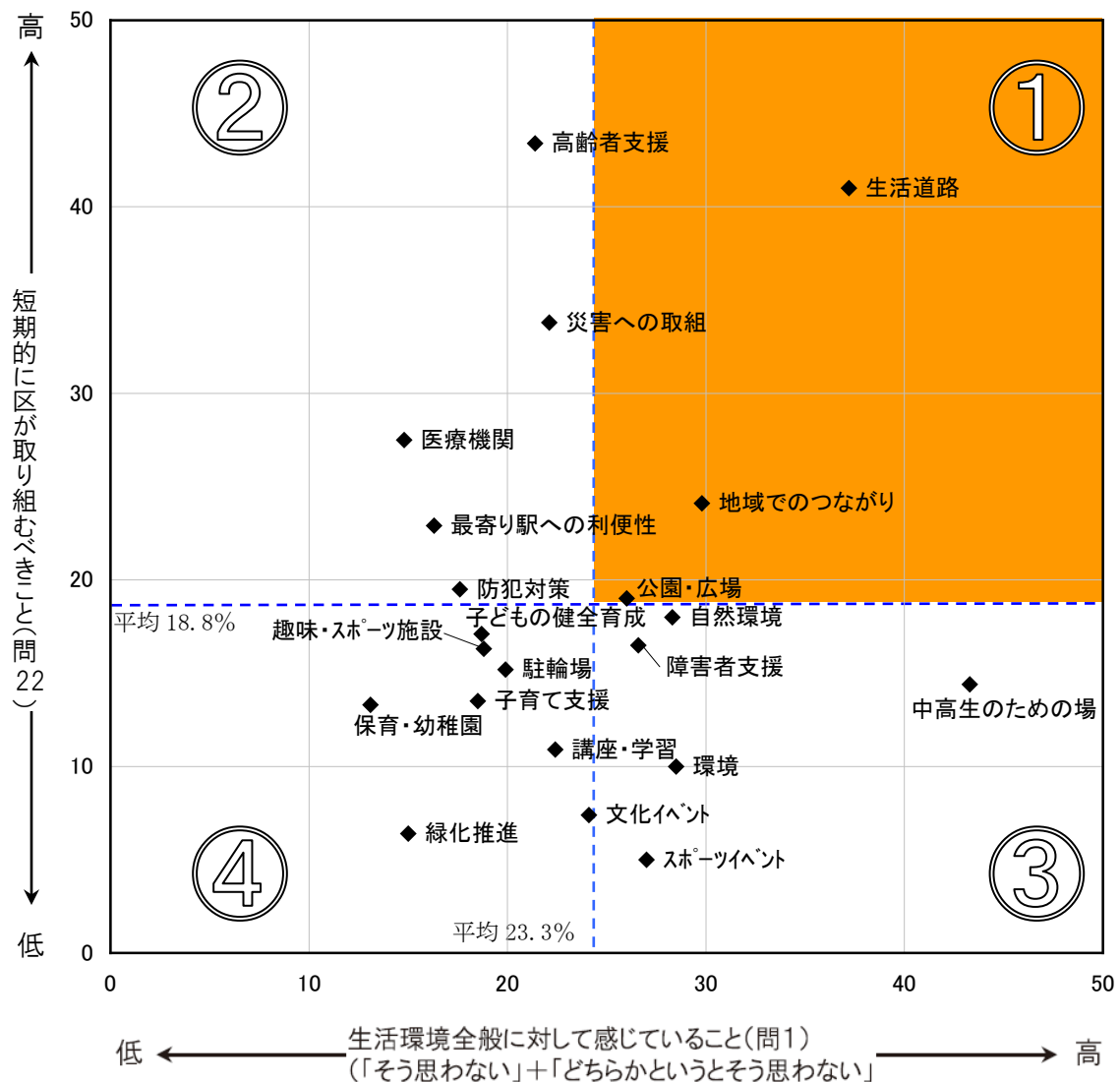
ウ 短期的に区が取り組むべきこと（現状との比較）

問22の「短期的に区が取り組むべきこと」と、問1で聞いた「生活環境全般に対して感じていること」とを比較したものが下の図です。問1で生活環境全般にわたる各項目に対して、「そう思わない」+「どちらかというと思わない」と回答された割合を横軸に、問22で短期的に区が取り組むべきことと回答された割合を縦軸に表示しています。

図中の右上の①は「そう思わない」+「どちらかというと思わない」、短期的に区が取り組むべきことがともに高いエリアで、「生活道路」、「地域でのつながり」、「公園・広場」の3つの項目が該当しています。

また、「高齢者支援」、「災害への取組」が十分かどうかについては、「そう思わない」+「どちらかというと思わない」は他の項目と比較して平均程度ですが、短期的に区が取り組むべきこととしては平均を上回っています。一方、「中高生のための場」が十分かどうかについては「そう思わない」+「どちらかというと思わない」の高さに比べると、短期的に区が取り組むべきこととしてはやや低くなっています。

※選択肢は都合上、省略して表記しています。



エ 短期的に区が取り組むべきこと（性別・年代別）

短期的に区が取り組むべきことの上位5項目を性別で見ると、男女とも上位4項目は同じ結果となっています。5位には、男性では「自然環境の保全」、女性では「地域でのつながりづくりの促進」があげられています。

年代別で見ると「歩きやすい道路の整備」、「災害に対する取組や地域の防災活動への支援」はすべての年代で上位5項目に入っています。

また、20歳代・70歳以上では「医療機関の充実」が3位にあげられています。このほか、20歳代では「待機児童を出さない取組」、30歳代では「子育て中の人々が相談できる機会の充実」、40歳代以降では「高齢者が安心して生活できる体制づくり」が上位5項目に入っています。

※選択肢は都合上、省略して表記しています。

【属性別 短期的に区が取り組むべきこと 上位5項目】 (%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性 n=461	高齢者が安心して生活できる体制づくり 42.3	歩きやすい道路の整備 38.6	災害に対する取組や地域の防災活動への支援 33.8	医療機関の充実 24.3	自然環境の保全 22.8
女性 n=613	高齢者が安心して生活できる体制づくり 44.0	歩きやすい道路の整備 43.1	災害に対する取組や地域の防災活動への支援 33.9	医療機関の充実 29.9	地域でのつながりづくりの促進 26.9
20歳代 n=69	災害に対する取組や地域の防災活動への支援 46.4	歩きやすい道路の整備 30.4	*待機児童を出さない取組 *医療機関の充実 29.0	交通の便の向上・改善 26.1	
30歳代 n=140	歩きやすい道路の整備 47.1	災害に対する取組や地域の防災活動への支援 36.4	子育て中の人々が相談できる機会の充実 30.7	公園や広場の整備 29.3	子どもの健全育成に向けた取組への支援 28.6
40歳代 n=177	歩きやすい道路の整備 40.1	災害に対する取組や地域の防災活動への支援 36.2	高齢者が安心して生活できる体制づくり 33.9	医療機関の充実 27.7	*公園や広場の整備 *地域による防犯対策への支援 *地域でのつながりづくりの促進 23.2
50歳代 n=156	高齢者が安心して生活できる体制づくり 50.0	歩きやすい道路の整備 48.1	災害に対する取組や地域の防災活動への支援 39.7	交通の便の向上・改善 27.6	医療機関の充実 26.9
60歳代 n=219	高齢者が安心して生活できる体制づくり 53.4	歩きやすい道路の整備 42.0	災害に対する取組や地域の防災活動への支援 35.2	医療機関の充実 26.9	地域でのつながりづくりの促進 25.6
70歳代 n=232	高齢者が安心して生活できる体制づくり 50.9	歩きやすい道路の整備 36.6	医療機関の充実 27.6	地域でのつながりづくりの促進 27.2	災害に対する取組や地域の防災活動への支援 24.1
80歳以上 n=80	高齢者が安心して生活できる体制づくり 51.3	歩きやすい道路の整備 38.8	医療機関の充実 33.8	*災害に対する取組や地域の防災活動への支援 *地域でのつながりづくりの促進	27.5

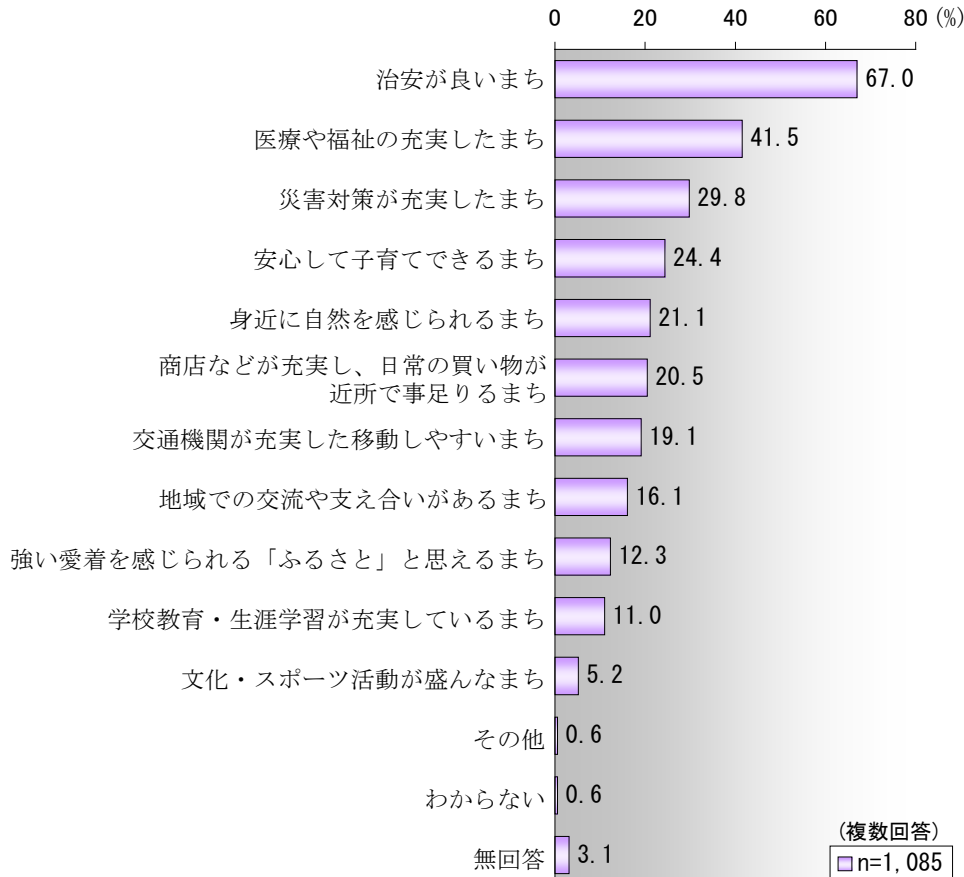
※同率の項目には「*」印をつけています。

(2) 問23 区の将来像

ア 区の将来像（全体）

望ましい区の将来像については、「治安が良いまち」が67.0%で最も多く、以下、「医療や福祉の充実したまち」（41.5%）、「災害対策が充実したまち」（29.8%）と続いています。

問23 あなたは、港南区が将来（概ね5～10年後）に向けて、どのような方向に発展していくことが望ましいと思いますか？（〇は3つまで）



イ 区の将来像（性別・年代別）

望ましい区の将来像の上位5項目を性別で見ると、男女とも上位3項目は同じ結果となっています。4位以降では、「安心して子育てできるまち」のほか、男性では「身近に自然を感じられるまち」、女性では「商店などが充実し、日常の買い物が近所で事足りるまち」があげられています。

年代別でも「治安が良いまち」はいずれの年代でも第1位にあげられており、年代に共通した最も望ましい将来像となっています。この他では「医療や福祉の充実したまち」、「災害対策が充実したまち」も各年代で共通しています。また、「安心して子育てできるまち」も多くの年代であげられており、特に20歳代から30歳代では2位となっています。一方、70歳代以上では「商店などが充実し、日常の買い物が近所で事足りるまち」が上位にあげられており、年代による要望の違いもみられます。

【性別・年代別 区の将来像 上位5項目】

(%)

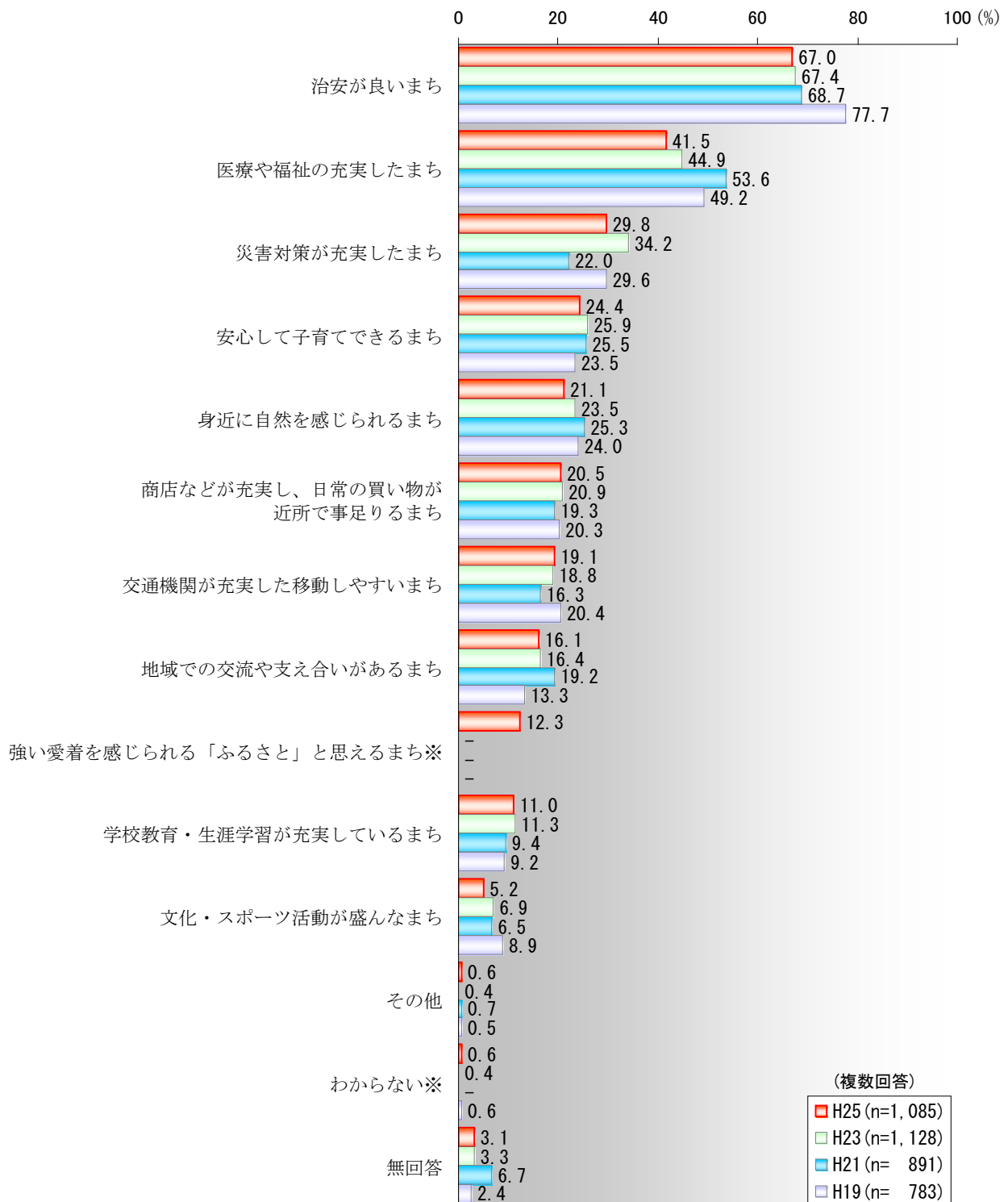
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性 n=461	治安が良いまち 64.4	医療や福祉の充実したまち 40.6	災害対策が充実したまち 27.3	身近に自然を感じられるまち 24.9	安心して子育てできるまち 24.3
女性 n=613	治安が良いまち 69.3	医療や福祉の充実したまち 42.4	災害対策が充実したまち 31.3	安心して子育てできるまち 24.8	商店などが充実し、日常の買い物が近所で事足りるまち 22.8
20歳代 n=69	治安が良いまち 56.5	安心して子育てできるまち 39.1	交通機関が充実した移動しやすいまち 30.4	災害対策が充実したまち 29.0	医療や福祉の充実したまち 27.5
30歳代 n=140	治安が良いまち 68.6	安心して子育てできるまち 55.0	災害対策が充実したまち 32.1	医療や福祉の充実したまち 31.4	交通機関が充実した移動しやすいまち 22.1
40歳代 n=177	治安が良いまち 71.2	医療や福祉の充実したまち 36.7	災害対策が充実したまち 33.9	安心して子育てできるまち 25.4	身近に自然を感じられるまち 24.3
50歳代 n=156	治安が良いまち 75.0	医療や福祉の充実したまち 44.2	災害対策が充実したまち 37.8	安心して子育てできるまち 26.3	交通機関が充実した移動しやすいまち 23.7
60歳代 n=219	治安が良いまち 66.7	医療や福祉の充実したまち 49.8	災害対策が充実したまち 28.8	身近に自然を感じられるまち 24.2	安心して子育てできるまち 19.6
70歳代 n=232	治安が良いまち 67.2	医療や福祉の充実したまち 44.8	商店などが充実し、日常の買い物が近所で事足りるまち 24.6	災害対策が充実したまち 22.4	身近に自然を感じられるまち 21.6
80歳以上 n=80	治安が良いまち 52.5	医療や福祉の充実したまち 45.0	*災害対策が充実したまち *身近に自然を感じられるまち		商店などが充実し、日常の買い物が近所で事足りるまち 22.5

※同率の項目には「*」印をつけています。

ウ 区の将来像（経年比較）

望ましい区の将来像について経年変化をみると、上位2項目に変化はなく、他の項目についても前回から大きな変化はみられません。

【経年比較 区の将来像】



※「強い愛着を感じられる「ふるさと」と思えるまち」は今回調査（平成25年度調査）より選択肢に追加しました。

※平成21年度調査では「わからない」は選択肢にありませんでした。

9. 自由記述

区政運営や今回の区民意識調査について、ご意見・ご要望を伺ったところ、215名の方から回答がありました。寄せられたご意見を「横浜市の広聴情報データベースで使用する内容分類表」に基づいて分類すると、「交通・道路に関すること」(43件)が最も多く、次いで「都市経営・運営に関すること」(26件)、「市民活動に関すること」(24件)となっています。また、「今回の調査に関すること」を含む「その他」は52件となっています。

ご意見・ご要望の内容（分類別）	件数
交通・道路に関すること	43 件
うち、バスに関すること	(7 件)
うち、道路に関すること	(20 件)
うち、駐車・駐輪に関すること	(8 件)
公害・環境保全・緑に関すること	17 件
うち、緑地保全・緑化推進に関すること	(5 件)
うち、公園・広場に関すること	(8 件)
職員（教職員を除く）に関すること	14 件
うち、市民対応に関すること	(11 件)
うち、市民対応へのお礼	(2 件)
うち、市民対応への苦情	(4 件)
防犯・防災・消防に関すること	20 件
うち、防災・消防に関すること	(8 件)
うち、防犯に関すること	(9 件)
市民利用施設に関すること	7 件
都市経営・運営に関すること	26 件
うち、行政改革・組織に関すること	(11 件)
広報・公聴・市民相談・情報公開に関すること	6 件
うち、広報・公聴・市民相談に関すること	(4 件)
経済・産業に関すること	4 件
うち、産業振興に関すること	(4 件)

内容（分類別）	件数
福祉に関すること	10 件
うち、高齢者福祉に関すること	(7 件)
ごみ、リサイクルに関すること	17 件
うち、まちの美化に関すること	(11 件)
子育て支援に関すること	3 件
市民活動に関すること	24 件
都市整備・開発と住宅に関すること	14 件
保健・衛生・医療に関すること	6 件
戸籍・税金・保険年金に関すること	4 件
教育に関すること	2 件
観光・シティセールスに関すること	2 件
選挙に関すること	1 件
その他	52 件
うち、今回の調査に関すること	(29 件)
特になし	6 件
項目ごとの合計件数	278 件

※ お一人の回答の中に複数の項目について述べられている場合、それぞれの項目について1件と数えているため、回答者数と項目ごとの件数の合計とは一致しません。

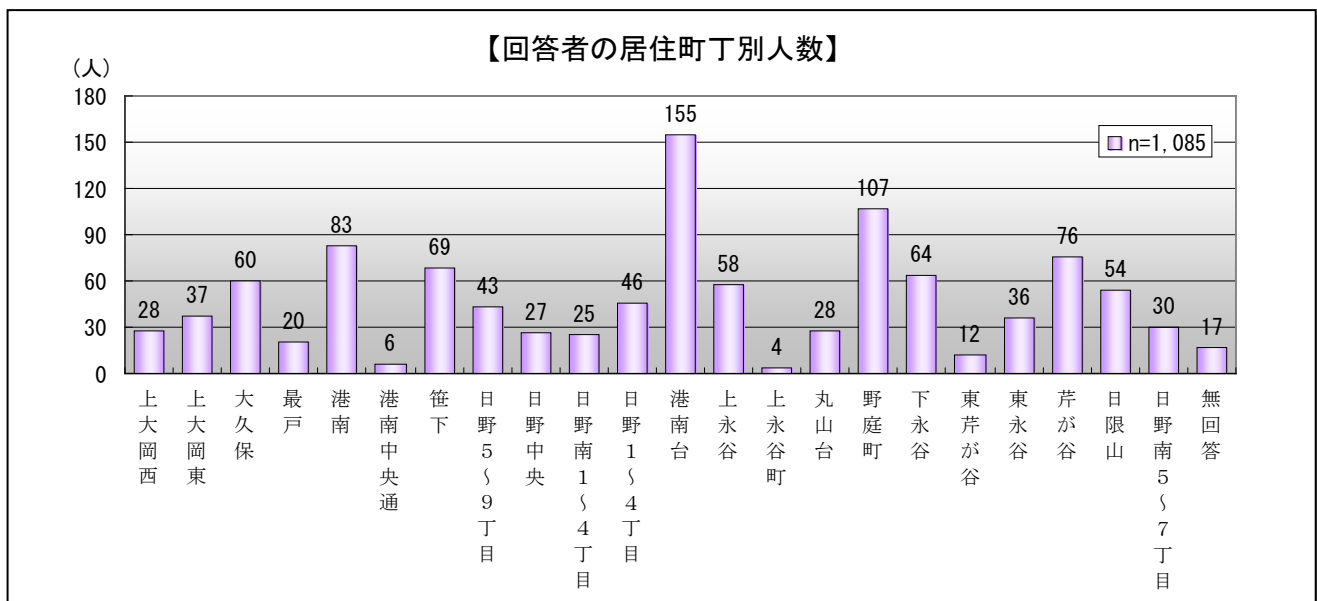
10. 資料編（地域別集計）

地域活動の参考となるよう、主に地域活動に関する項目について、概ね連合自治会町内会エリアを「地域」として、その地域別に集計結果をまとめました。なお、調査の特性上（※1、2）、地域の範囲や数値について厳密なデータではないため、おおよその傾向としてご参照ください。

※1 調査結果で確認できる回答者の居住町丁域を単位に、連合自治会町内会エリアに割り振りしています。そのため、実際の連合自治会町内会エリアと異なる地域があります。

※2 回答者は無作為抽出で選んだため、町丁別の回答者数に偏りが生じています。

◆回答者の居住町丁別人数構成

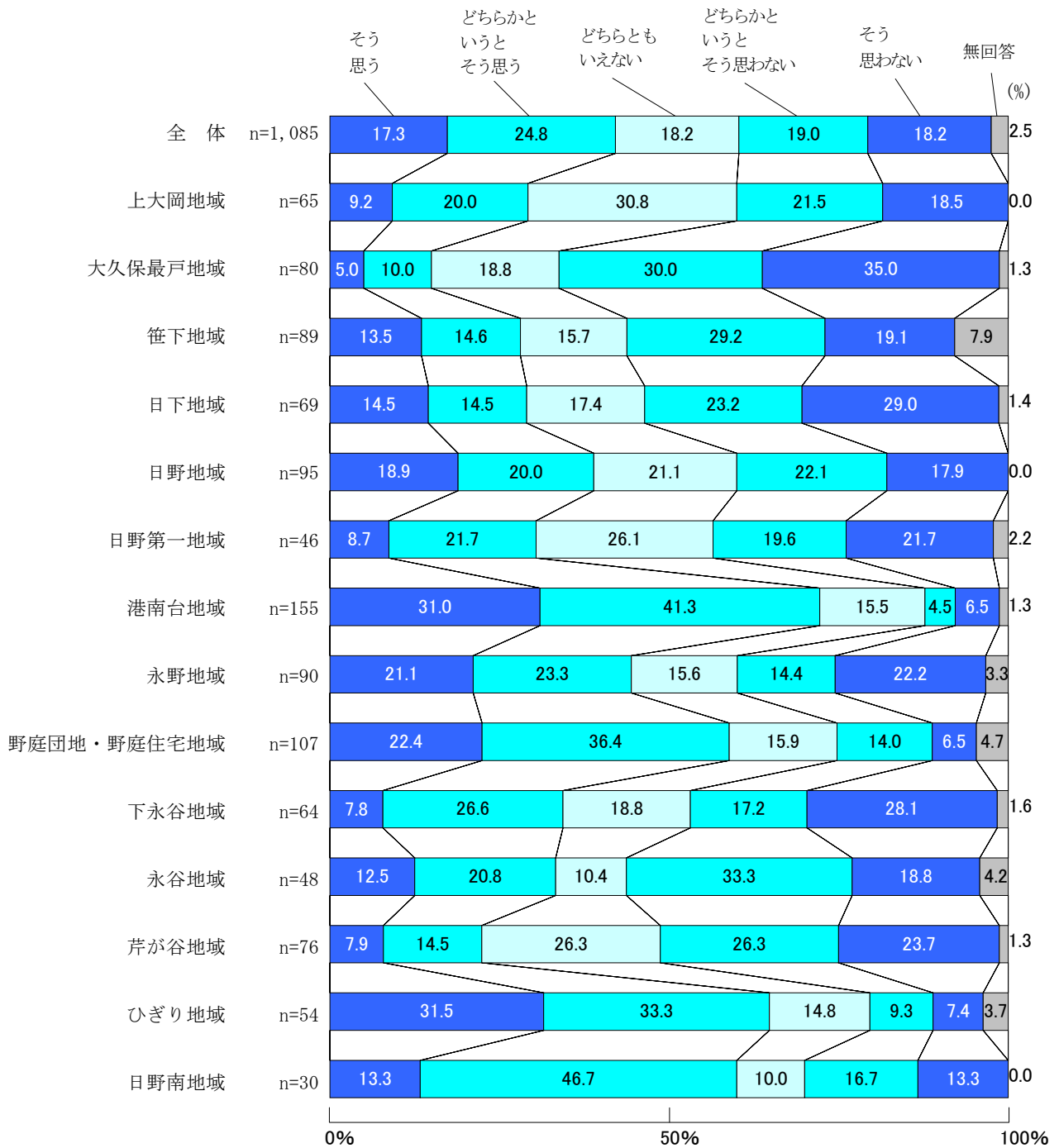


【回答者の居住町丁別人数及び割合】

地域名	町丁名	人数	割合	地域名	町丁名	人数	割合	
上大岡地域	上大岡西	28人	2.6%	港南台地域	港南台	155人	14.3%	
	上大岡東	37人	3.4%		永野地域	上永谷	58人	5.3%
大久保最戸地域	大久保	60人	5.5%	上永谷町		4人	0.4%	
	最戸	20人	1.8%	丸山台		28人	2.6%	
笹下地域	港南	83人	7.6%	野庭団地・野庭住宅地域	野庭町	107人	9.9%	
	港南中央通	6人	0.6%		下永谷地域	下永谷	64人	5.9%
日下地域	笹下	69人	6.4%	永谷地域		東芹が谷	12人	1.1%
日野地域	日野5〜9丁目	43人	4.0%		東永谷	36人	3.3%	
	日野中央	27人	2.5%		芹が谷地域	芹が谷	76人	7.0%
	日野南1〜4丁目	25人	2.3%	ひざり地域	日限山	54人	5.0%	
日野第一地域	日野1〜4丁目	46人	4.2%	日野南地域	日野南5〜7丁目	30人	2.8%	
						無回答	17人	1.6%
						合計	1,085人	100.0%

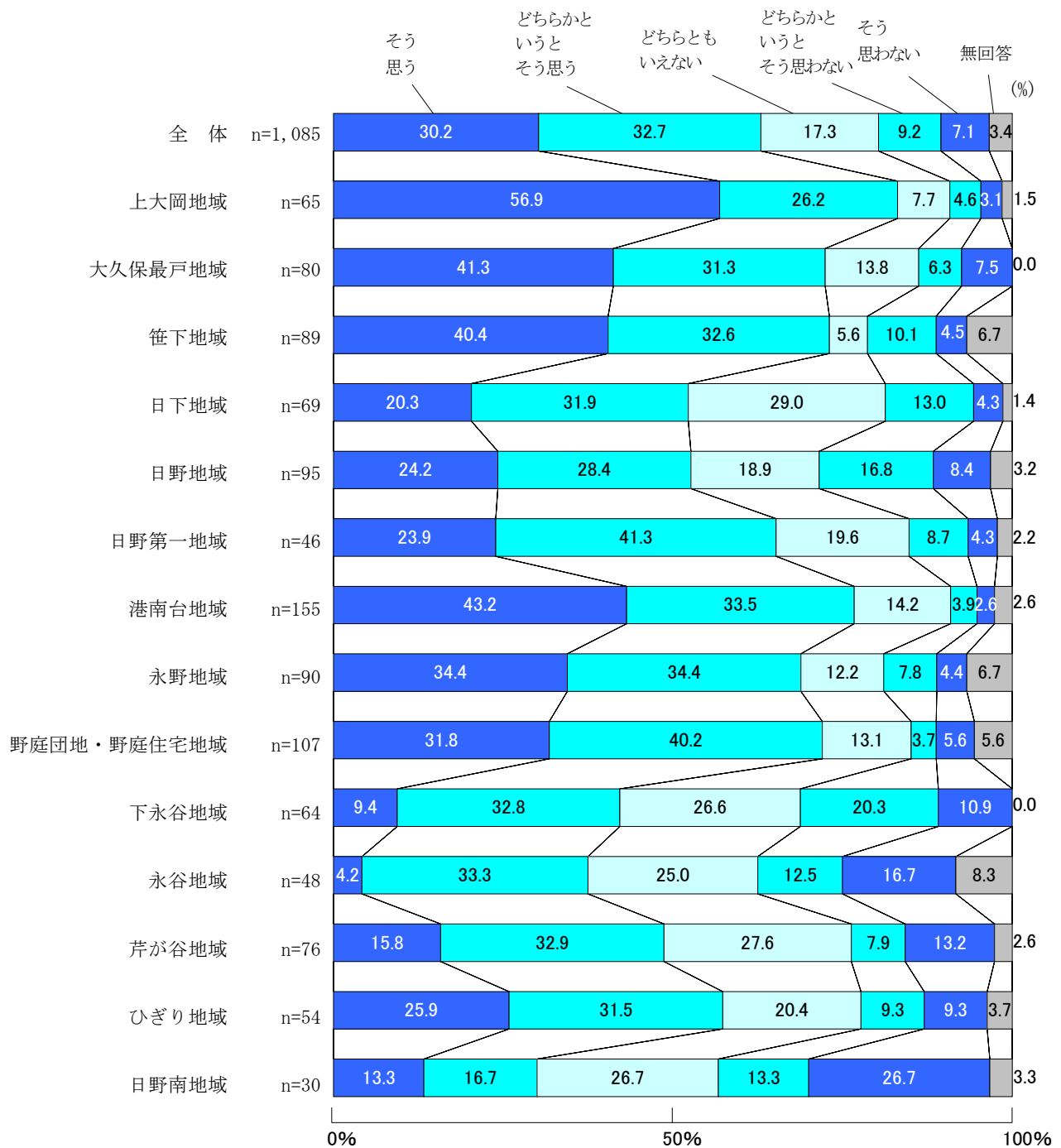
①生活環境全般（地域別）

【地域別 「近所の道路は、子どもや高齢者でも歩きやすい」】



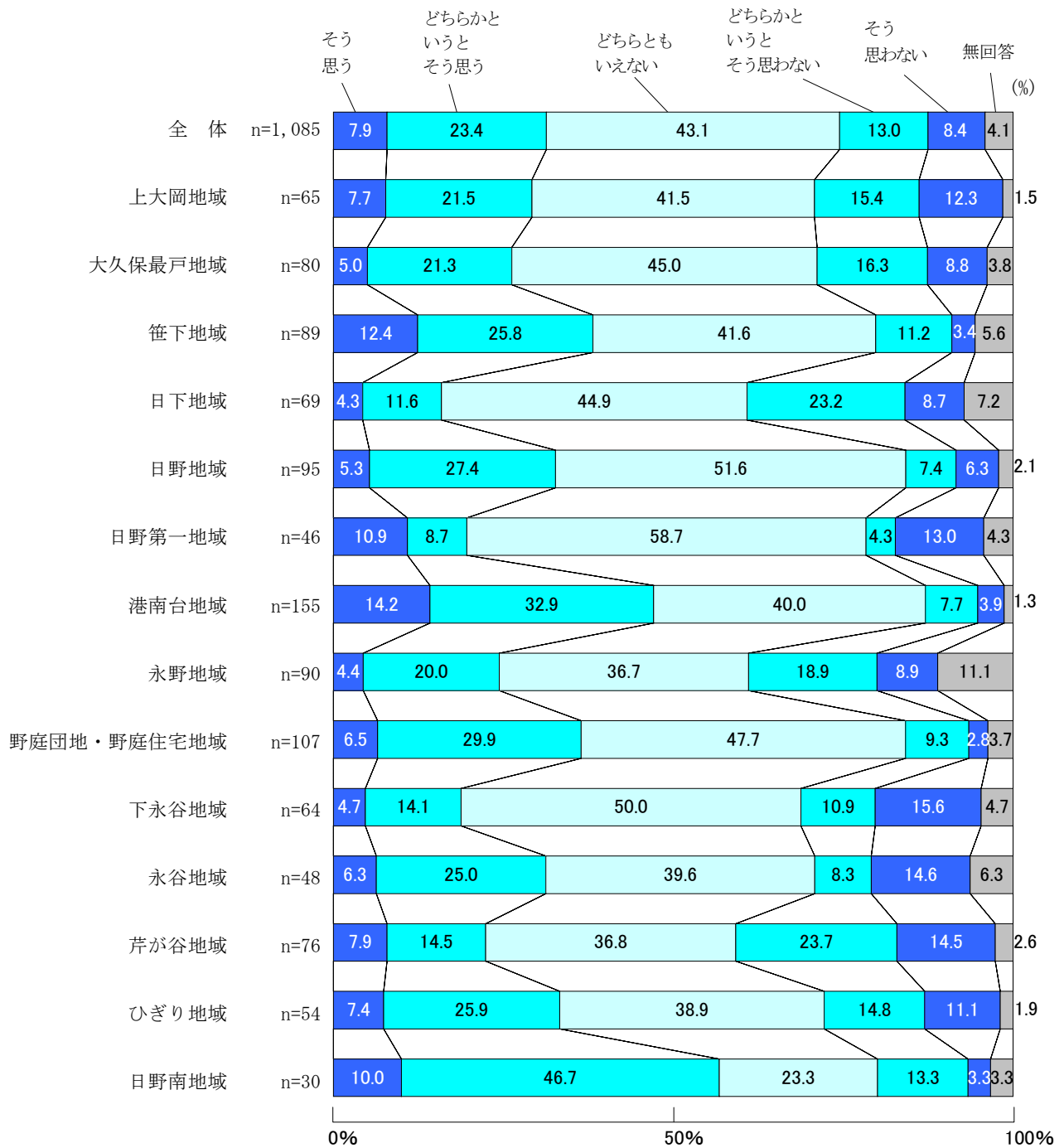
①生活環境全般（地域別・つづき）

【地域別 「最寄駅までの交通の便が良く、通勤・通学が楽である」】



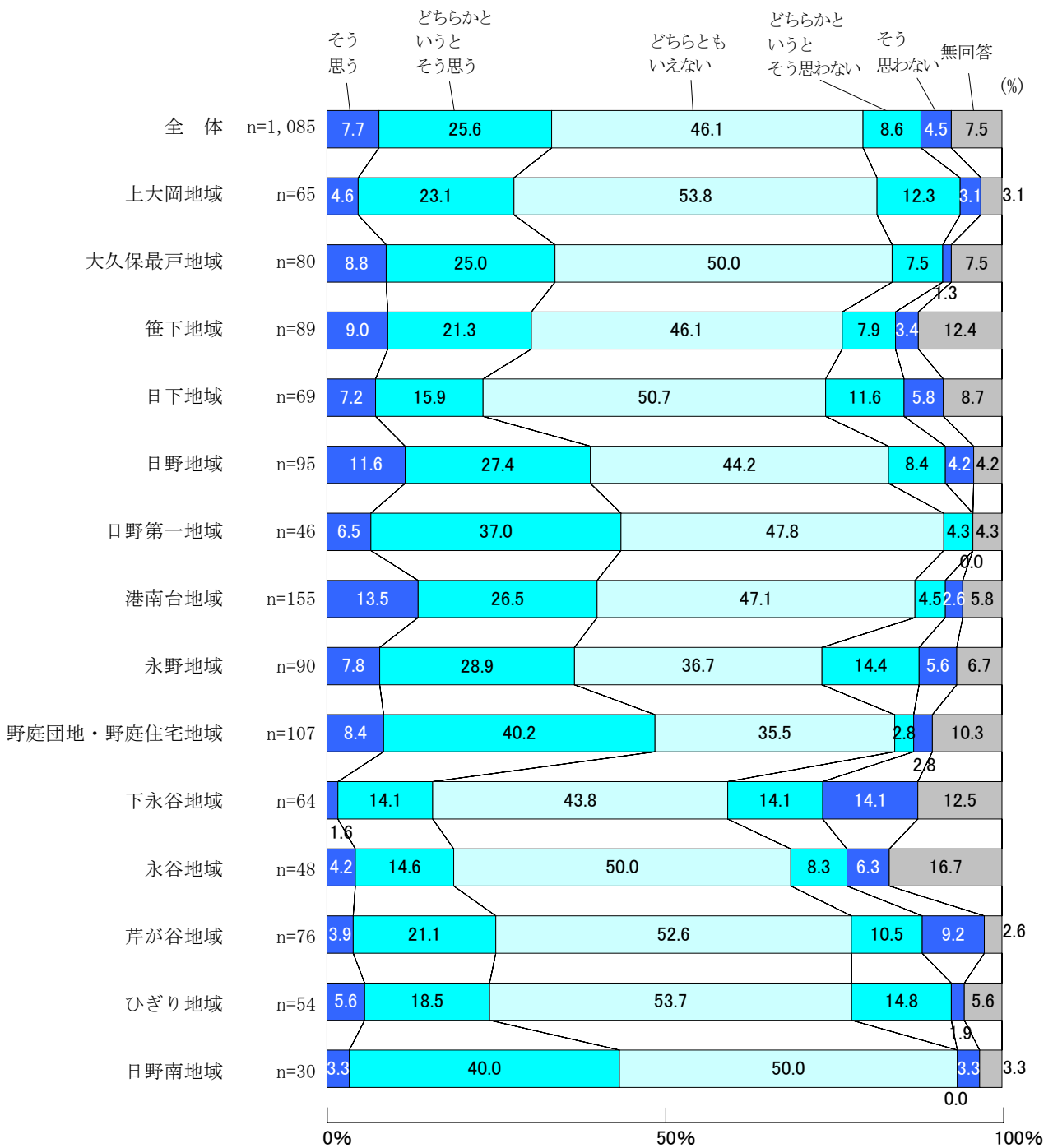
①生活環境全般（地域別・つづき）

【地域別 「高齢者のための施設やサービスが充実している」】



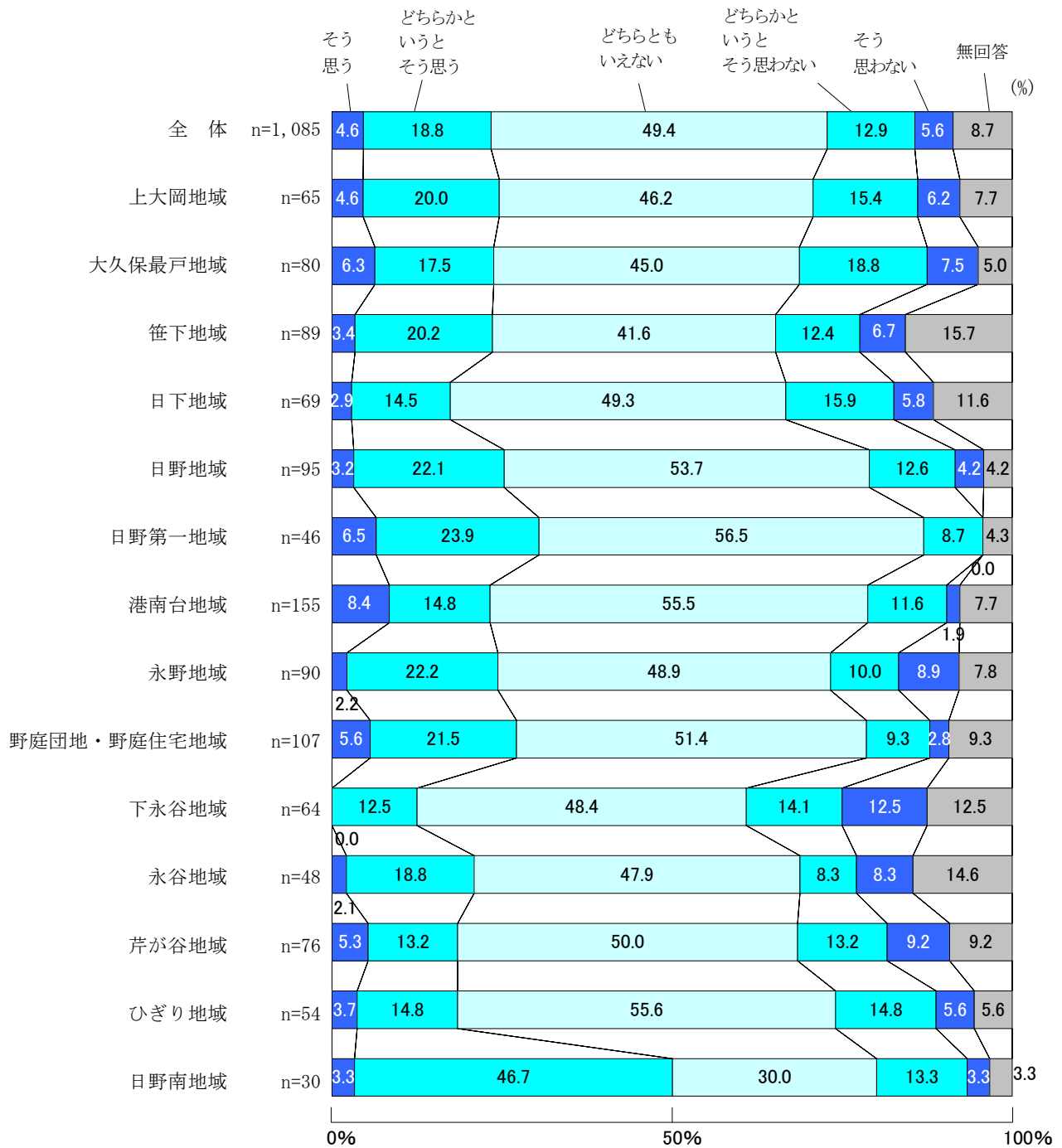
①生活環境全般（地域別・つづき）

【地域別 「保育所や幼稚園などが利用しやすい」】



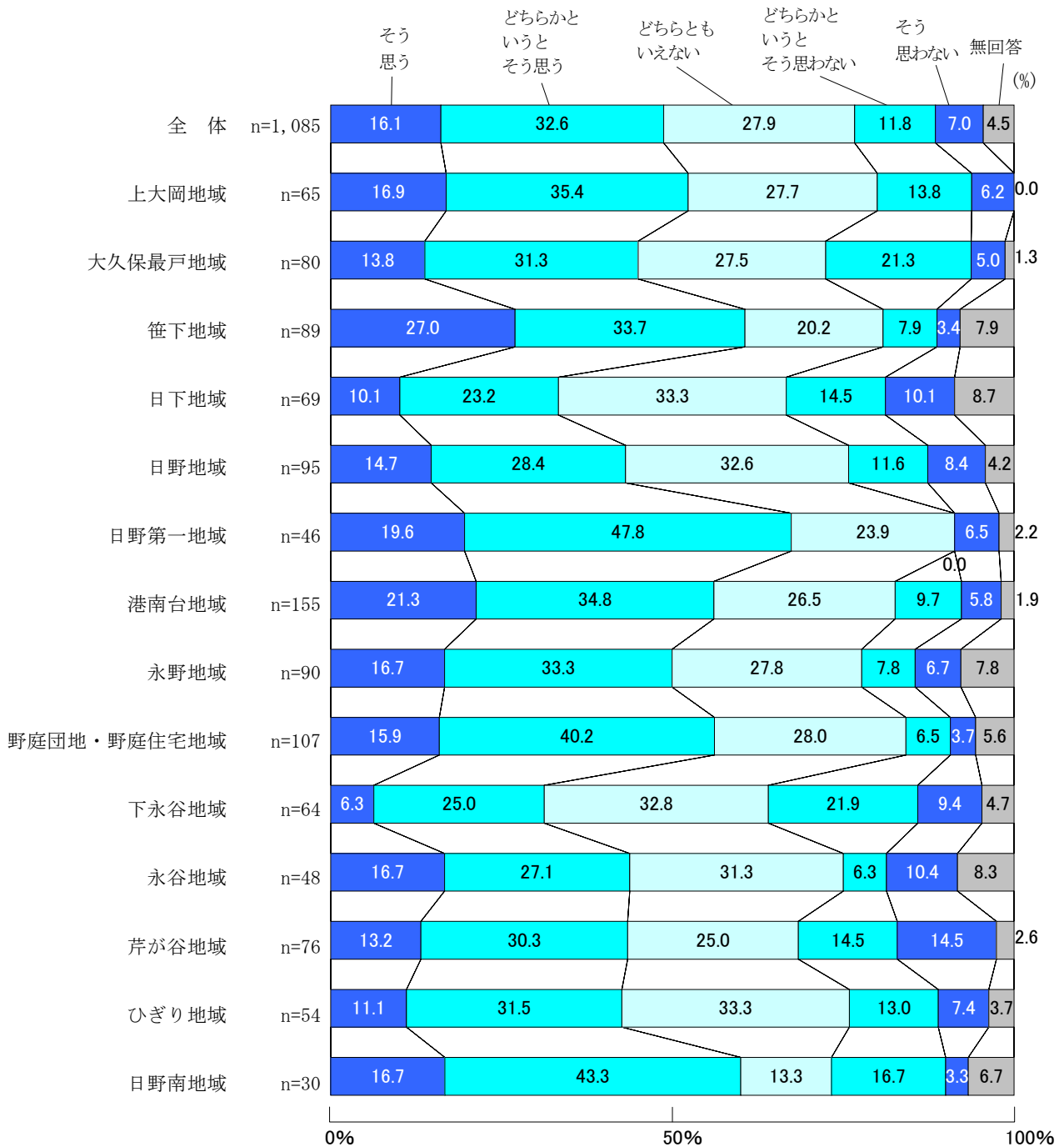
①生活環境全般（地域別・つづき）

【地域別 「子育てをする人が交流する場や気軽に相談できる窓口がある」】



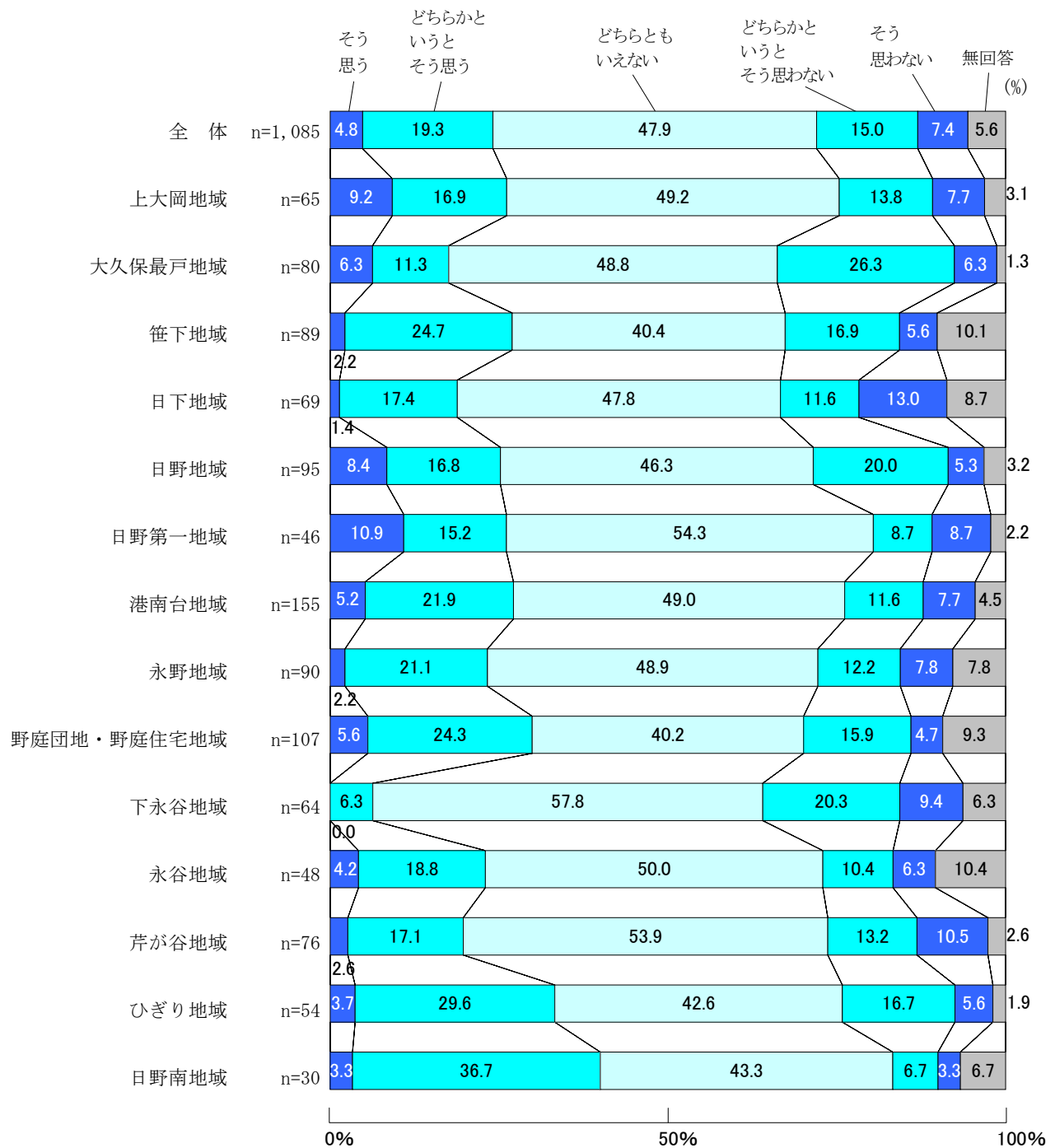
①生活環境全般（地域別・つづき）

【地域別 「地域の中に趣味やスポーツ活動ができる施設がある」】



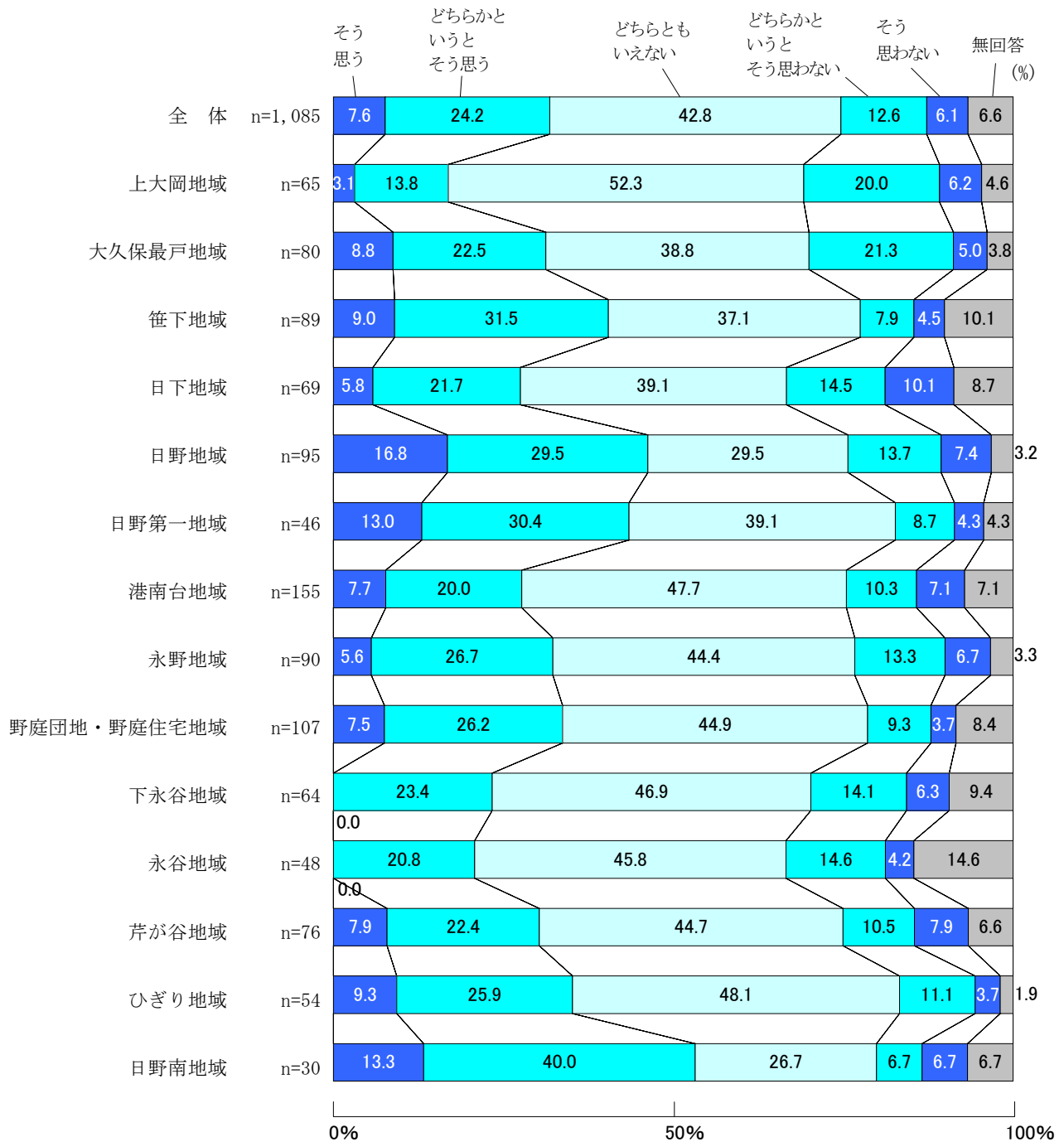
①生活環境全般（地域別・つづき）

【地域別 「仕事や趣味のための区民向け講座など生涯学習が充実している」】



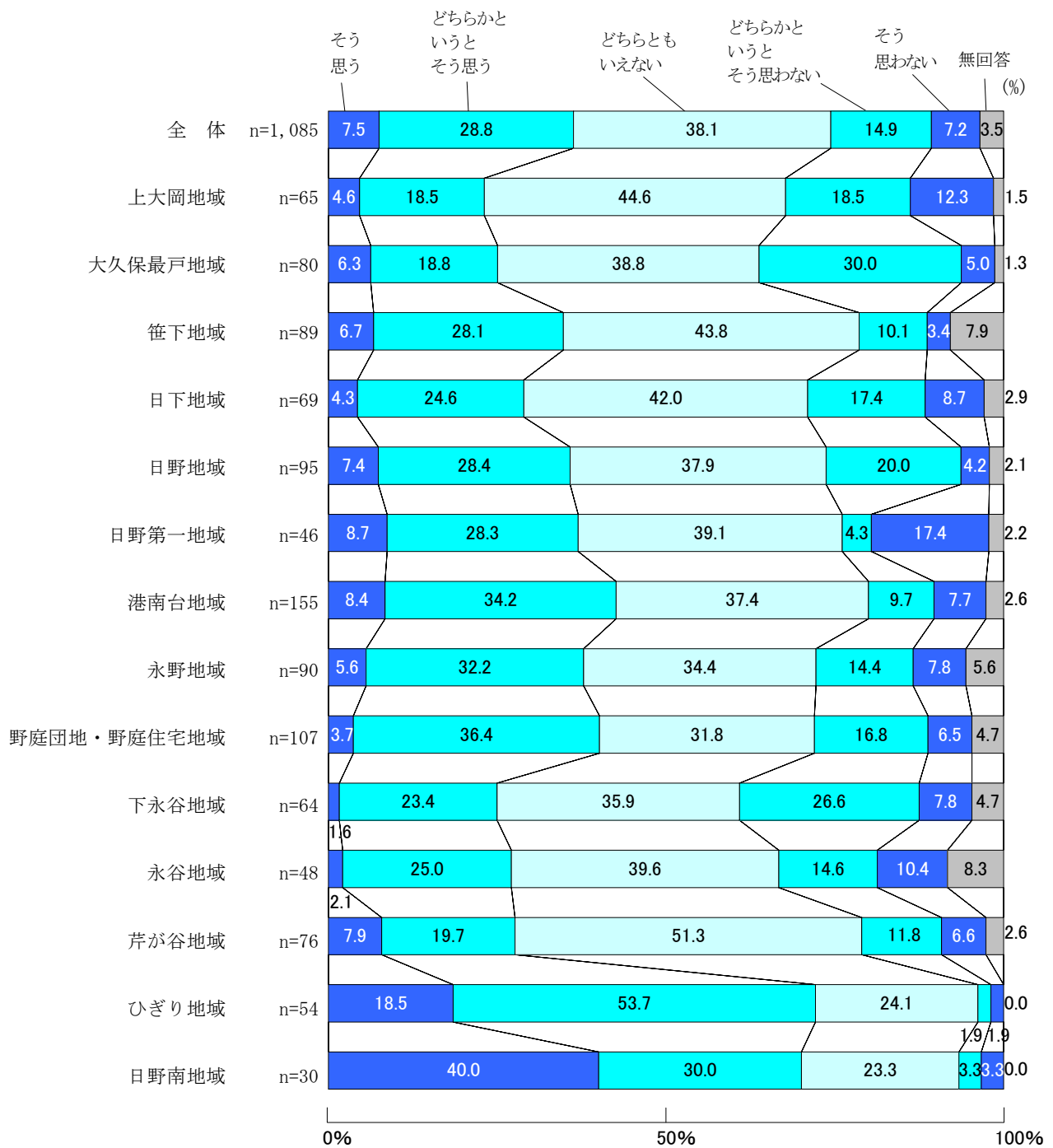
①生活環境全般（地域別・つづき）

【地域別 「見守り活動など、地域で子どもの健全育成に取り組んでいる」】



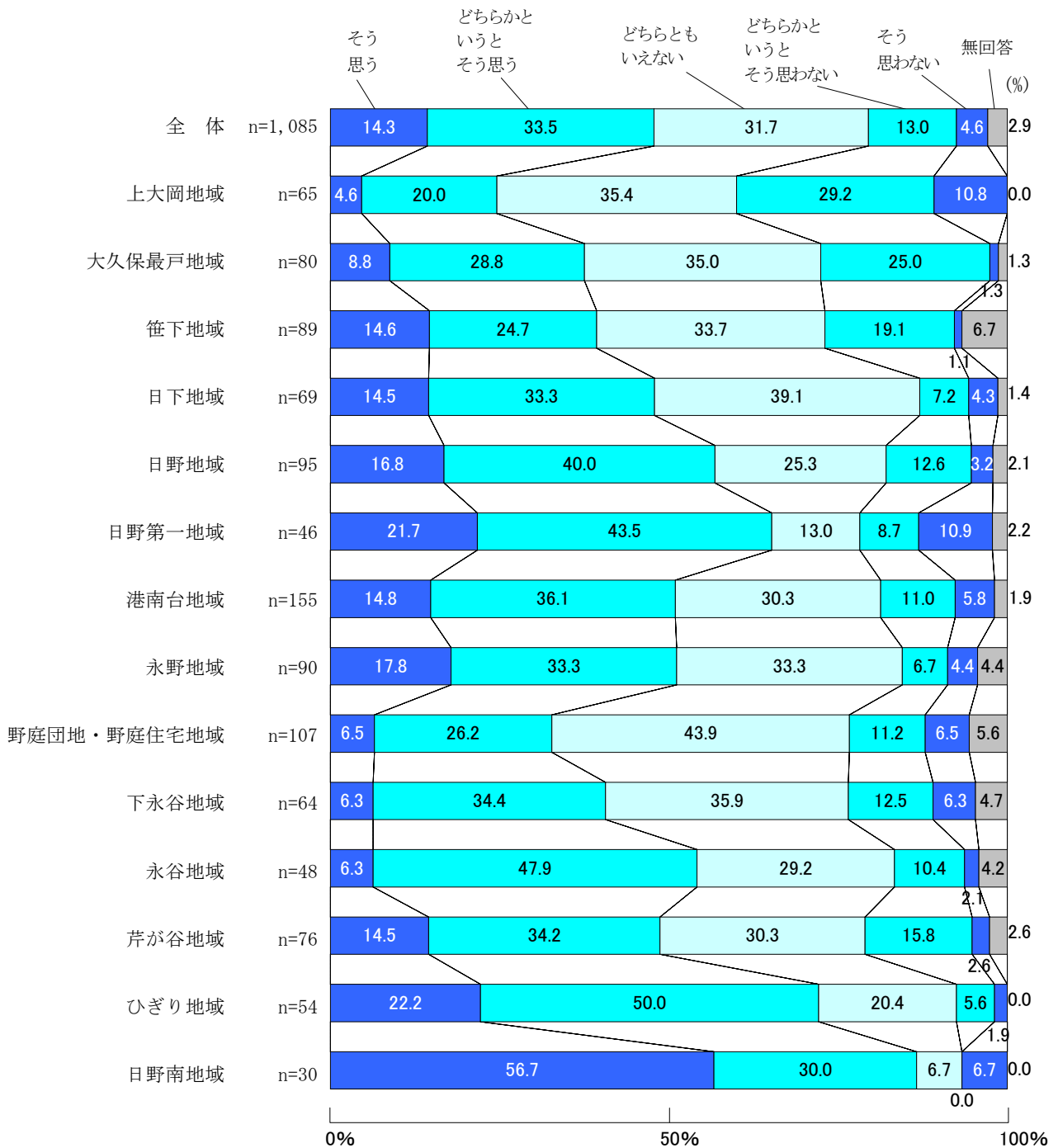
①生活環境全般（地域別・つづき）

【地域別 「地震などの災害に対する取組が活発である」】



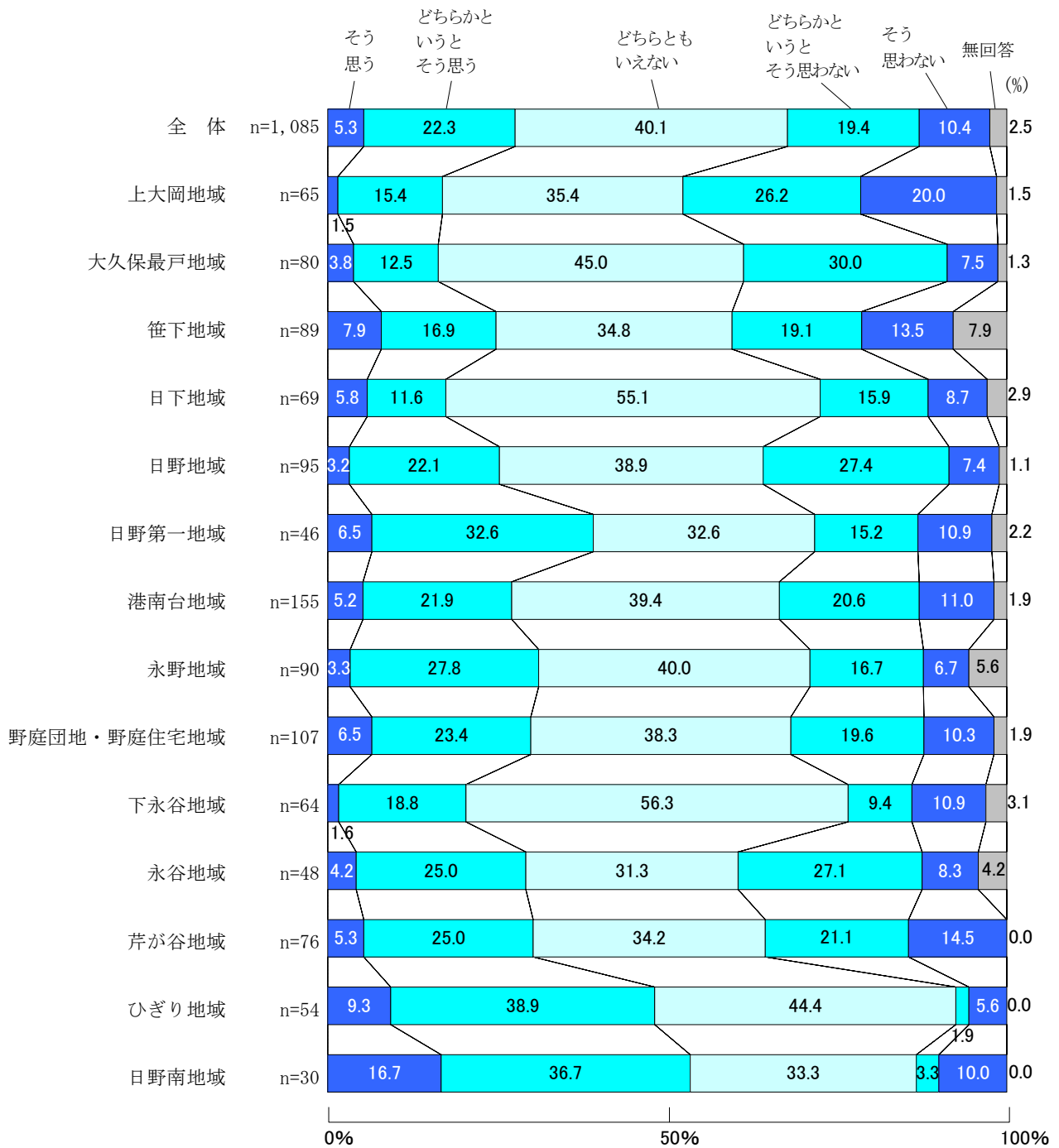
①生活環境全般（地域別・つづき）

【地域別 「地域による防犯パトロール・防犯灯の設置・防犯講習会などの防犯対策が行われている」】



①生活環境全般（地域別・つづき）

【地域別 「困ったときにはお互いに支え合う地域でのつながりがある」】



②地域活動－充実すべき活動（地域別）

【地域別 充実すべき活動 上位5項目（複数回答）】

（%）

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
上大岡地域 n=65	交通安全や防災・防犯などの活動 44.6	清掃・美化活動 27.7	高齢者や障害者の見守りや介助 20.0	施設などでのボランティア活動 15.4	地域の祭りなどの企画や運営への参加 13.8
大久保最戸地域 n=80	交通安全や防災・防犯などの活動 47.5	高齢者や障害者の見守りや介助 32.5	子育て、趣味などのサークル活動 21.3	子どもの見守りや預かり 20.0	清掃・美化活動 16.3
笹下地域 n=89	交通安全や防災・防犯などの活動 33.7	高齢者や障害者の見守りや介助 21.3	清掃・美化活動 16.9	*地域の祭りなどの企画や運営への参加 *資源回収やリサイクル活動 *子どもの見守りや預かり	13.5
日下地域 n=69	交通安全や防災・防犯などの活動 42.0	高齢者や障害者の見守りや介助 24.6	清掃・美化活動 15.9	子どもの見守りや預かり 13.0	*施設などでのボランティア活動 *子育て、趣味などのサークル活動 11.6
日野地域 n=95	交通安全や防災・防犯などの活動 46.3	清掃・美化活動 24.2	高齢者や障害者の見守りや介助 21.1	*施設などでのボランティア活動 *資源回収やリサイクル活動	18.9
日野第一地域 n=46	交通安全や防災・防犯などの活動 56.5	高齢者や障害者の見守りや介助 28.3	清掃・美化活動 21.7	資源回収やリサイクル活動 17.4	*施設などでのボランティア活動 *子どもの見守りや預かり 13.0
港南台地域 n=155	交通安全や防災・防犯などの活動 40.0	高齢者や障害者の見守りや介助 23.9	清掃・美化活動 20.6	*地域の祭りなどの企画や運営への参加 *子どもの見守りや預かり	15.5
永野地域 n=90	交通安全や防災・防犯などの活動 42.2	高齢者や障害者の見守りや介助 27.8	清掃・美化活動 20.0	資源回収やリサイクル活動 15.6	自治会町内会などの役員活動 14.4
野庭団地・野庭住宅地域 n=107	交通安全や防災・防犯などの活動 30.8	高齢者や障害者の見守りや介助 21.5	清掃・美化活動 20.6	施設などでのボランティア活動 15.0	子どもの見守りや預かり 13.1
下永谷地域 n=64	交通安全や防災・防犯などの活動 40.6	*清掃・美化活動 *高齢者や障害者の見守りや介助	20.3	施設などでのボランティア活動 17.2	*自治会町内会などの役員活動 *地域の祭りなどの企画や運営への参加 12.5
永谷地域 n=48	交通安全や防災・防犯などの活動 27.1	*施設などでのボランティア活動 *清掃・美化活動 *子育て、趣味などのサークル活動 *高齢者や障害者の見守りや介助			16.7
芹が谷地域 n=76	交通安全や防災・防犯などの活動 26.3	清掃・美化活動 18.4	高齢者や障害者の見守りや介助 17.1	地域の祭りなどの企画や運営への参加 15.8	子どもの見守りや預かり 13.2
ひぎり地域 n=54	交通安全や防災・防犯などの活動 57.4	清掃・美化活動 24.1	地域の祭りなどの企画や運営への参加 20.4	*施設などでのボランティア活動 *高齢者や障害者の見守りや介助	16.7
日野南地域 n=30	交通安全や防災・防犯などの活動 50.0	清掃・美化活動 30.0	*施設などでのボランティア活動 *資源回収やリサイクル活動	23.3	高齢者や障害者の見守りや介助 20.0

※同率の項目には「*」印をつけています。

③地域活動—地域コミュニティ（地域社会）の力の弱まりによる困り事や心配事（地域別）

【地域別 地域コミュニティでの困り事や心配事 上位5項目（複数回答）】

（%）

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
上大岡地域 n=65	住民同士が交流する機会が少ない 36.9	ごみ出しなど、地域のルールを守らない人が多い 33.8	*地域の情報を得られない *防犯や防災力の弱まりによる治安の悪化	15.4	困ったときに相談できる人が近くにいない 10.8
大久保最戸地域 n=80	ごみ出しなど、地域のルールを守らない人が多い 33.8	住民同士が交流する機会が少ない 31.3	困ったときに相談できる人が近くにいない 25.0	地域の情報を得られない 16.3	防犯や防災力の弱まりによる治安の悪化 13.8
笹下地域 n=89	ごみ出しなど、地域のルールを守らない人が多い 30.3	住民同士が交流する機会が少ない 15.7	困ったときに相談できる人が近くにいない 14.6	地域の情報を得られない 13.5	防犯や防災力の弱まりによる治安の悪化 9.0
日下地域 n=69	ごみ出しなど、地域のルールを守らない人が多い 31.9	住民同士が交流する機会が少ない 23.2	地域の情報を得られない 17.4	困ったときに相談できる人が近くにいない 14.5	防犯や防災力の弱まりによる治安の悪化 13.0
日野地域 n=95	ごみ出しなど、地域のルールを守らない人が多い 29.5	住民同士が交流する機会が少ない 21.1	防犯や防災力の弱まりによる治安の悪化 18.9	困ったときに相談できる人が近くにいない 15.8	地域の情報を得られない 12.6
日野第一地域 n=46	困ったときに相談できる人が近くにいない 34.8	ごみ出しなど、地域のルールを守らない人が多い 32.6	住民同士が交流する機会が少ない 26.1	地域の情報を得られない 19.6	防犯や防災力の弱まりによる治安の悪化 17.4
港南台地域 n=155	住民同士が交流する機会が少ない 22.6	困ったときに相談できる人が近くにいない 20.6	ごみ出しなど、地域のルールを守らない人が多い 18.1	防犯や防災力の弱まりによる治安の悪化 16.8	地域の情報を得られない 13.5
永野地域 n=90	ごみ出しなど、地域のルールを守らない人が多い 22.2	住民同士が交流する機会が少ない 20.0	*地域の情報を得られない *防犯や防災力の弱まりによる治安の悪化	14.4	困ったときに相談できる人が近くにいない 13.3
野庭団地・野庭住宅地域 n=107	ごみ出しなど、地域のルールを守らない人が多い 33.6	*困ったときに相談できる人が近くにいない *防犯や防災力の弱まりによる治安の悪化	15.0	住民同士が交流する機会が少ない 13.1	地域の情報を得られない 12.1
下永谷地域 n=64	ごみ出しなど、地域のルールを守らない人が多い 25.0	住民同士が交流する機会が少ない 18.8	*困ったときに相談できる人が近くにいない *防犯や防災力の弱まりによる治安の悪化	14.1	地域の情報を得られない 4.7
永谷地域 n=48	ごみ出しなど、地域のルールを守らない人が多い 25.0	住民同士が交流する機会が少ない 20.8	*地域の情報を得られない *防犯や防災力の弱まりによる治安の悪化	14.6	困ったときに相談できる人が近くにいない 10.4
芹が谷地域 n=76	*住民同士が交流する機会が少ない *ごみ出しなど、地域のルールを守らない人が多い 28.9	困ったときに相談できる人が近くにいない 13.2	地域の情報を得られない 9.2	防犯や防災力の弱まりによる治安の悪化 7.9	
ひざり地域 n=54	防犯や防災力の弱まりによる治安の悪化 25.9	*住民同士が交流する機会が少ない *ごみ出しなど、地域のルールを守らない人が多い 22.2	地域の情報を得られない 13.0	困ったときに相談できる人が近くにいない 11.1	
日野南地域 n=30	防犯や防災力の弱まりによる治安の悪化 26.7	住民同士が交流する機会が少ない 20.0	ごみ出しなど、地域のルールを守らない人が多い 16.7	困ったときに相談できる人が近くにいない 10.0	地域の情報を得られない 3.3

※同率の項目には「*」印をつけています。

④地域活動—地域コミュニティ（地域社会）に必要なこと（地域別）

【地域別 地域コミュニティに必要なこと 上位5項目（複数回答）】

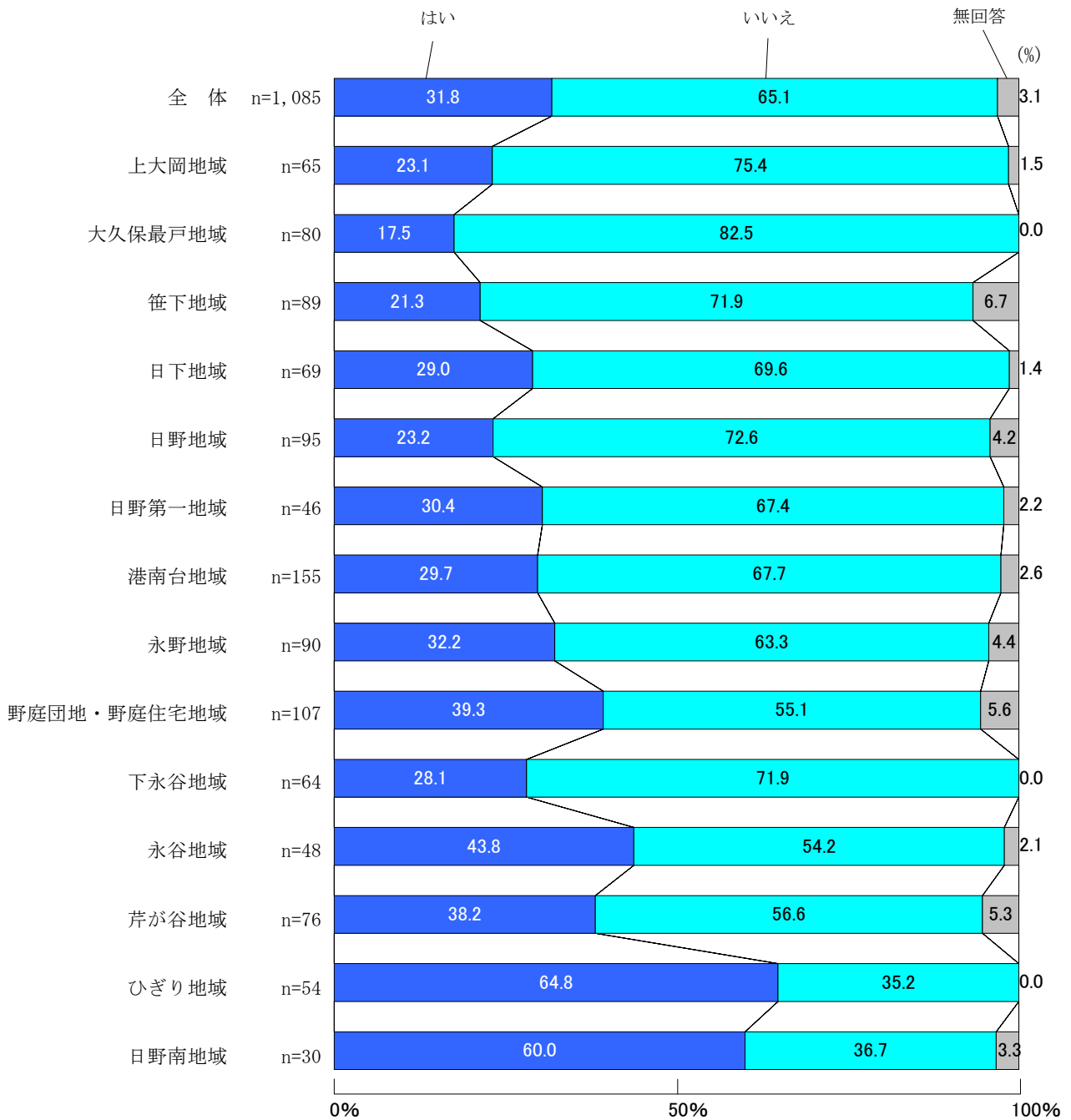
（%）

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
上大岡地域 n=65	地域の魅力を再発見できるような活動の充実 26.2	地域の情報を得たり発信できたりする仕組みづくり 24.6	*気軽に交流できる機会（お祭りなど）の充実 *気軽にボランティアとして参加できる仕組み 23.1		自治会町内会などの地域団体の活動支援 20.0
大久保最戸地域 n=80	地域の情報を得たり発信できたりする仕組みづくり 25.0	気軽にボランティアとして参加できる仕組み 22.5	気軽に交流できる機会（お祭りなど）の充実 21.3	地域の魅力を再発見できるような活動の充実 18.8	自治会町内会などの地域団体の活動支援 17.5
笹下地域 n=89	気軽に交流できる機会（お祭りなど）の充実 28.1	気軽にボランティアとして参加できる仕組み 25.8	地域の情報を得たり発信できたりする仕組みづくり 21.3	自治会町内会などの地域団体の活動支援 16.9	*地域の魅力を再発見できるような活動の充実 *地域活動に参加するきっかけとなる入門講座 11.2
日下地域 n=69	地域の情報を得たり発信できたりする仕組みづくり 29.0	*気軽に交流できる機会（お祭りなど）の充実 *気軽にボランティアとして参加できる仕組み 21.7		自治会町内会などの地域団体の活動支援 17.4	地域の魅力を再発見できるような活動の充実 11.6
日野地域 n=95	気軽にボランティアとして参加できる仕組み 27.4	地域の情報を得たり発信できたりする仕組みづくり 23.2	気軽に交流できる機会（お祭りなど）の充実 18.9	自治会町内会などの地域団体の活動支援 16.8	有償ボランティアとして参加できる仕組み 15.8
日野第一地域 n=46	*地域の情報を得たり発信できたりする仕組みづくり *気軽にボランティアとして参加できる仕組み 34.8		気軽に交流できる機会（お祭りなど）の充実 32.6	自治会町内会などの地域団体の活動支援 17.4	*地域活動に参加するきっかけとなる入門講座 *有償ボランティアとして参加できる仕組み 8.7
港南台地域 n=155	気軽にボランティアとして参加できる仕組み 26.5	気軽に交流できる機会（お祭りなど）の充実 23.2	地域の情報を得たり発信できたりする仕組みづくり 19.4	自治会町内会などの地域団体の活動支援 14.8	有償ボランティアとして参加できる仕組み 13.5
永野地域 n=90	*気軽に交流できる機会（お祭りなど）の充実 *気軽にボランティアとして参加できる仕組み 26.7		自治会町内会などの地域団体の活動支援 23.3	地域の情報を得たり発信できたりする仕組みづくり 18.9	*地域の魅力を再発見できるような活動の充実 *地域活動に参加するきっかけとなる入門講座 12.2
野庭団地・野庭住宅地域 n=107	気軽にボランティアとして参加できる仕組み 27.1	自治会町内会などの地域団体の活動支援 26.2	地域の情報を得たり発信できたりする仕組みづくり 22.4	気軽に交流できる機会（お祭りなど）の充実 17.8	地域の魅力を再発見できるような活動の充実 11.2
下永谷地域 n=64	気軽に交流できる機会（お祭りなど）の充実 29.7	気軽にボランティアとして参加できる仕組み 23.4	自治会町内会などの地域団体の活動支援 20.3	地域の情報を得たり発信できたりする仕組みづくり 14.1	地域活動に参加するきっかけとなる入門講座 12.5
永谷地域 n=48	気軽にボランティアとして参加できる仕組み 27.1	*気軽に交流できる機会（お祭りなど）の充実 *地域の情報を得たり発信できたりする仕組みづくり 20.8		自治会町内会などの地域団体の活動支援 14.6	地域活動に参加するきっかけとなる入門講座 12.5
芹が谷地域 n=76	気軽に交流できる機会（お祭りなど）の充実 23.7	自治会町内会などの地域団体の活動支援 22.4	気軽にボランティアとして参加できる仕組み 19.7	地域の情報を得たり発信できたりする仕組みづくり 14.5	*地域活動に参加するきっかけとなる入門講座 *有償ボランティアとして参加できる仕組み 7.9
ひぎり地域 n=54	気軽に交流できる機会（お祭りなど）の充実 24.1	*自治会町内会などの地域団体の活動支援 *気軽にボランティアとして参加できる仕組み 22.2		有償ボランティアとして参加できる仕組み 16.7	*地域の情報を得たり発信できたりする仕組みづくり *地域活動に参加するきっかけとなる入門講座 14.8
日野南地域 n=30	気軽にボランティアとして参加できる仕組み 36.7	自治会町内会などの地域団体の活動支援 30.0	地域の情報を得たり発信できたりする仕組みづくり 20.0	*気軽に交流できる機会（お祭りなど）の充実 *有償ボランティアとして参加できる仕組み 13.3	

※同率の項目には「*」印をつけています。

⑤大地震などの災害に備えた対策－地域の防災訓練への参加（地域別）

【地域別 地域の防災訓練への参加】



⑥大地震などの災害に備えた対策－防災訓練へ参加していない理由（地域別）

【地域別 防災訓練へ参加していない理由 上位5項目（複数回答）】

（%）

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
上大岡地域 n=49	*日程が合わない *いつ行っているかわからない		地域との関わりがないので、参加しづらい	自治会町内会が訓練を行っていない	参加する必要性を感じていない
		34.7	24.5	6.1	2.0
大久保最戸地域 n=66	日程が合わない	いつ行っているかわからない	地域との関わりがないので、参加しづらい	自治会町内会が訓練を行っていない	参加する必要性を感じていない
	37.9	34.8	21.2	9.1	4.5
笹下地域 n=64	日程が合わない	*いつ行っているかわからない *地域との関わりがないので、参加しづらい		*自治会町内会が訓練を行っていない *参加する必要性を感じていない	
	35.9		23.4		6.3
日下地域 n=48	日程が合わない	いつ行っているかわからない	地域との関わりがないので、参加しづらい	自治会町内会が訓練を行っていない	参加する必要性を感じていない
	43.8	31.3	20.8	8.3	2.1
日野地域 n=69	日程が合わない	いつ行っているかわからない	地域との関わりがないので、参加しづらい	自治会町内会が訓練を行っていない	参加する必要性を感じていない
	29.0	26.1	23.2	10.1	5.8
日野第一地域 n=31	日程が合わない	いつ行っているかわからない	地域との関わりがないので、参加しづらい	自治会町内会が訓練を行っていない	参加する必要性を感じていない
	32.3	25.8	16.1	12.9	3.2
港南台地域 n=105	日程が合わない	いつ行っているかわからない	地域との関わりがないので、参加しづらい	*自治会町内会が訓練を行っていない *参加する必要性を感じていない	
	33.3	29.5	22.9		6.7
永野地域 n=57	*日程が合わない *いつ行っているかわからない		地域との関わりがないので、参加しづらい	自治会町内会が訓練を行っていない	参加する必要性を感じていない
		26.3	19.3	7.0	3.5
野庭団地・野庭住宅地域 n=59	いつ行っているかわからない	地域との関わりがないので、参加しづらい	日程が合わない	*自治会町内会が訓練を行っていない *参加する必要性を感じていない	
	35.6	30.5	27.1		3.4
下永谷地域 n=46	*日程が合わない *いつ行っているかわからない		地域との関わりがないので、参加しづらい	*自治会町内会が訓練を行っていない *参加する必要性を感じていない	
		32.6	23.9		2.2
永谷地域 n=26	日程が合わない	*いつ行っているかわからない *地域との関わりがないので、参加しづらい		自治会町内会が訓練を行っていない	
	42.3		30.8	7.7	
芹が谷地域 n=43	日程が合わない	いつ行っているかわからない	地域との関わりがないので、参加しづらい	*自治会町内会が訓練を行っていない *参加する必要性を感じていない	
	32.6	27.9	16.3		7.0
ひぎり地域 n=19	日程が合わない	いつ行っているかわからない	地域との関わりがないので、参加しづらい	参加する必要性を感じていない	
	42.1	36.8	21.1	5.3	
日野南地域 n=11	日程が合わない	*地域との関わりがないので、参加しづらい *参加する必要性を感じていない			
	54.5		18.2		

※同率の項目には「*」印をつけています。

⑦大地震などの災害に備えた対策－自治会町内会のすすめるべき取組（地域別）

【地域別 自治会町内会のすすめるべき取組（複数回答）】

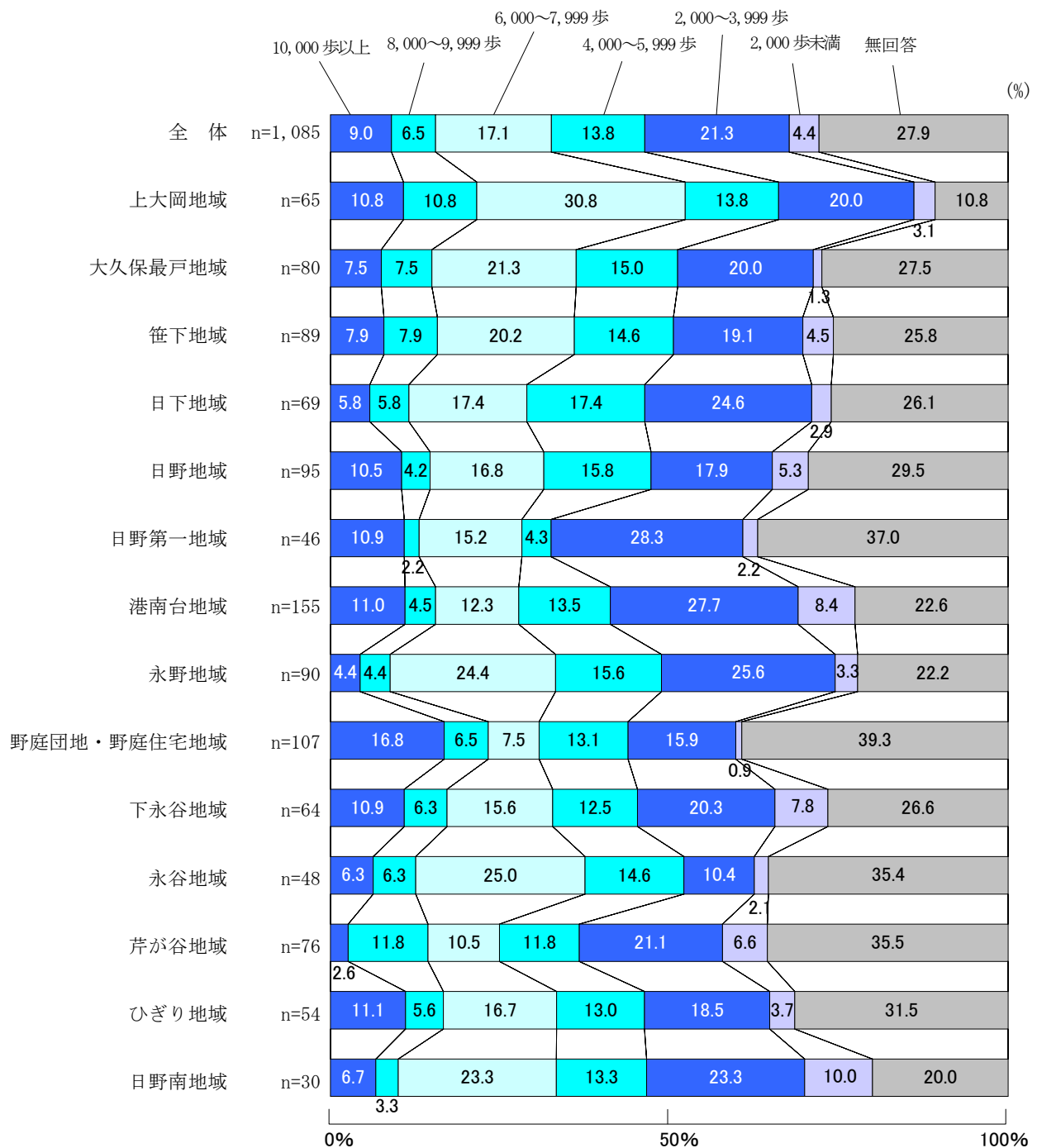
（%）

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
上大岡地域 n=65	*いっとき避難場所や地域防災拠点への避難経路の確認や周知 *自治会町内会での備蓄	50.8	安否確認の方法など、地域の方とのルールづくり 43.1	家庭での備蓄についての啓発活動 33.8	防災訓練への参加 30.8
大久保最戸地域 n=80	*いっとき避難場所や地域防災拠点への避難経路の確認や周知 *安否確認の方法など、地域の方とのルールづくり	60.0	自治会町内会での備蓄 50.0	家庭での備蓄についての啓発活動 38.8	防災訓練への参加 21.3
笹下地域 n=89	いっとき避難場所や地域防災拠点への避難経路の確認や周知 61.8	自治会町内会での備蓄 40.4	安否確認の方法など、地域の方とのルールづくり 39.3	家庭での備蓄についての啓発活動 33.7	防災訓練への参加 22.5
日下地域 n=69	いっとき避難場所や地域防災拠点への避難経路の確認や周知 49.3	自治会町内会での備蓄 46.4	安否確認の方法など、地域の方とのルールづくり 37.7	家庭での備蓄についての啓発活動 36.2	防災訓練への参加 21.7
日野地域 n=95	いっとき避難場所や地域防災拠点への避難経路の確認や周知 58.9	自治会町内会での備蓄 53.7	安否確認の方法など、地域の方とのルールづくり 45.3	家庭での備蓄についての啓発活動 36.8	防災訓練への参加 22.1
日野第一地域 n=46	いっとき避難場所や地域防災拠点への避難経路の確認や周知 54.3	安否確認の方法など、地域の方とのルールづくり 45.7	家庭での備蓄についての啓発活動 39.1	自治会町内会での備蓄 37.0	防災訓練への参加 19.6
港南台地域 n=155	いっとき避難場所や地域防災拠点への避難経路の確認や周知 53.5	自治会町内会での備蓄 43.2	安否確認の方法など、地域の方とのルールづくり 40.6	家庭での備蓄についての啓発活動 38.1	防災訓練への参加 27.1
永野地域 n=90	安否確認の方法など、地域の方とのルールづくり 56.7	自治会町内会での備蓄 50.0	いっとき避難場所や地域防災拠点への避難経路の確認や周知 44.4	家庭での備蓄についての啓発活動 37.8	防災訓練への参加 16.7
野庭団地・野庭住宅地域 n=107	自治会町内会での備蓄 52.3	いっとき避難場所や地域防災拠点への避難経路の確認や周知 51.4	家庭での備蓄についての啓発活動 35.5	安否確認の方法など、地域の方とのルールづくり 34.6	防災訓練への参加 24.3
下永谷地域 n=64	自治会町内会での備蓄 51.6	いっとき避難場所や地域防災拠点への避難経路の確認や周知 42.2	*家庭での備蓄についての啓発活動 *安否確認の方法など、地域の方とのルールづくり 39.1		防災訓練への参加 17.2
永谷地域 n=48	いっとき避難場所や地域防災拠点への避難経路の確認や周知 62.5	自治会町内会での備蓄 56.3	家庭での備蓄についての啓発活動 43.8	安否確認の方法など、地域の方とのルールづくり 35.4	防災訓練への参加 16.7
芹が谷地域 n=76	いっとき避難場所や地域防災拠点への避難経路の確認や周知 59.2	自治会町内会での備蓄 47.4	安否確認の方法など、地域の方とのルールづくり 46.1	家庭での備蓄についての啓発活動 28.9	防災訓練への参加 18.4
ひぎり地域 n=54	*家庭での備蓄についての啓発活動 *安否確認の方法など、地域の方とのルールづくり 46.3		いっとき避難場所や地域防災拠点への避難経路の確認や周知 44.4	自治会町内会での備蓄 42.6	防災訓練への参加 25.9
日野南地域 n=30	*いっとき避難場所や地域防災拠点への避難経路の確認や周知 *自治会町内会での備蓄 50.0		*家庭での備蓄についての啓発活動 *安否確認の方法など、地域の方とのルールづくり 46.7		家具の転倒防止の講習などの実施 23.3

※同率の項目には「*」印をつけています。

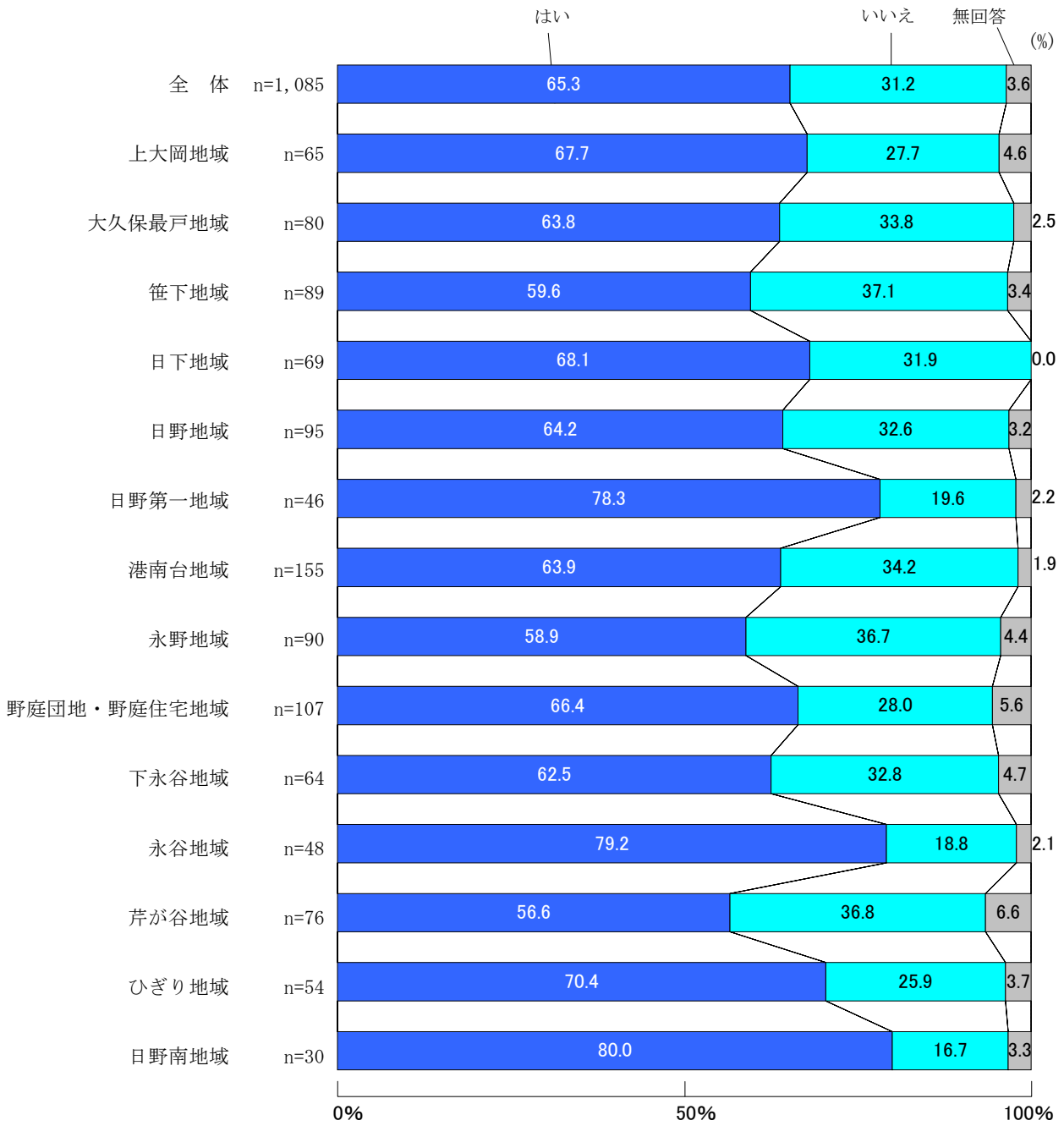
⑧健康づくり－1日の平均歩数（地域別）

【地域別 1日の平均歩数】



⑨健康づくり－「横浜市がん検診」制度の認知状況（地域別）

【地域別 「横浜市がん検診」制度の認知状況】



Ⅲ 調査票様式

平成25年度 港南区区民意識調査

日ごろより、港南区政の推進にご協力をいただきありがとうございます。

港南区では、区民の皆さまの生活環境に対する意識や日常の行動、区政へのニーズ等を把握し、今後の区政運営に役立てることを目的に、2年に一度アンケート調査を実施しています。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、アンケート調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

港南区長 大貫 一幸



調査票のご回答にあたって

このアンケート調査は、今後の区政運営に役立てるために、区内にお住まいの方から無作為に選んだ20歳以上の2,000人の方々にご協力をお願いしております。

調査結果は統計的に処理しますので、個人が特定されることはありません。
調査結果については、港南区のホームページ等で公表してまいります。

- 1 アンケート調査をお願いしたご本人（封筒の宛先となっている方）がお答えください。
- 2 アンケート調査票にご記入いただいた後、同封の封筒に入れ、郵便にてご返送ください。（切手は不要です。）
- 3 アンケート調査票、返信用封筒には、氏名や住所を記入していただく必要はありません。
- 4 ご記入いただきました調査票は、平成25年7月12日（金）までに、郵便ポストへ投函をお願いいたします。

【この調査に関するお問い合わせ】

〒233-0004 横浜市港南区港南中央通10-1
横浜市港南区区政推進課企画調整係 担当：雨堤、河野
電 話：045-847-8327
FAX：045-841-7030

◆生活環境全般についてお尋ねします◆

問1 あなたは、お住まいの地域についてどのように感じていますか？ 次の(1)～(21)の項目それぞれについて、「1 そう思う」から「5 そう思わない」の中から1つを選び、あてはまる数字に○をつけてください。(それぞれ○は1つ)

項目		1 そう 思う	2 どちらか と 思う	3 どちらか とも 思 わない	4 どちらか と 思 わない	5 そう 思 わ ない
まちなみ・環境	(1) 近所の道路は、子どもや高齢者でも歩きやすい	1	2	3	4	5
	(2) 街路樹や家々の植栽などの緑が多く、気持ちが良い	1	2	3	4	5
	(3) 緑地や水辺があり、自然が豊かである	1	2	3	4	5
	(4) 駅周辺に駐輪場があり、通勤・通学・買い物などに利用しやすい	1	2	3	4	5
	(5) 最寄駅までの交通の便が良く、通勤・通学が楽である	1	2	3	4	5
	(6) 誰もがゆったり過ごせる公園や広場がある	1	2	3	4	5
福祉・保健	(7) 高齢者のための施設やサービスが充実している	1	2	3	4	5
	(8) 障害者のための施設やサービスが充実している	1	2	3	4	5
	(9) 保育所や幼稚園などが利用しやすい	1	2	3	4	5
	(10) 子育てをする人が交流する場や気軽に相談できる窓口がある	1	2	3	4	5
	(11) 病院・診療所など医療機関が利用しやすい	1	2	3	4	5
教育・文化	(12) 地域の中に趣味やスポーツ活動ができる施設がある	1	2	3	4	5
	(13) 仕事や趣味のための区民向け講座など生涯学習が充実している	1	2	3	4	5
	(14) 区民が楽しく参加できるスポーツイベントがある	1	2	3	4	5
	(15) 区民が楽しく参加できる文化イベントがある	1	2	3	4	5
	(16) 見守り活動など、地域で子どもの健全育成に取り組んでいる	1	2	3	4	5
	(17) 地域の中に中学生や高校生が過ごせる場所がある	1	2	3	4	5
生活	(18) ごみ出しやペットのふんの始末など、マナーが守られている	1	2	3	4	5
	(19) 地震などの災害に対する取組(物資備蓄、防災訓練、防災マップの作成など)が活発である	1	2	3	4	5
	(20) 地域による防犯パトロール・防犯灯の設置・防犯講習会などの防犯対策が行われている	1	2	3	4	5
	(21) 困ったときにはお互いに支え合う地域でのつながりがある	1	2	3	4	5

◆お住まいの地域でのつきあいについてお尋ねします◆

問2 あなたは、お住まいの地域の方々とふだんどのようなつきあいをしていますか？(○は1つ)

- 1 顔もよく知らない人が多く、ほとんどあいさつも交わさない
- 2 親しい友人はいないが、多くの人とあいさつは交わす
- 3 近所には顔なじみが多く、よく立ち話をする
- 4 一緒に買い物に行ったり食事をするなど、気のあった人と親しくしている
- 5 困ったときに相談したり助け合ったりできる人がいる
- 6 その他 ()

問3 あなたは、お住まいの地域でのつきあいをどのように感じていますか？(○は1つ)

- 1 互いに干渉しあわず、さばさばして暮らしやすい
- 2 人間関係が薄く、それぞれがバラバラな感じでさびしい
- 3 親密な人間関係があって、暮らしやすい
- 4 人間関係が濃密でわずらわしい
- 5 地域には親密な人間関係があるようだが、自分はつきあいがなくさびしい
- 6 その他 ()

◆地域活動についてお尋ねします◆

- 問4 ① あなたが、お住まいの地域で、この1～2年の間に次のような活動をしましたか(現在していることも含みます)？(○はいくつでも)
- ② また、今後してみたい(「過去にしていた・現在している」方は、今後もしたい)と思う活動はどのようなことですか？(○はいくつでも)
- ③ 今後、地域の中でより充実させていくべき、重要度が高いと考える活動に○をつけてください。(○は3つまで)

項目	問4①	問4②	問4③
	参加経験の有無 (○はいくつでも)	将来参加について (○はいくつでも)	重要度が高い (○は3つまで)
(1) 自治会町内会、子供会、シルバークラブなどの役員活動	1	1	1
(2) 地域の祭りやイベント、クリーンアップ、交流会などの企画や運営への参加	2	2	2
(3) 地域の交通安全や防災・防犯などの活動	3	3	3
(4) 高齢者や障害者の施設などでのボランティア活動	4	4	4
(5) 身近な道路・公園・川などの清掃・美化活動	5	5	5
(6) 資源回収やリサイクル活動	6	6	6
(7) 子育てサークル、高齢者サークル、スポーツ、趣味などのサークル活動	7	7	7
(8) 習い事や稽古事、スポーツなどの指導	8	8	8
(9) 地域のNPOやボランティア団体の運営の手伝い	9	9	9
(10) 近所の高齢者や障害者の見守りや介助	10	10	10
(11) 近所の子どもの見守りや預かり	11	11	11
(12) その他 ()	12	12	12
(13) 特にない	13	13	13

...▶ 問5へ ...▶ 問6へ

問5 問4①で(1)から(12)に1つでも○をつけた方にお尋ねします。

初めて地域活動に参加したきっかけを教えてください。(○は1つ)

- 1 地域に貢献したいから
- 2 近所の方、友人に誘われたから
- 3 地域に仲間や友人が欲しいから
- 4 自治会町内会の当番にあたったから
- 5 自分自身の楽しみ、充実感を得たいから
- 6 その他 ()

問6 問4②で(1)から(12)に1つでも○をつけた方にお尋ねします。

どういう条件があれば、地域活動に参加できそうですか？(「現在参加している」方は、どういう条件があれば、地域活動を続けられそうですか？)(○は3つまで)

- 1 仕事や子育てなどが終わり、時間にゆとりができたから
- 2 いっしょに活動する仲間ができれば
- 3 知り合いから声をかけられれば
- 4 家族で参加できる機会があれば
- 5 地域活動の内容や状況などの情報が入手できたら
- 6 自分の興味・関心のある活動があれば
- 7 ボランティア体験講座など活動を体験できるきっかけがあれば
- 8 自分の能力・興味に合わせて活動を紹介してくれる制度があれば
- 9 その他 ()
- 10 特に条件はない

問7 近隣との関係が希薄化し、地域活動の担い手不足などにより地域コミュニティ(地域社会)の力が弱まっていると言われていたますが、このような中であなたが困っていること、心配なことはどのようなことですか？(○は2つまで)

- 1 地域の情報を得られない・入手する方法がわからない
- 2 地域の中で住民同士が交流する機会が少ない・ほとんどない
- 3 困ったときに頼ったり、相談したりできる人が近くにいない
- 4 ごみ出しのマナーやペットのふんの始末など、地域のルールを守らない人が多い
- 5 地域防犯や防災などの力が弱まり、治安が悪くなる(なっている)
- 6 その他 ()
- 7 特に困っていること・心配なことはない

問8 地域コミュニティ(地域社会)を強化し、地域での活動を充実させていくために、あなたはどのようなことが必要だと思いますか？(○は2つまで)

- 1 自治会町内会、子供会、シルバークラブなど既存の地域団体の活動支援
- 2 住民同士が気軽に集まったり交流できる機会(お祭りなどのイベント)の充実
- 3 地域の情報を得たり発信できたりする仕組みづくり
- 4 地域の魅力を再発見できるまち歩きなど、地域に愛着をもってもらえるような活動の充実
- 5 地域活動に参加するきっかけとなる趣味やボランティア入門講座などの充実
- 6 自分のできる範囲で気軽にボランティアとして参加できる仕組みづくり
- 7 有償ボランティアとして参加できる仕組みづくり
- 8 その他 ()
- 9 特にない

◆大地震などの災害に備えた対策についてお尋ねします◆

問9 あなたの家では、地震や火災に備えて、どのような対策をとっていますか？

(○はいくつでも)

- 1 いつも風呂の水を溜めおきしている
- 2 家具や冷蔵庫などを固定し、転倒を防止している (していない場合は問9-1へ)
- 3 基本的に重いものは、高い所に置かないようにしている
- 4 窓ガラスを強化ガラスに替えたり、ガラス類にフィルムを貼っている
- 5 住宅の耐震補強を行っている
- 6 寝室・台所などに住宅用火災警報器を設置している (していない場合は問9-2へ)
- 7 食糧や飲料水を準備している
- 8 携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品などを準備している
- 9 スリッパやズック靴などをいつでも使えるように置いている
- 10 常備薬、入れ歯や補聴器など、生活に無くては困るものを持ち出せるようにしている
- 11 非常用トイレを準備している
- 12 家族との連絡方法などを決めている
- 13 防災訓練に積極的に参加している
- 14 特に何もしていない

問9-1 問9で2に○をつけなかった方にお尋ねします。

あなたが、家具や冷蔵庫などの固定をしていない理由は何ですか？(○は1つ)

- 1 どうやって固定したらよいかわからないから
- 2 固定する方法はわかっても、自分ではできないと思うから
- 3 費用がかかるから
- 4 地震が起きても転倒しないと思うから
- 5 固定したいと思っているが、まだ器具を入手していない
- 6 特に理由はない

問9-2 問9で6に○をつけなかった方にお尋ねします。

あなたが、住宅用火災警報器を設置していない理由は何ですか？(○は1つ)

- 1 どうやって設置したらよいかわからないから
- 2 設置する方法はわかっても、自分ではできないと思うから
- 3 費用がかかるから
- 4 設置したいと思っているが、まだ器具を入手していない
- 5 特に理由はない

問10 大地震などの災害に備え、今後、自治会町内会がどのような取組をすすめるべきだと思いますか？(○は3つまで)

- 1 食糧や飲料水など、家庭での備蓄についての啓発活動
- 2 いっつき避難場所や地域防災拠点への避難経路についての確認や周知
- 3 家具の転倒防止、ガラスの飛散防止の講習などの実施
- 4 地域の防災訓練への参加
- 5 声かけや安否確認の方法など、ご近所や地域の方とのルールづくり
- 6 自治会町内会での備蓄 (毛布、懐中電灯、ヘルメットなどの防災グッズ)
- 7 その他 ()
- 8 特にすすめるべき取組はない

問11 大地震などの災害が起こった時に、あなたご自身やご家族の安全は概ね確保されていると仮定して、あなたの家族以外の避難時に手助けが必要な人(例えば、自力で避難することが困難な高齢者や障害者、乳幼児、病人、妊産婦、日本語が不自由な外国人など)に対して、どのような協力ができそうだと思いますか？(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1 「大丈夫ですか？」などの声かけ | 2 避難などの手助け |
| 3 家族や親族・知人への連絡 | 4 災害状況や避難情報などの伝達 |
| 5 一時的な保護・預かり | 6 介助や応急手当 |
| 7 相談相手や話し相手になる | 8 外国人への通訳、情報提供 |
| 9 おむつ・ミルクなどの必需品の確保 | |
| 10 その他 () | |
| 11 協力できそうにない | |
| 12 わからない | |

問12 あなたは、地域の防災訓練に参加していますか？(○は1つ)

- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

問12-1 問12で「いいえ」と答えた方にお尋ねします。

参加していない理由は何ですか？(○は3つまで)

- 1 自治会町内会が訓練を行っていない
- 2 参加したいと思っているが、日程が合わない
- 3 防災訓練をいつ行っているかわからない
- 4 普段から地域との関わりがないので、参加しづらい
- 5 防災訓練に参加する必要性を感じていない
- 6 特に理由はない

問13 あなたは、ご自宅でペットを飼っていますか？(○は1つ)

- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

問13-1 問13で「はい」と答えた方にお尋ねします。

災害発生時のペット対策を何かしていますか？(○は3つまで)

- 1 ペットを連れて避難するため、日頃からゲージに入れるしつけをしている
- 2 ペットを連れて避難するため、避難用グッズ(ペット用食料、ゲージなど)を用意している
- 3 ペットは自宅に置いていくため、動物に安全な場所を確保している
- 4 その他 ()
- 5 何もしていない

◆地域での子育て支援についてお尋ねします◆

問14 近所の子どもにどのように関わっていますか？(〇はいくつでも)

- 1 顔見知りの子どもの挨拶をしている
- 2 子どもの行いが危ないと思ったときなどに注意している
- 3 子どもの行いに関心を持ち、ほめるなどしている
- 4 子どもが困っているときに手助けしている
- 5 地域で子どもを見守る活動をしている
- 6 関心はあるが何もしていない
- 7 関心がないので何も関わっていない

問15 地域での子育て支援について、あなたはどのようなことなら協力できると思いますか？(〇はいくつでも)

- 1 子どもたちの交通安全や犯罪防止などの見守り活動をする
- 2 子育てに関する悩みについて相談にのる
- 3 不意の外出や親の帰宅が遅くなった時などに子どもを預かる
- 4 子育てを手伝ったり、子どもの面倒をみる
- 5 保育園などへの送迎をする
- 6 子どもたちの遊び相手、話し相手になる
- 7 子どもにスポーツや勉強を教える
- 8 地域のイベントなどで遊びを通してふれあう
- 9 特にない

ご存知ですか？

港南区地域子育て支援拠点『はっち』

・子育て中の保護者の育児不安の軽減や孤立化の防止のため、横浜市では市内18か所に地域子育て支援拠点を設置しています。

・港南区地域子育て支援拠点「はっち」は、就学前のお子さんと保護者がくつろいで遊べるほか、子育てに関する情報が得られ相談もできる施設で、だれでも利用できます。

(火～土曜日10時～16時)

子育ての居場所

・また港南区では「子育ての居場所」として、野庭第二保育園(あっぷっぷ)と港南台第二保育園(わっ!ふる)で、親子でくつろげ情報も得られる居場所を週2回開催しています。

(原則火・金曜日10時～15時)

◆ごみの減量化・温暖化対策に向けた取組についてお尋ねします◆

問20 横浜市では、「ヨコハマ3R夢(スリム)プラン」を策定し、リサイクルの推進やごみと資源の総排出量削減などに取り組んでいます。また、家庭で取り組める身近な温暖化対策を推進しています。あなたが普段家庭で取り組んでいることはありますか？
(○はいくつでも)

- 1 余分なものを買わないようにしている
- 2 マイ箸、マイボトル、マイバッグを持参している(どれか一つでも実施している)
- 3 自宅で生ごみをたい肥化している
- 4 生ごみはできるだけ水を切るようにしている
- 5 省エネ製品やリサイクル製品を買うようにしている
- 6 余分なレジ袋や過剰包装は断るようになっている
- 7 エアコンの設定温度に気をつけている
- 8 服装での温度調節を行うようにしている
- 9 夏場は、『緑のカーテン』作りに取り組んでいる
- 10 ごみの分別を徹底し、資源を地域の集団回収や市の回収に出している
- 11 野菜の皮や芯も食材として調理している
- 12 LED照明を使用している
- 13 その他()
- 14 何もしていない・環境活動には興味がない

問21 区役所が取り組むべき環境対策は何だと思えますか？(○は3つまで)

- 1 子どもたちへの環境学習講座などを行う
- 2 区内の各所イベントなどで環境対策の普及啓発を行う
- 3 広報紙、区のホームページなどで、環境対策の情報発信を行う
- 4 家庭で取り組める環境対策講座を行う
- 5 花苗配布などによる緑化推進を行う
- 6 その他()

「ヨコハマ3R夢(スリム)プラン」とは・・・

- ・「ヨコハマ3R夢プラン」は、前計画(横浜G30プラン)に続く新たな横浜市一般廃棄物処理基本計画として、平成23年1月に策定されました。計画期間は、平成22年度～37年度です。
 - ・「ごみと資源の総排出量」や「ごみ処理に伴い排出される温室効果ガス」の削減目標を定めて、市民・事業者・行政の協働による3R行動※などを推進しています。
 - ・横浜市中期4か年計画の最終年度となる平成25年度の達成目標は、「ごみと資源の総排出量」は平成21年度比で3%以上の削減、「温室効果ガス排出量」は平成21年度で10%以上の削減となっています。
- ※3R行動とは、廃棄物のリデュース(発生抑制)、リユース(再使用)、リサイクル(再生利用)の3つのRを進める取組のことです。



「ヨコハマ3R夢！」
マスコット イーオ

◆その他、区政運営についてお尋ねします◆

問22 今後、短期的（概ね2～3年）に港南区が取り組むべきものとして重要だと思ふ項目を5つまで選び、あてはまる数字に○をつけてください。

項目		※重要だと思ふものを5つまで選び、○をつけてください
まちなみ・環境	(1) 子どもや高齢者でも歩きやすい道路の整備	1
	(2) 公共施設や個人宅の植栽なども含めた緑化の推進	2
	(3) 緑地や水辺など、自然環境の保全	3
	(4) 通勤・通学・買い物などに便利な駅周辺での駐輪場整備	4
	(5) バス便の増加など、最寄駅までの交通の便の向上・改善	5
	(6) 誰もがゆったり過ごせる公園や広場の整備	6
福祉・保健	(7) 高齢者が安心して生活できる体制づくりや施設・サービスの充実	7
	(8) 障害者が安心して生活できる体制づくりや社会参加の促進	8
	(9) あらゆる保育サービスを活用した待機児童を出さない取組	9
	(10) 子育て中の人気が気軽に相談や交流などができる施設や機会の充実	10
	(11) 生活習慣病などを予防するための健康づくり	11
	(12) 病院・診療所など医療機関の充実	12
教育・文化	(13) 趣味やスポーツ活動ができる施設の整備	13
	(14) 仕事や趣味のための区民向け講座など生涯学習の充実	14
	(15) 区民が楽しく参加できるスポーツイベントの充実	15
	(16) 区民が楽しく参加できる文化イベントの充実	16
	(17) 見守り活動など地域での子どもの健全育成に向けた取組への支援	17
	(18) 地域の中で中学生や高校生が過ごせる場所の確保・充実	18
生活	(19) ペットの飼い方、食の安全など、生活環境の安全確保	19
	(20) 地震などの災害に対する取組や地域の防災・減災活動への支援	20
	(21) 地域による防犯パトロール・防犯灯の設置・防犯講習会などの防犯対策への支援	21
	(22) 困ったときにはお互いに支え合う地域でのつながりづくりの促進	22
	(23) 区民が利用しやすい区庁舎の整備や区役所職員の対応改善	23
	(24) 経済的に困っている人に対する支援強化	24

問23 あなたは、港南区が将来（概ね5～10年後）に向けて、どのような方向に発展していくことが望ましいと思いますか？（○は3つまで）

- 1 治安が良いまち
- 2 災害対策が充実したまち
- 3 交通機関が充実した移動しやすいまち
- 4 地域での交流や支え合いがあるまち
- 5 医療や福祉の充実したまち
- 6 安心して子育てできるまち
- 7 学校教育・生涯学習が充実しているまち
- 8 文化・スポーツ活動が盛んなまち
- 9 身近に自然を感じられるまち
- 10 強い愛着を感じられる「ふるさと」と思えるまち
- 11 商店などが充実し、日常の買い物が近所で事足りるまち
- 12 その他（）
- 13 わからない

問24 区政運営またはこのアンケートについて、ご意見・ご要望がありましたら下の囲みの中にご記入ください。

次ページが最後です。

統計上、必要なものですので、最後までご協力お願いいたします。



港南区地域活動応援ロゴマーク

発行日：平成 26 年 1 月

発行：港南区総務部区政推進課企画調整係

〒233-0004 横浜市港南区港南中央通 10-1

電話 045-847-8327

FAX 045-841-7030

港南区ホームページ

<http://www.city.yokohama.lg.jp/konan/>

港南区区民意識調査のページ

<http://www.city.yokohama.lg.jp/konan/isikityosa/manzoku/>